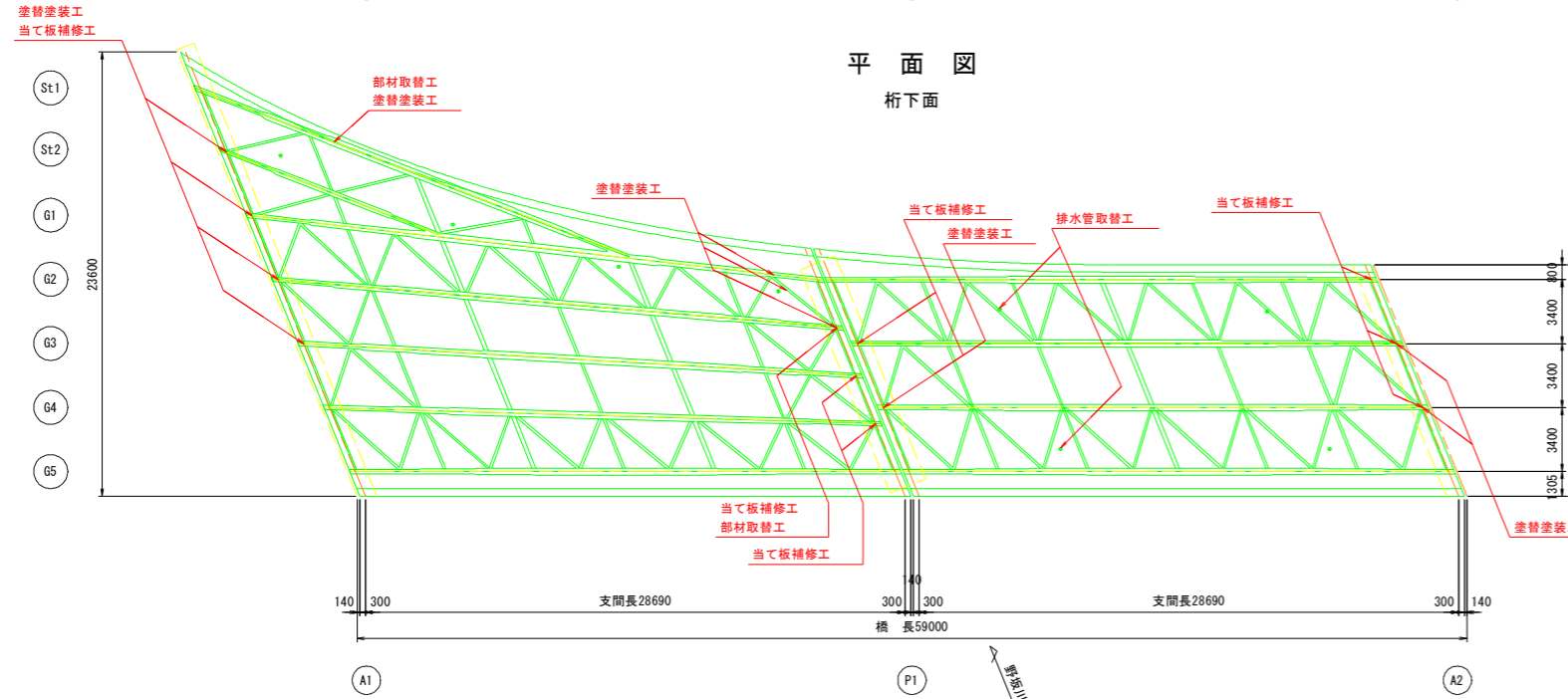
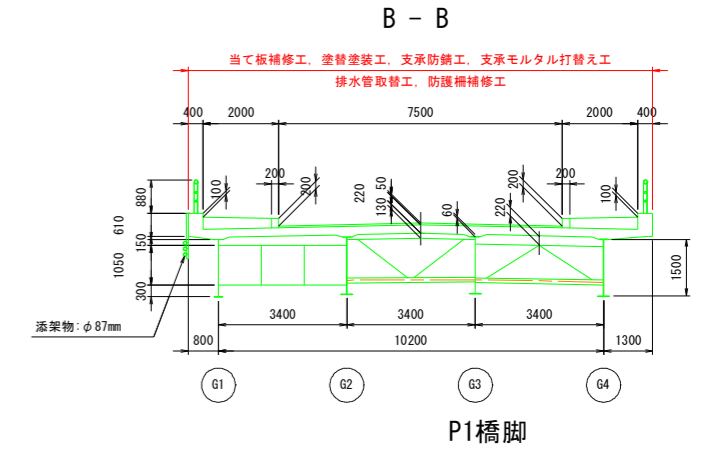
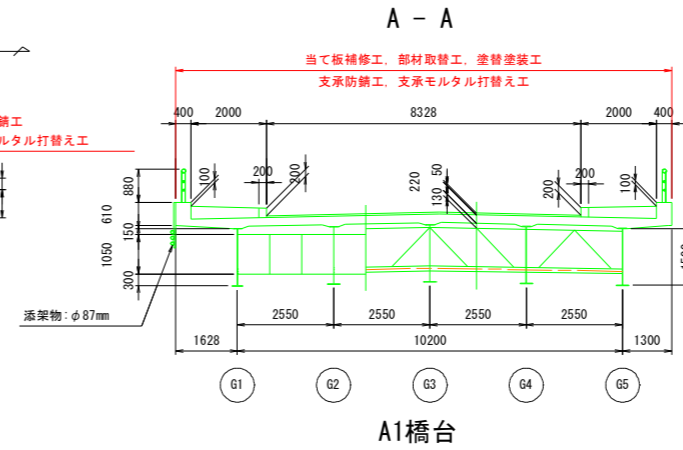
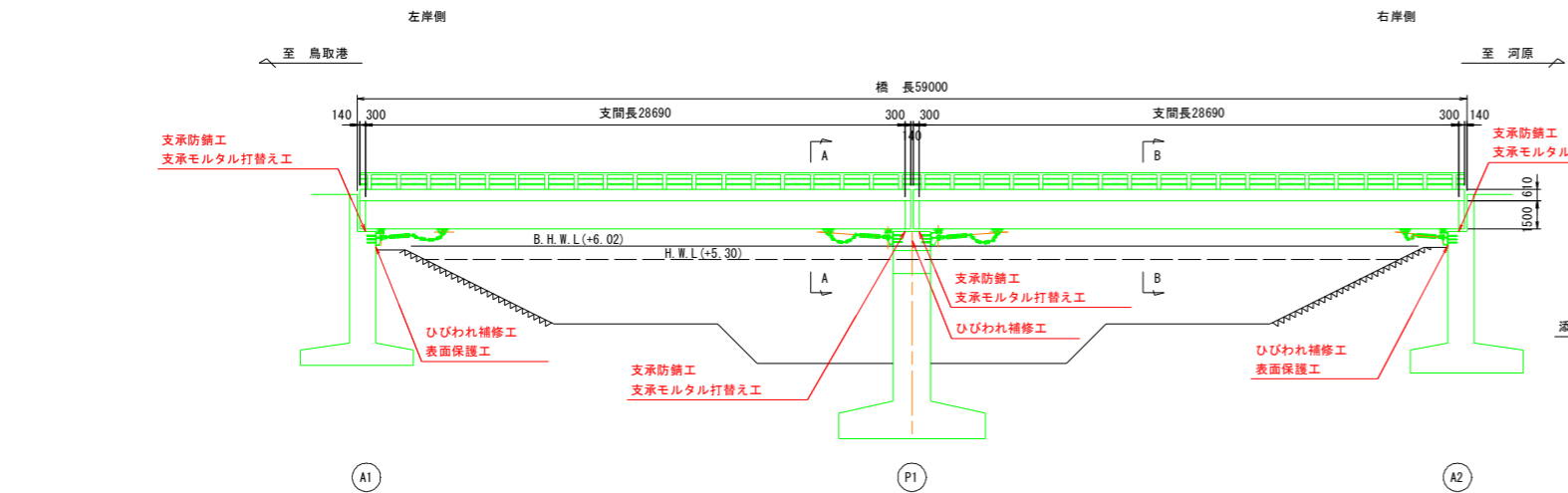


# 安長橋 橋梁補修一般図 S=1:200

側面図

上部工断面図 S=1:100

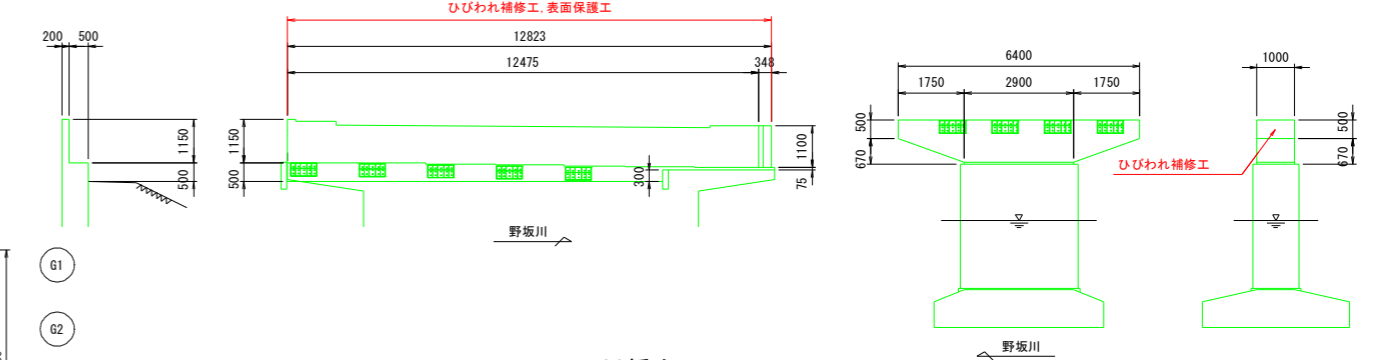


上流側側面図

正面図

正面図(起点側)

上流側側面図

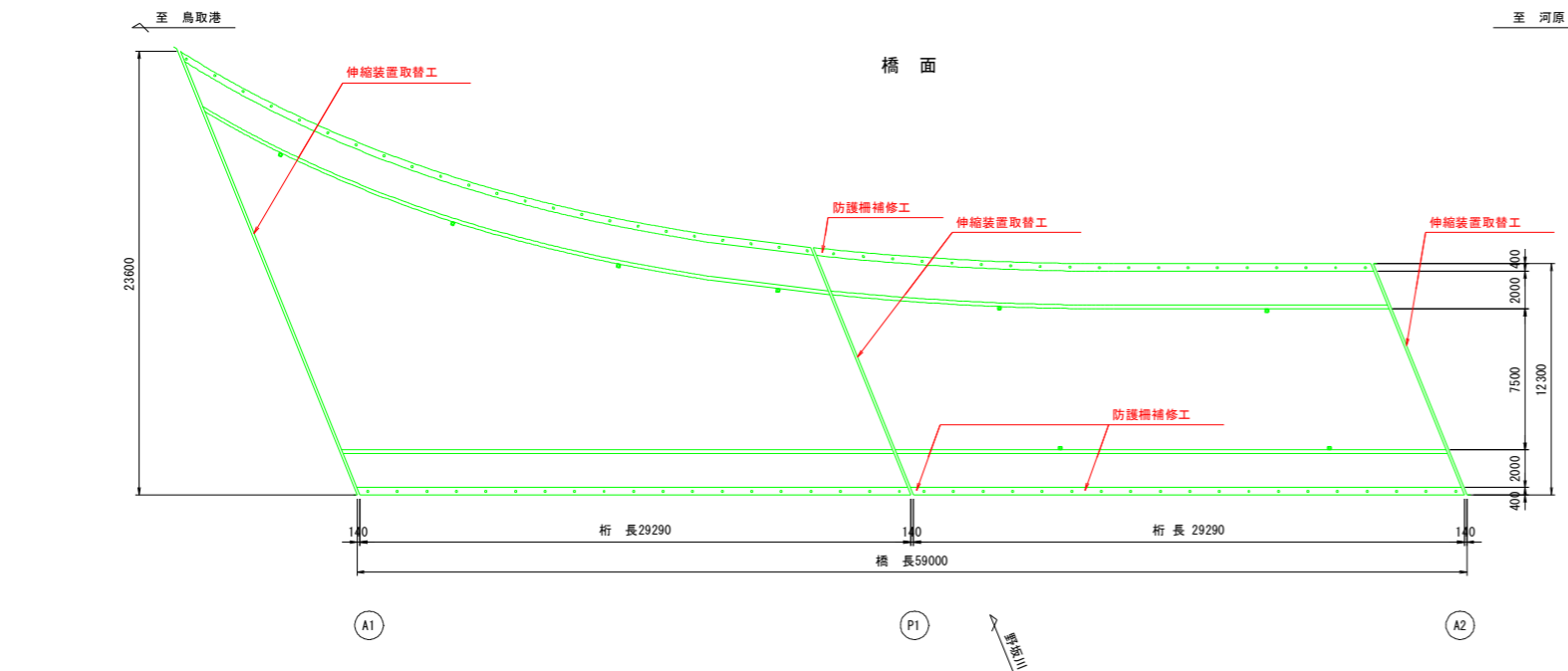
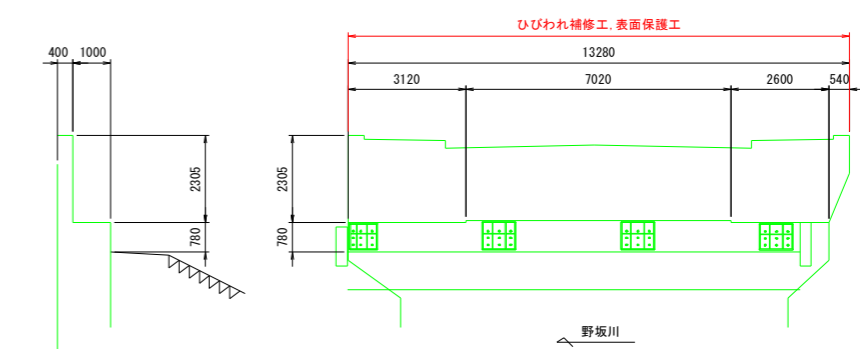


A2橋台

S=1:100

下流側側面図

正面図



補修工一覧表

名称	規格	単位	合計	備考
当て板補修工	新設鋼材重量	kg	596	
部材取替工	新設鋼材重量	kg	89	
塗替塗装工	Rc-1	m <sup>2</sup>	13.9	
支承防錆工	Rc-1	m <sup>2</sup>	4.2	
支承モルタル打替え工	無収縮モルタル	m <sup>3</sup>	0.3	
排水管取替工	VP125A	m	4.5	
ひびわれ注入工	エポキシ樹脂1種	m	95.3	
表面保護工	シラン系含浸材 塗布量0.2kg/m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	20.8	
伸縮装置取替工	設置延長	m	36.0	車道部: 鋼製荷重支持型
		m	13.9	歩道部: 鋼製重ね合わせ型
足場工	吊足場	m <sup>2</sup>	307	タイプ1、タイプA
	防護工	m <sup>2</sup>	307	板張り防護・シート防護

(R6) (公共) [実施設計]

路線名	主要地方道 鳥取港線 (安長橋)
県道鳥取港線 (安長橋) 外 橋梁補修工事 (補助橋補修)	
図名	安長橋 橋梁補修一般図
位置	鳥取市安長地内
縮尺	図示 (A1印刷時) 単位 MM
図号	全 24 葉中の内 1
令和 6 年度施行 鳥取県	
鳥取県土整備事務所	

# 安長橋 上部工補修図(その1)

S=1:10

## 当て板補修工<1/9>

### 縦桁部

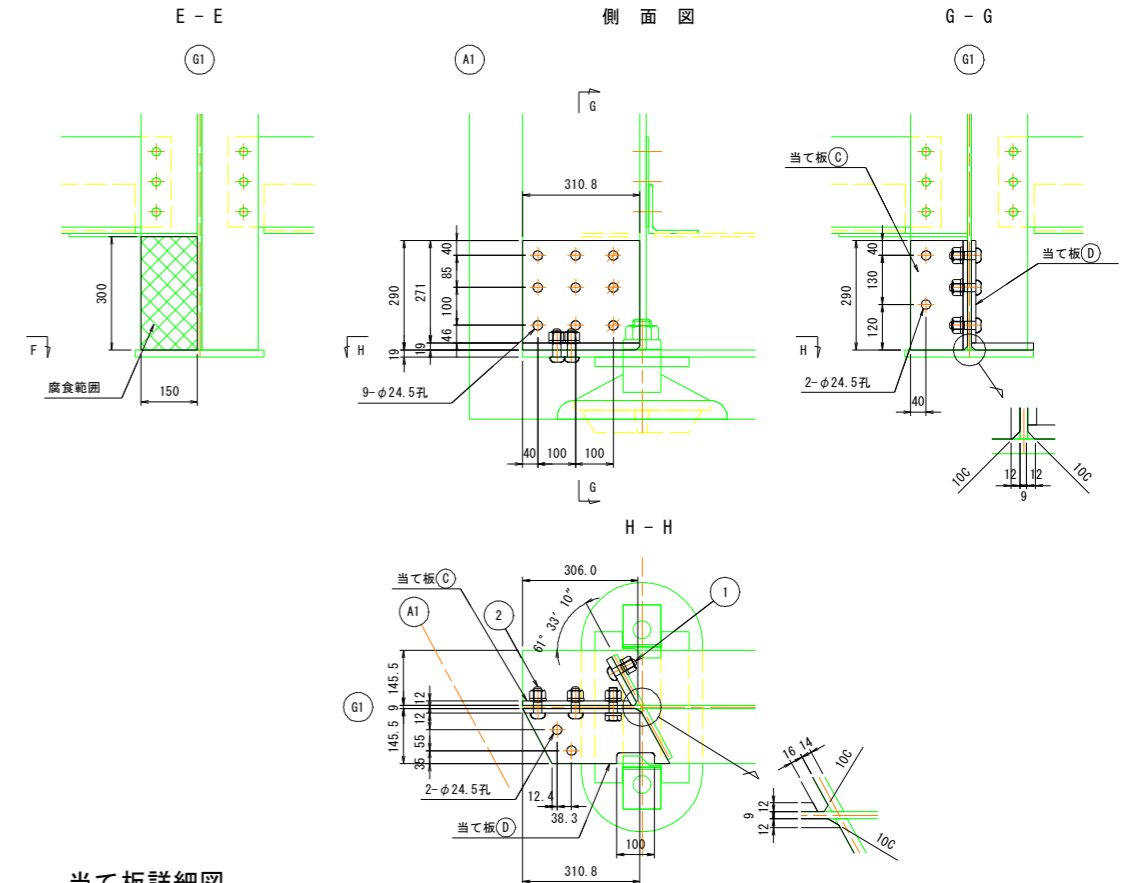
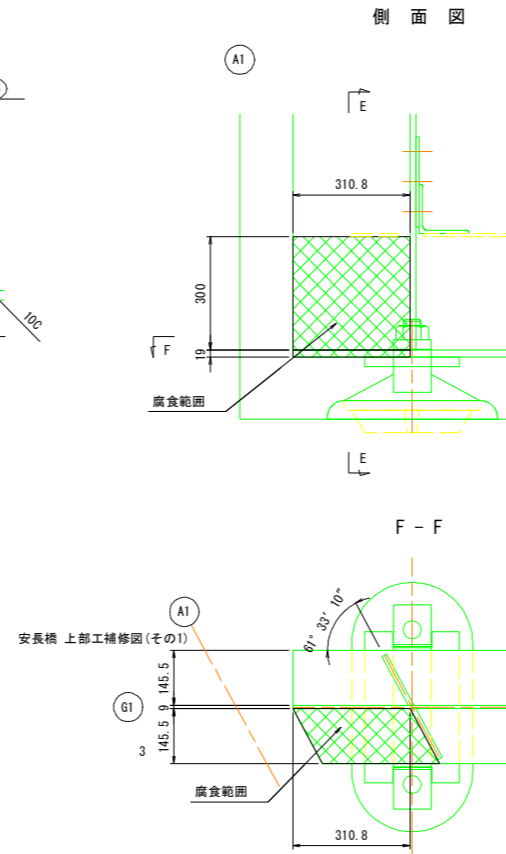
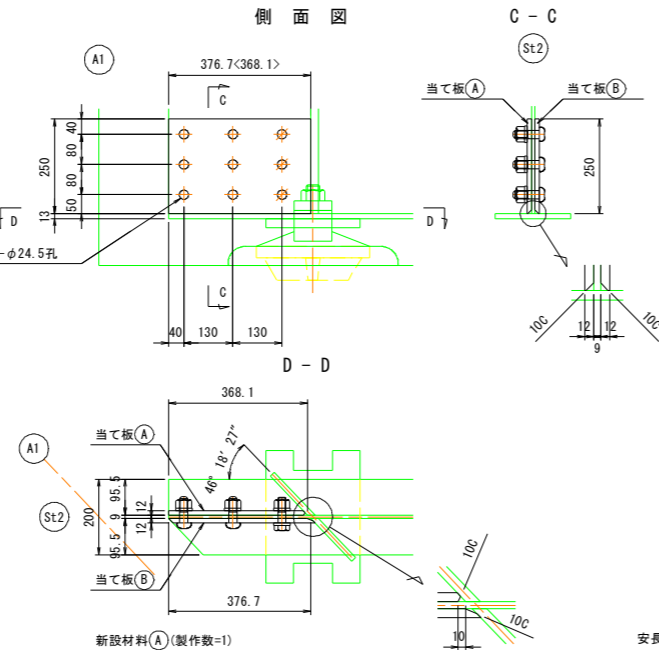
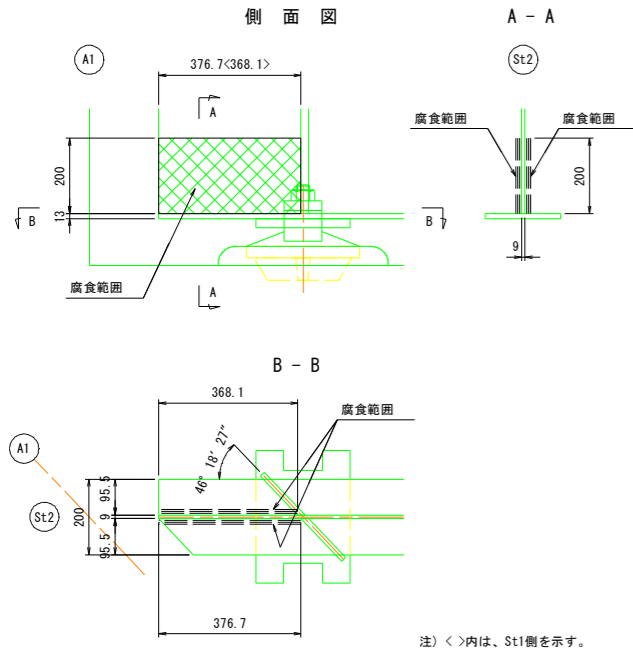
### 主桁部

#### 現況図

#### 補修図

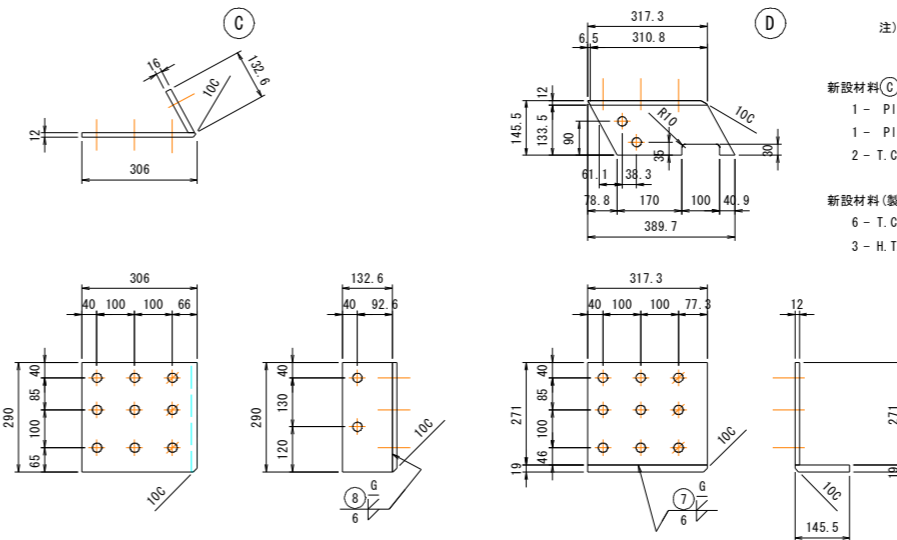
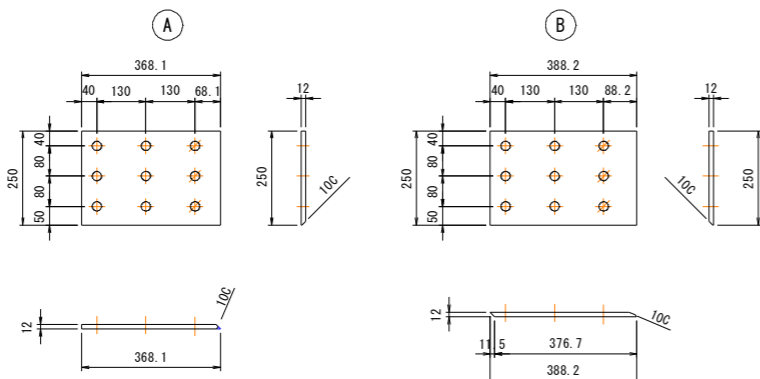
#### 現況図

#### 補修図

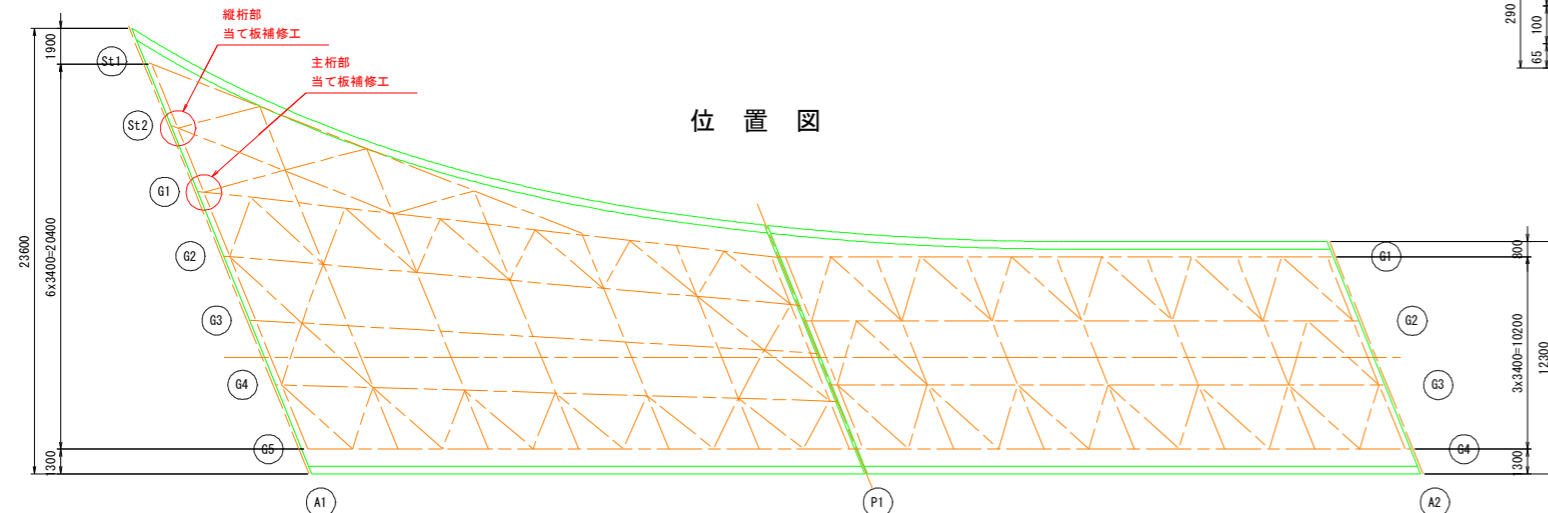


#### 当て板詳細図

#### 当て板詳細図



#### 位置図



#### 注記

- 数値は全て、現場実測後決定のこと。
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- 印は、トルシア形高力ボルト M22 (S10T) を示す。
- 印は、高力ボルト M22 (F10T) を示す。
- ボルト孔径については  
既設部材 → 24.5φ  
新設部材 → 26.5φとする。
- 当て板範囲は、再度現地に確認後決定すること。

#### (R6) (公共) [実施設計]

<安長橋>

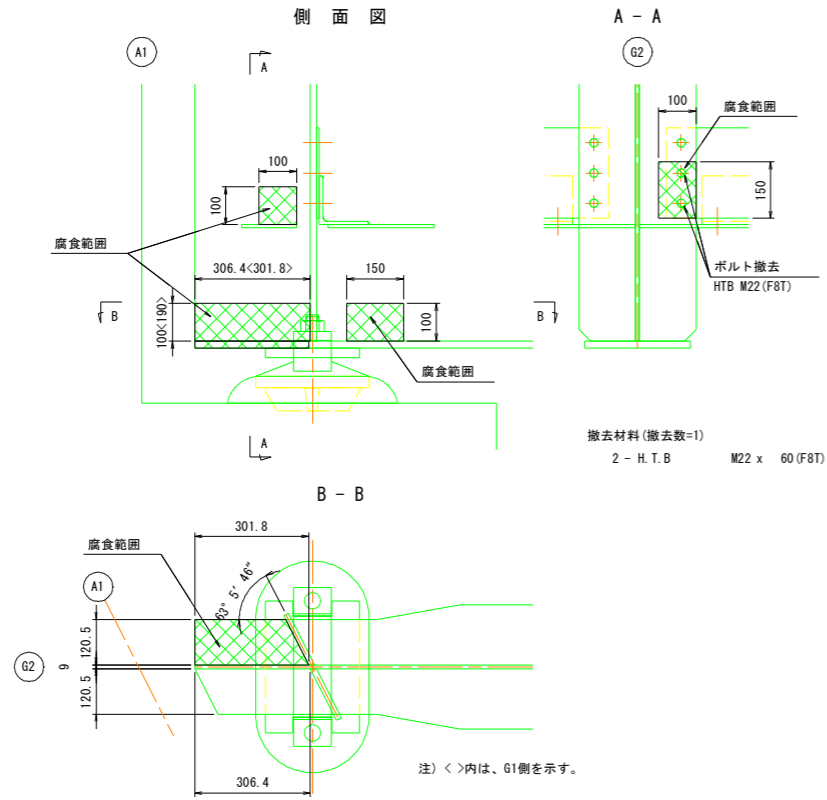
路線名	主要地方道 鳥取港線 (安長橋)		
県道鳥取港線 (安長橋) 外 橋梁補修工事 (補助橋補修)			
図名	安長橋 上部工補修図(その1)		
位置	鳥取市安長地内		
縮尺	図示 (A1印刷時)	単位	MM
図号	全 24 葉中の内 2		
令和 6 年度施行		鳥取県	
鳥取県土整備事務所			

# 安長橋 上部工補修図(その2)

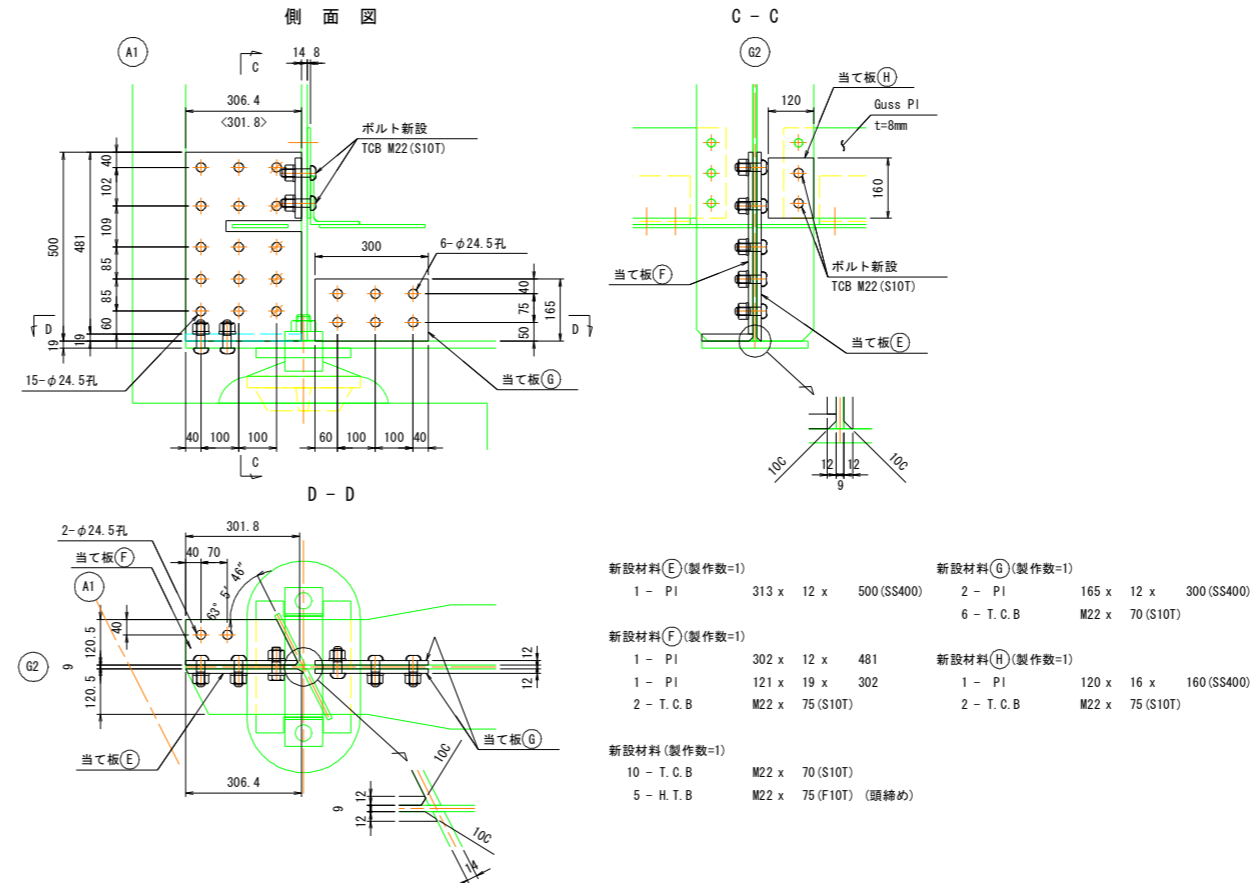
S=1:10

当て板補修工<2/9>

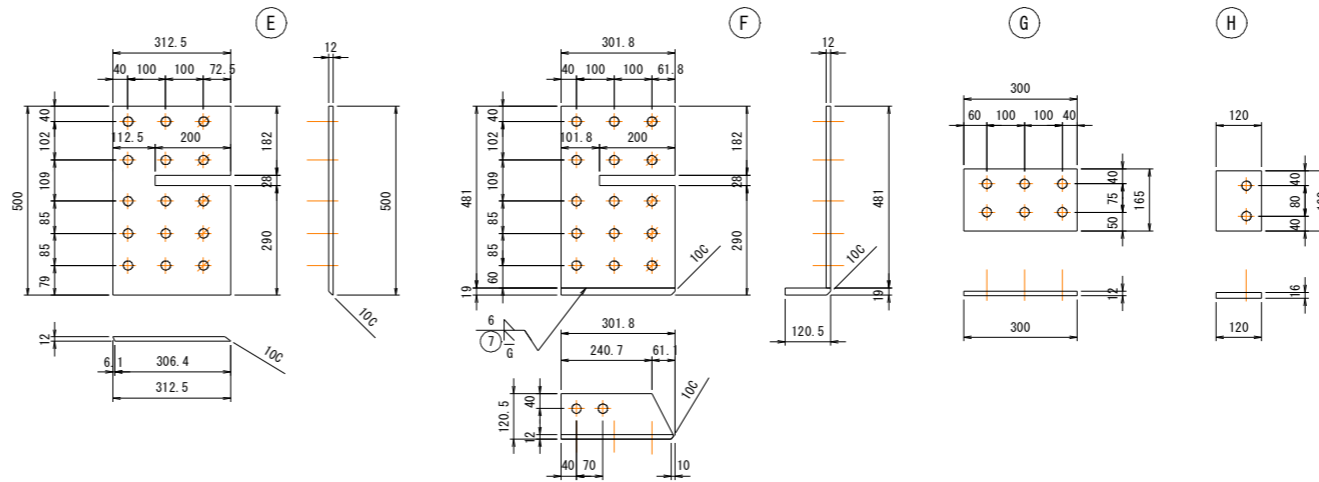
## 現況図



## 補修図



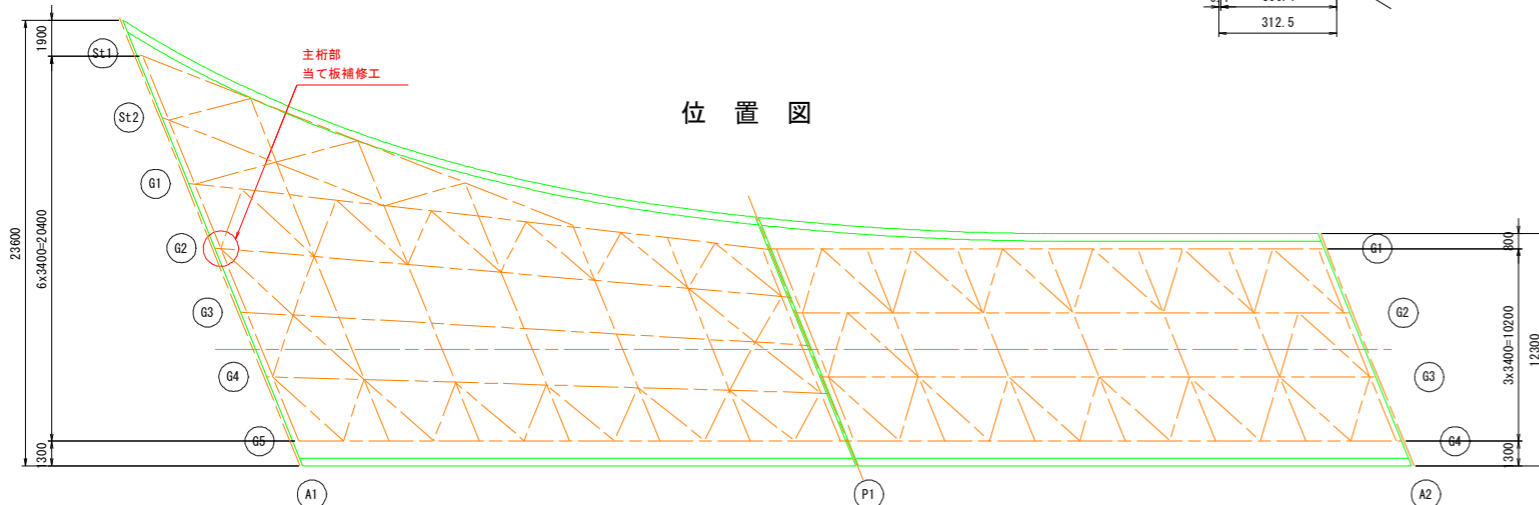
## 当て板詳細図



### 注記

1. 数値は全て、現場実測後決定のこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. ○印は、トルシア形高力ボルト M22 (S10T) を示す。
4. ⊙印は、高力ボルト M22 (F10T) を示す。
5. ボルト孔径については  
既設部材 → 24.5φ  
新設部材 → 26.5φとする。
6. 当て板範囲は、再度現地にて確認後決定すること。

## 位置図



## (R6) (公共) [実施設計]

路線名	主要地方道 鳥取港線 (安長橋)		
位置	県道鳥取港線 (安長橋) 外 橋梁補修工事 (補助橋補修)		
図名	安長橋 上部工補修図(その2)		
位置	鳥取市安長地内		
縮尺	図示 (A1印刷時)	単位	MM
図号	全 24 葉中の内 3		
令和 6 年度施行	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

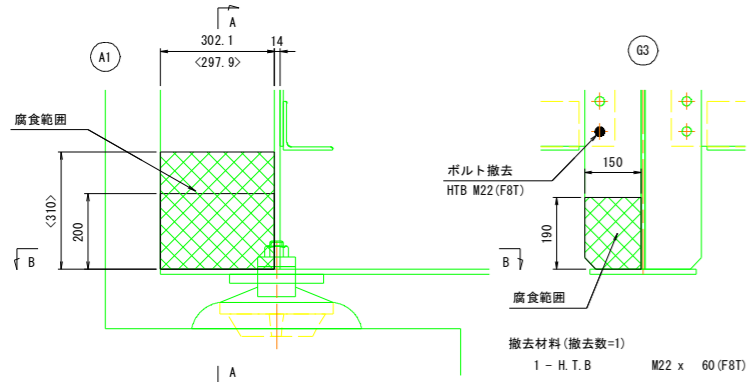
# 安長橋 上部工補修図(その3)

S=1:10

## 当て板補修工<3/9>

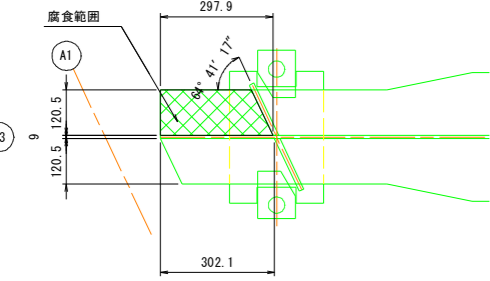
### 現況図

側面図

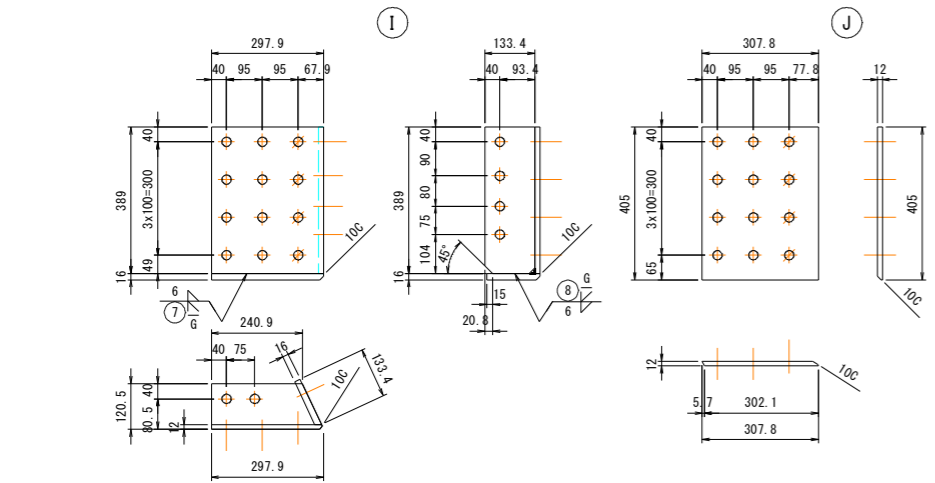


B - B

注) <内>は、G2側を示す。



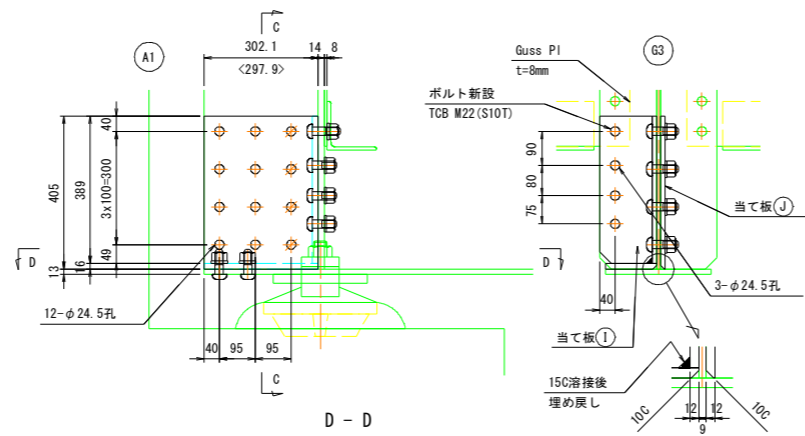
### 当て板詳細図



- 新設材料①(製作数=1)
- 1 - PI 298 x 12 x 389
  - 1 - PI 133 x 16 x 389
  - 1 - PI 121 x 16 x 298
  - 1 - T.C.B M22 x 75 (S10T)
  - 5 - T.C.B M22 x 65 (S10T)
- 新設材料②(製作数=1)
- 1 - PI 308 x 12 x 405 (SS400)
- 新設材料③(製作数=1)
- 8 - T.C.B M22 x 70 (S10T)
  - 4 - H.T.B M22 x 75 (F10T) (頭締め)

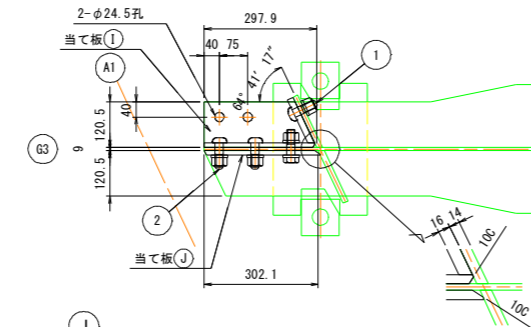
### 補修図

側面図



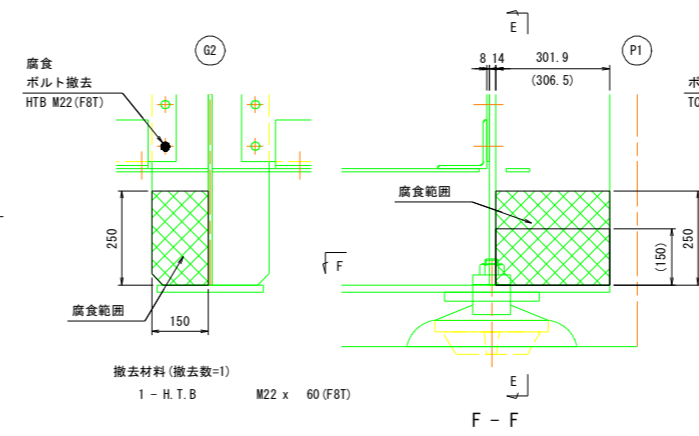
D - D

注) ①②は、締付順序を示す。



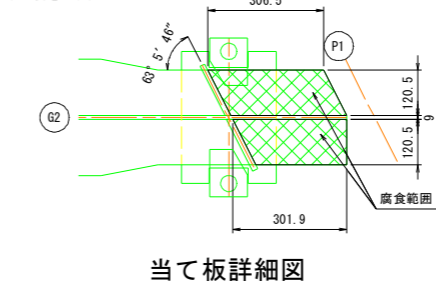
### 現況図

側面図

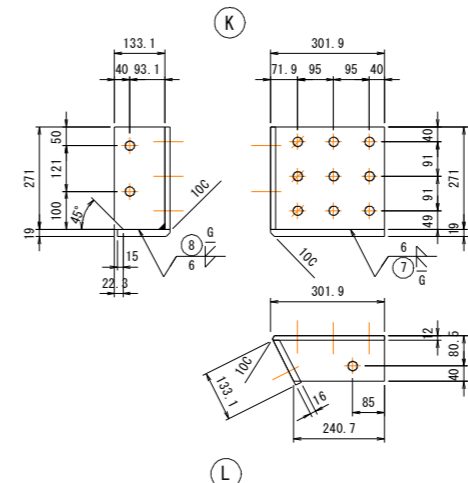


F - F

注) ( )内は、G1側を示す。



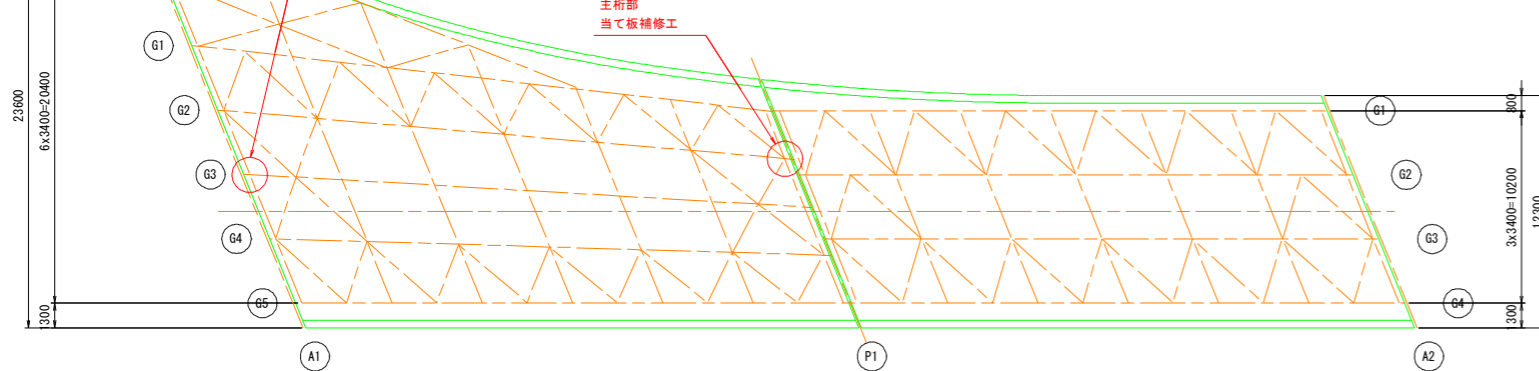
### 当て板詳細図



- 新設材料④(製作数=1)
- 1 - PI 302 x 12 x 271
  - 1 - PI 133 x 16 x 271
  - 1 - PI 121 x 19 x 302
  - 1 - T.C.B M22 x 75 (S10T)
  - 2 - T.C.B M22 x 65 (S10T)
- 新設材料⑤(製作数=1)
- 1 - PI 313 x 12 x 180
  - 1 - PI 121 x 19 x 368
  - 2 - T.C.B M22 x 75 (S10T)
- 新設材料⑥(製作数=1)
- 6 - T.C.B M22 x 70 (S10T)
  - 1 - T.C.B M22 x 60 (S10T)
  - 3 - H.T.B M22 x 75 (F10T) (頭締め)

- 注記
- 数値は全て、現場実測後決定のこと。
  - 特記なき材質は、全てSMA400Aとする。
  - 印は、トルシア形高力ボルト M22 (S10T) を示す。
  - 印は、高力ボルト M22 (F10T) を示す。
  - ボルト孔径については  
既設部材 → 24.5φ  
新設部材 → 26.5φとする。
  - 当て板範囲は、再度現地に確認後決定すること。

### 位置図



### (R6) (公共) [実施設計]

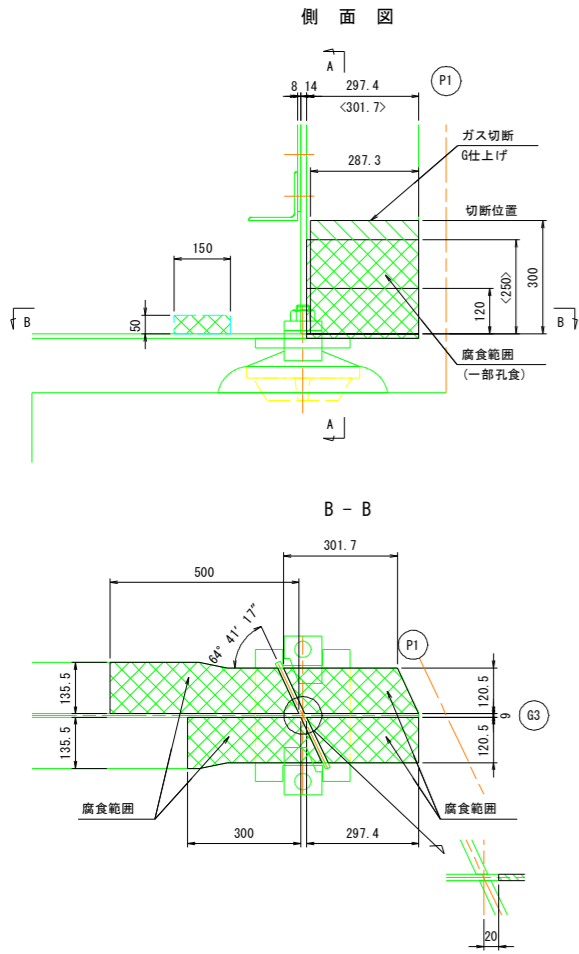
路線名	主要地方道 鳥取港線 (安長橋)		
県道 鳥取港線 (安長橋) 外 橋梁補修工事 (補助橋補修)			
図名	安長橋 上部工補修図(その3)		
位置	鳥取市安長地内		
縮尺	図示 (A1印刷時)	単位	MM
図号	全 24 葉中の内 4		
令和 6 年度施行		鳥取県	
鳥取県土整備事務所			

# 安長橋 上部工補修図(その4)

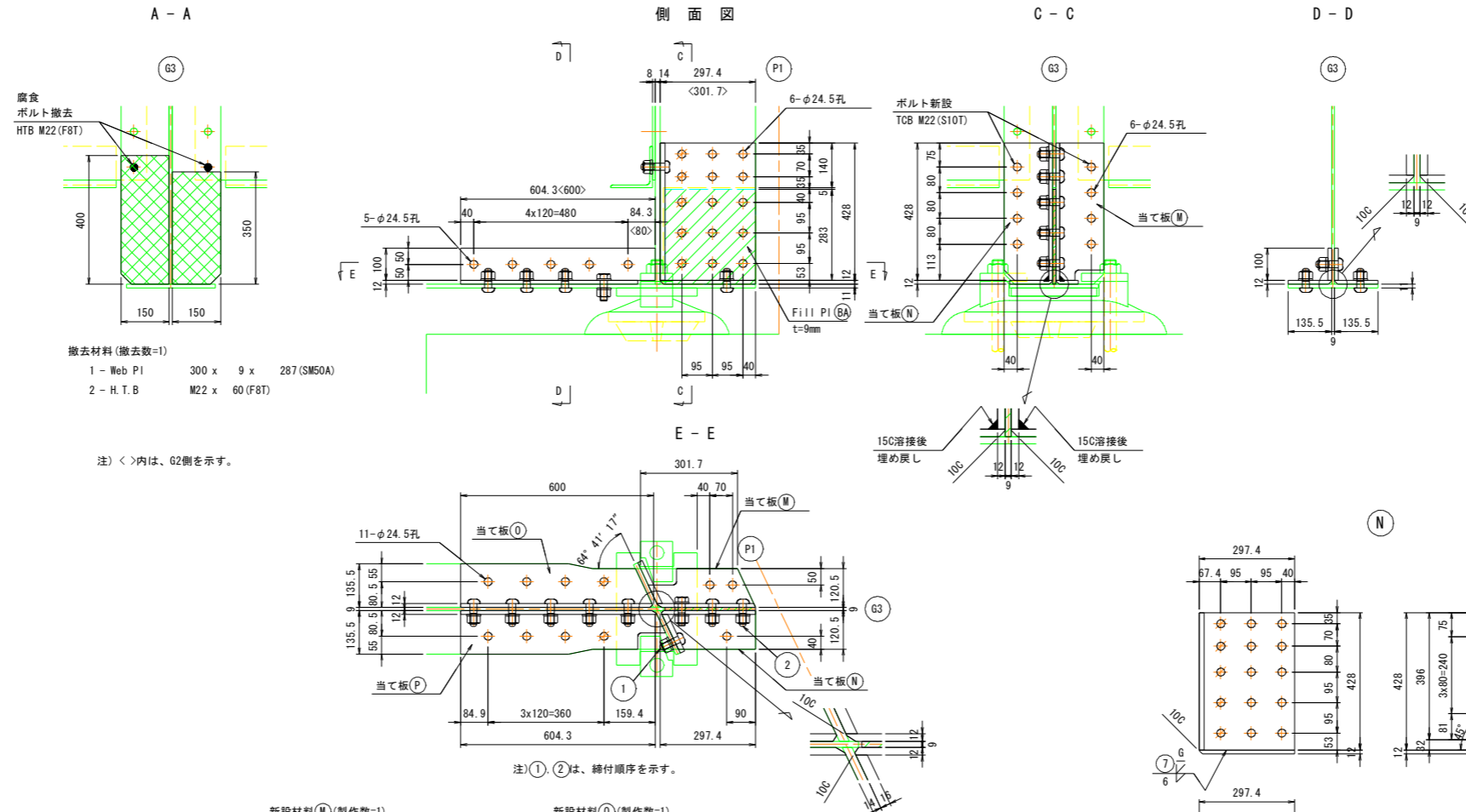
S=1:10

## 当て板補修工<4/9>

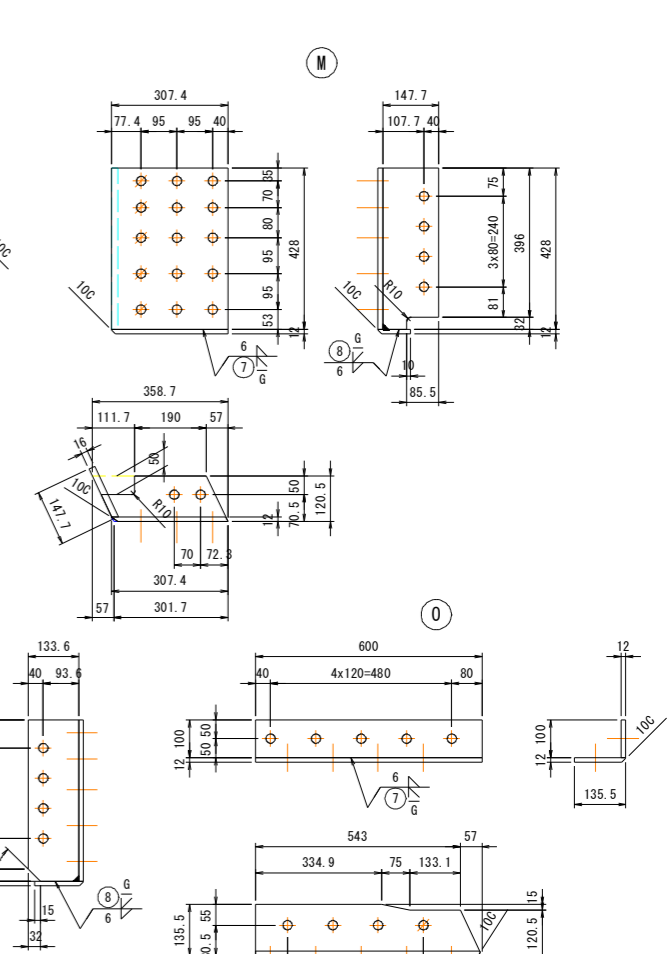
### 現況図



### 補修図



### 当て板詳細図



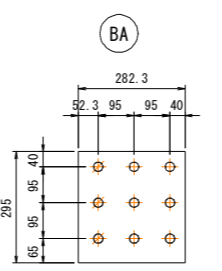
撤去材料(撤去数=1)  
 1 - Web PI 300 x 9 x 287 (SM50A)  
 2 - H.T.B M22 x 60 (F8T)

注) < >内は、G2側を示す。

注) ① ②は、締付順序を示す。

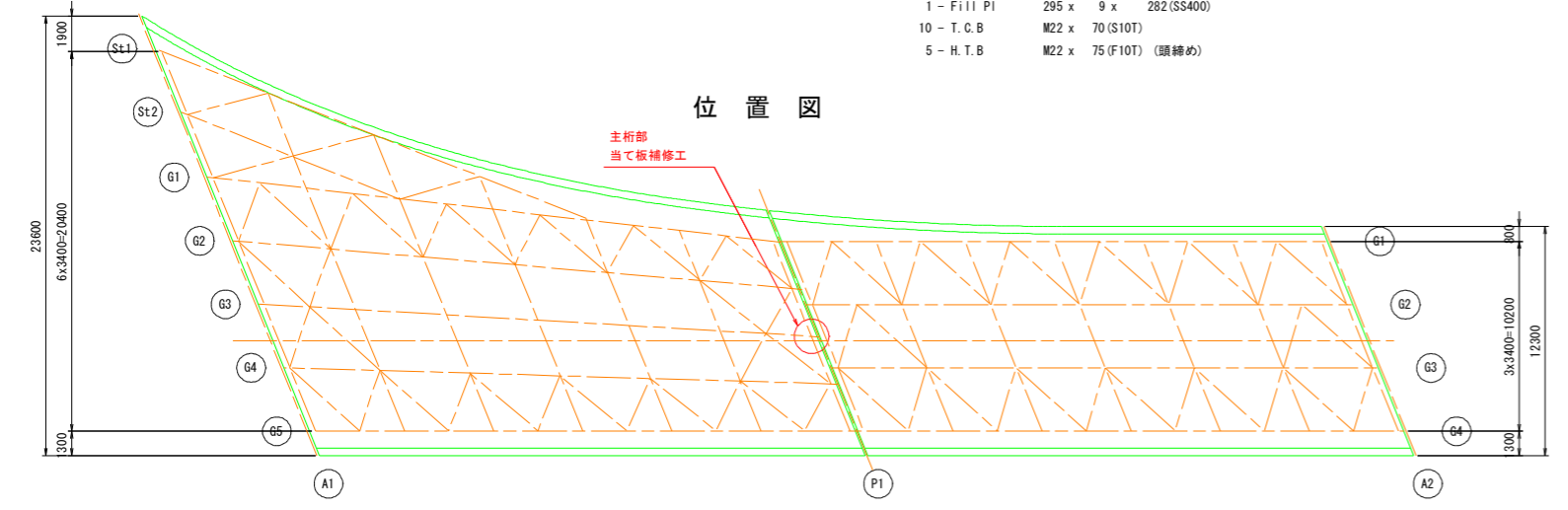
- |  |  |
|--|--|
| <p>新設材料(M)(製作数=1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 - PI 428 x 12 x 307</li> <li>1 - PI 148 x 16 x 428</li> <li>1 - PI 121 x 12 x 359</li> <li>1 - T.C.B M22 x 75 (S10T)</li> <li>3 - T.C.B M22 x 65 (S10T)</li> <li>2 - T.C.B M22 x 60 (S10T)</li> </ul> | <p>新設材料(O)(製作数=1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 - PI 100 x 12 x 600</li> <li>1 - PI 136 x 12 x 600</li> <li>3 - T.C.B M22 x 60 (S10T)</li> <li>1 - H.T.B M22 x 65 (F10T) (頭締め)</li> </ul> |
| <p>新設材料(N)(製作数=1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 - PI 428 x 12 x 297</li> <li>1 - PI 134 x 16 x 428</li> <li>1 - PI 121 x 12 x 297</li> <li>1 - T.C.B M22 x 75 (S10T)</li> <li>3 - T.C.B M22 x 65 (S10T)</li> <li>1 - T.C.B M22 x 60 (S10T)</li> </ul> | <p>新設材料(P)(製作数=1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 - PI 100 x 12 x 610</li> <li>1 - PI 136 x 12 x 661</li> <li>3 - T.C.B M22 x 60 (S10T)</li> <li>1 - H.T.B M22 x 65 (F10T) (頭締め)</li> </ul> |
| <p>新設材料(BA)(製作数=1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 - Fill PI 295 x 9 x 282 (SS400)</li> <li>10 - T.C.B M22 x 70 (S10T)</li> <li>5 - H.T.B M22 x 75 (F10T) (頭締め)</li> </ul>  | <p>新設材料(製作数=1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5 - T.C.B M22 x 70 (S10T)</li> </ul>   |

### Fill PI詳細図



- 注記
1. 数値は全て、現場実測後決定のこと。
  2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  3. ○印は、トルシア形高力ボルト M22 (S10T) を示す。
  4. ⊙印は、高力ボルト M22 (F10T) を示す。
  5. ボルト孔径については  
 既設部材 → 24.5φ  
 新設部材 → 26.5φとする。
  6. 当て板範囲は、再度現地にて確認後決定すること。

### 位置図



### (R6) (公共) [実施設計]

路線名	主要地方道 鳥取港線 (安長橋)		
県道鳥取港線 (安長橋) 外 橋梁補修工事 (補助橋補修)			
図名	安長橋 上部工補修図(その4)		
位置	鳥取市安長地内		
縮尺	図示 (A1印刷時)	単位	MM
図号	全 24 葉中の内 5		
令和 6 年度施行		鳥取県	
鳥取県土整備事務所			

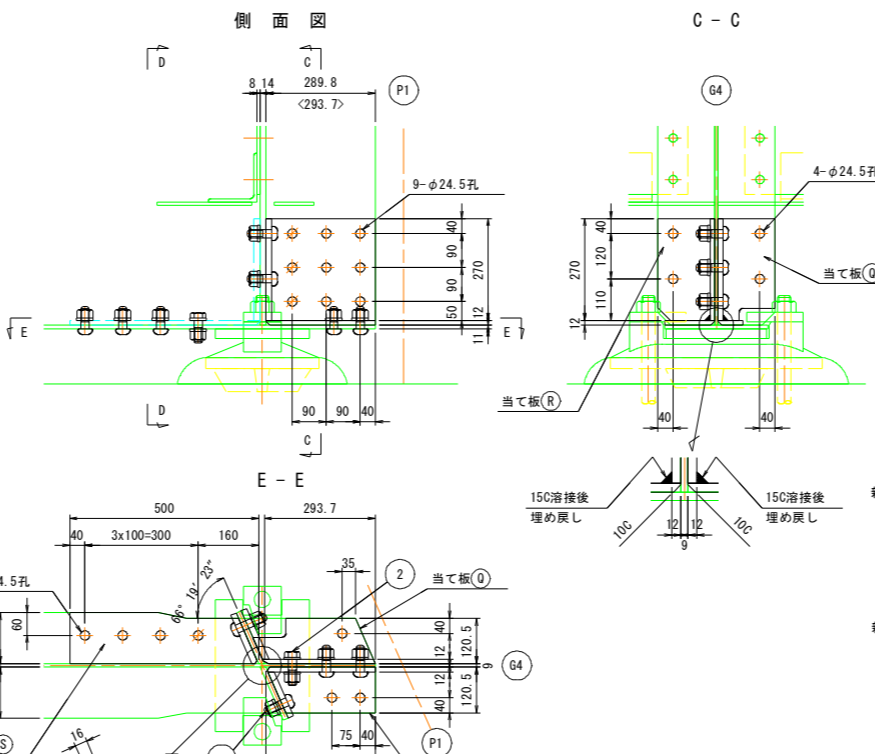
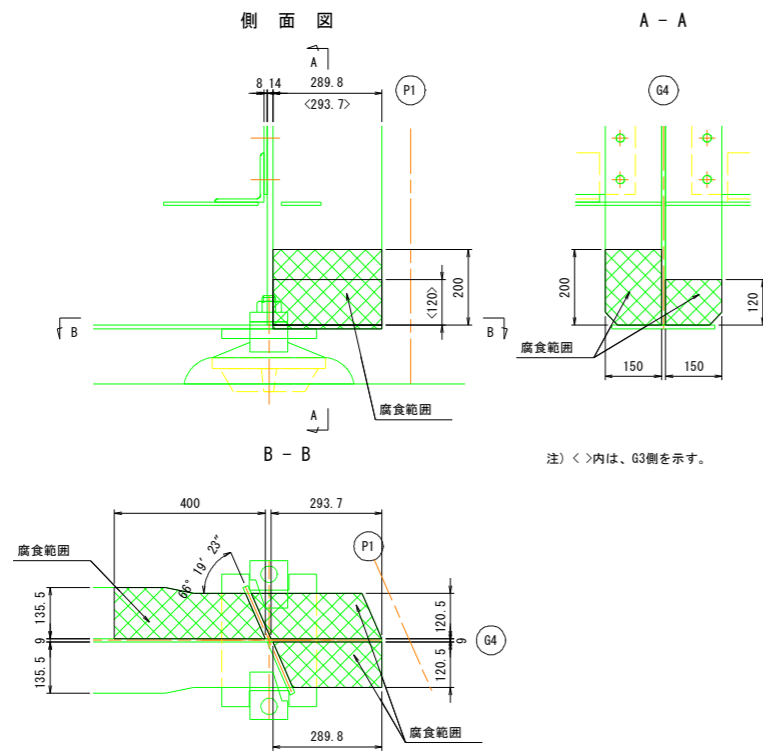
# 安長橋 上部工補修図(その5)

S=1:10

当て板補修工<5/9>

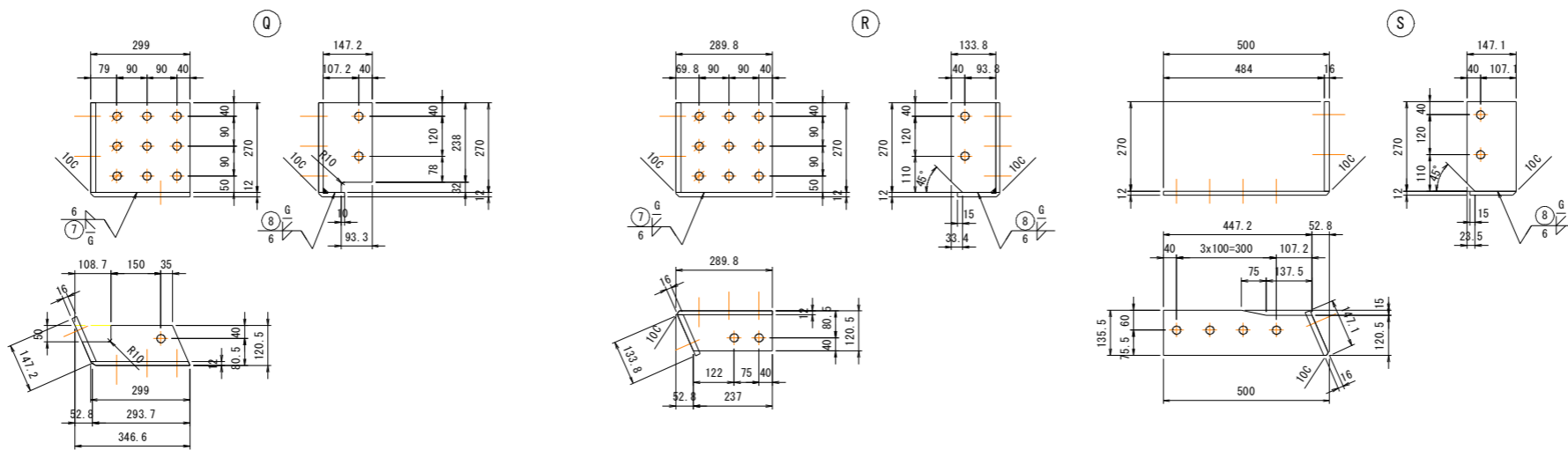
現況図

補修図

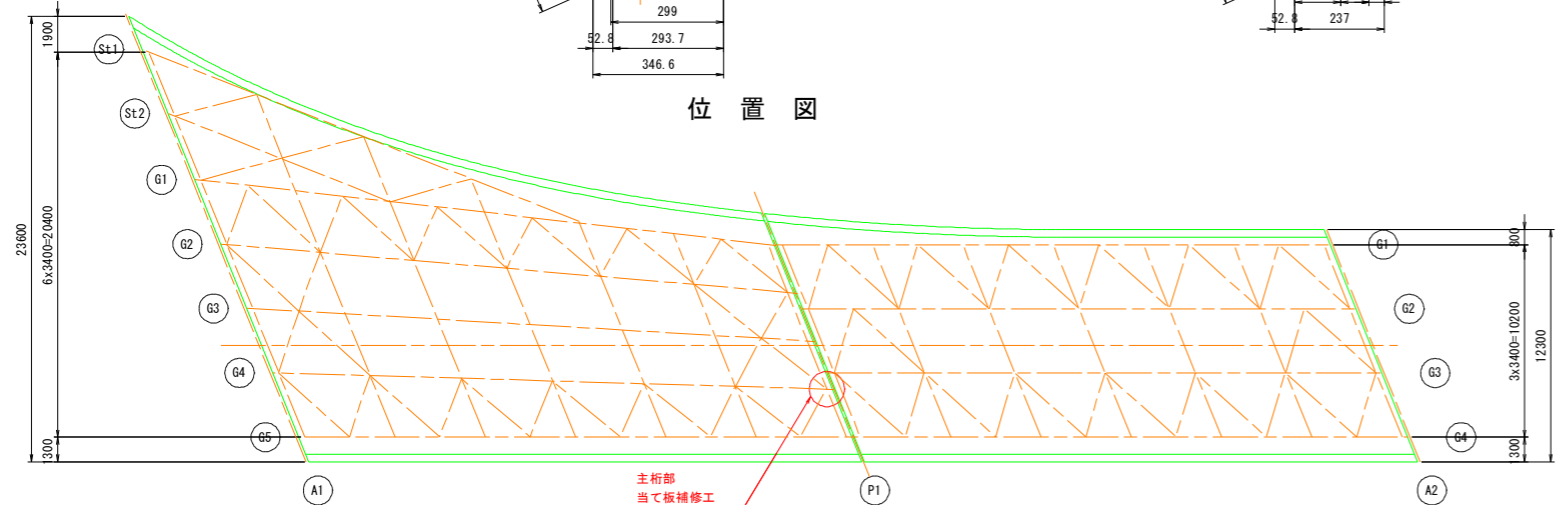


新設材料(Q)(製作数=1)			新設材料(S)(製作数=1)		
1 - P1	270 x 12 x 299		1 - P1	147 x 16 x 270	
1 - P1	147 x 16 x 270		1 - P1	136 x 12 x 500	
1 - P1	121 x 12 x 347		3 - T.C.B	M22 x 60 (S10T)	
1 - T.C.B	M22 x 60 (S10T)		1 - H.T.B	M22 x 65 (F10T) (頭締め)	
新設材料(R)(製作数=1)			新設材料(Q)(製作数=1)		
1 - P1	270 x 12 x 290		6 - T.C.B	M22 x 70 (S10T)	
1 - P1	134 x 16 x 270		3 - H.T.B	M22 x 75 (F10T) (頭締め)	
1 - P1	121 x 12 x 290		2 - T.C.B	M22 x 85 (S10T)	
2 - T.C.B	M22 x 65 (S10T)				
2 - T.C.B	M22 x 60 (S10T)				

当て板詳細図



位置図



- 注記
1. 数値は全て、現場実測後決定のこと。
  2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  3. 印は、トルシア形高力ボルト M22 (S10T) を示す。
  4. 印は、高力ボルト M22 (F10T) を示す。
  5. ボルト孔径については  
既設部材 → 24.5φ  
新設部材 → 26.5φとする。
  6. 当て板範囲は、再度現地にて確認後決定すること。

## (R6) (公共) [実施設計]

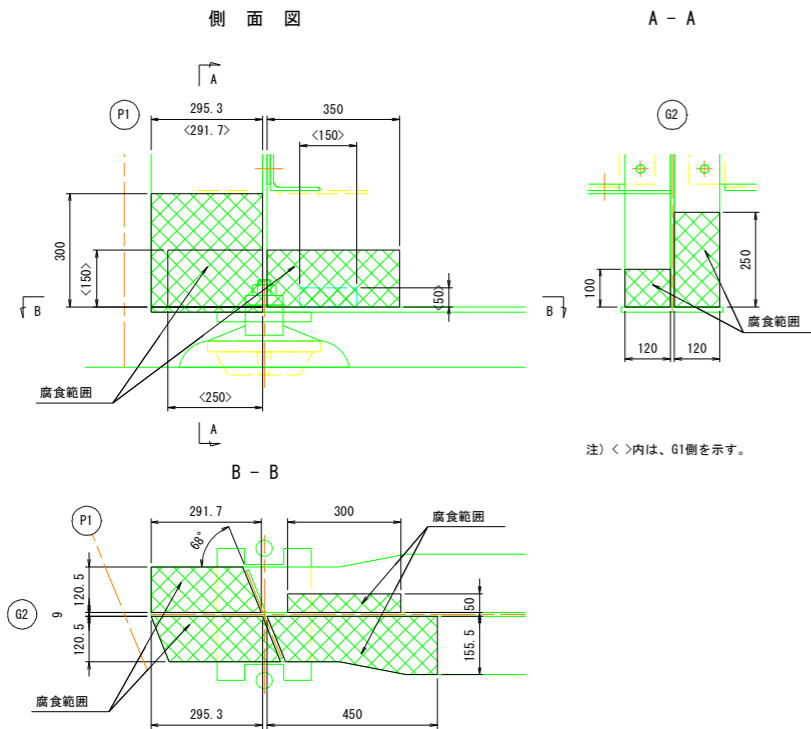
路線名			
主要地方道 鳥取港線 (安長橋)			
県道鳥取港線 (安長橋) 外 橋梁補修工事 (補助橋補修)			
図名			
安長橋 上部工補修図(その5)			
位置			
鳥取市安長地内			
縮尺		単位	
図示 (A1印刷時)			MM
図号			
全 24 葉中の内 6			
令和 6 年度施行		鳥取県	
鳥取県土整備事務所			

# 安長橋 上部工補修図(その6)

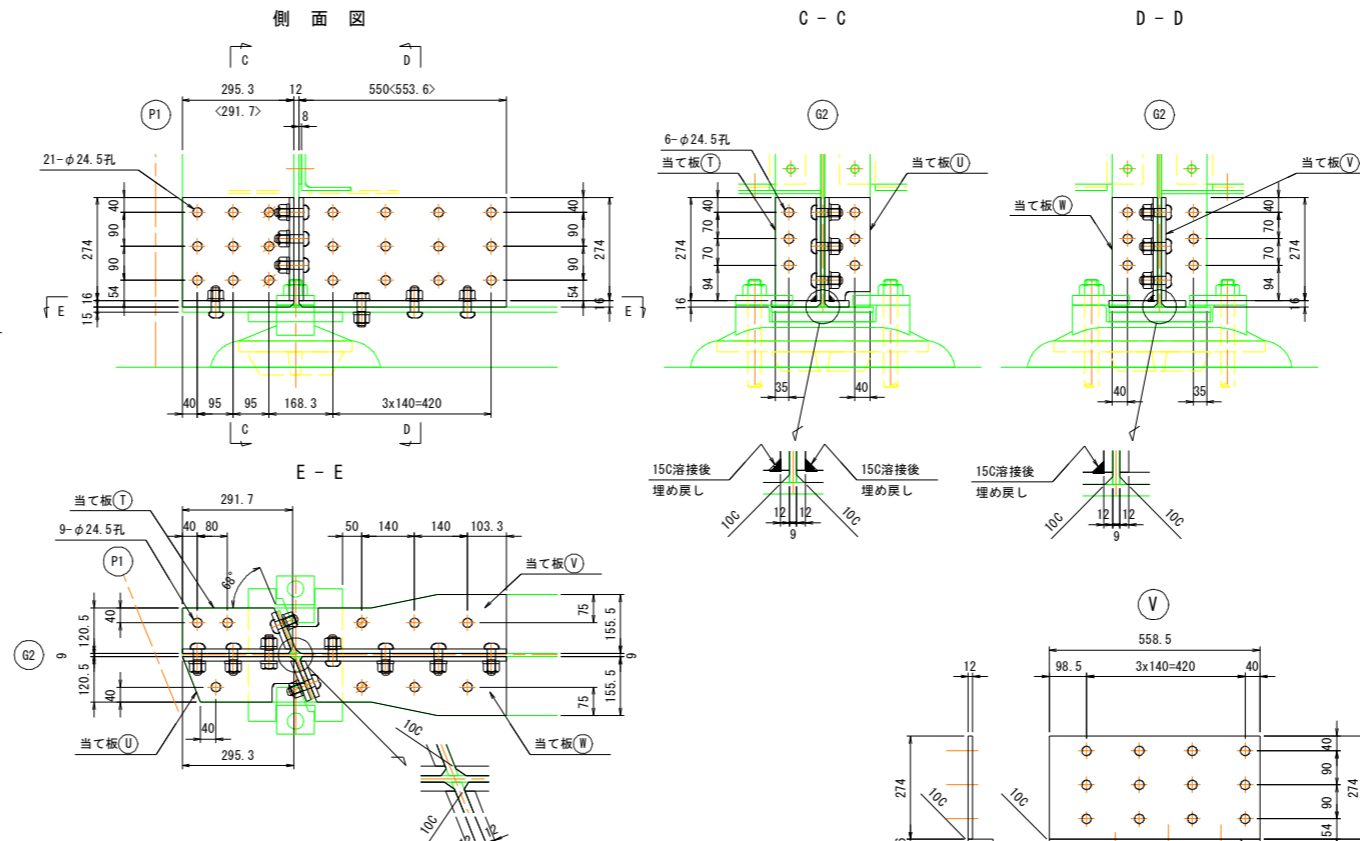
S=1:10

当て板補修工<6/9>

## 現況図



## 補修図



### 新設材料(T) (製作数=1)

1 - P1	274 x 12 x 292
1 - P1	105 x 12 x 274
1 - P1	121 x 16 x 292
2 - T.C.B	M22 x 70 (S10T)
3 - T.C.B	M22 x 60 (S10T)

### 新設材料(V) (製作数=1)

1 - P1	274 x 12 x 559
1 - P1	156 x 16 x 602
2 - T.C.B	M22 x 70 (S10T)
1 - H.T.B	M22 x 75 (F10T) (頭締め)

### 新設材料(U) (製作数=1)

1 - P1	274 x 12 x 300
1 - P1	114 x 12 x 274
1 - P1	121 x 16 x 344
1 - T.C.B	M22 x 70 (S10T)

### 新設材料(W) (製作数=1)

1 - P1	274 x 12 x 550
1 - P1	105 x 12 x 274
1 - P1	156 x 16 x 550
2 - T.C.B	M22 x 70 (S10T)
1 - H.T.B	M22 x 75 (F10T) (頭締め)

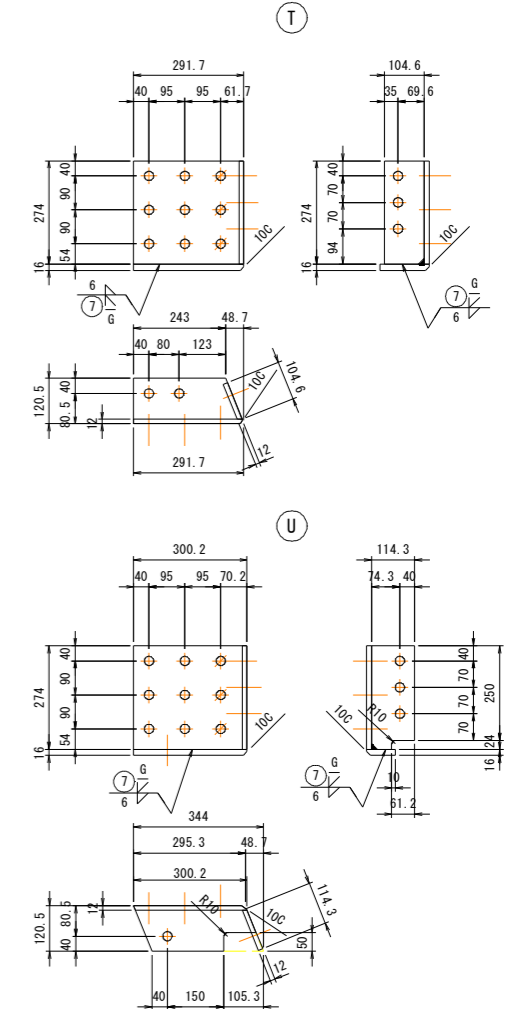
### 新設材料 (製作数=1)

6 - T.C.B	M22 x 70 (S10T)
3 - H.T.B	M22 x 75 (F10T) (頭締め)

### 新設材料 (製作数=1)

3 - T.C.B	M22 x 75 (S10T)
12 - T.C.B	M22 x 70 (S10T)

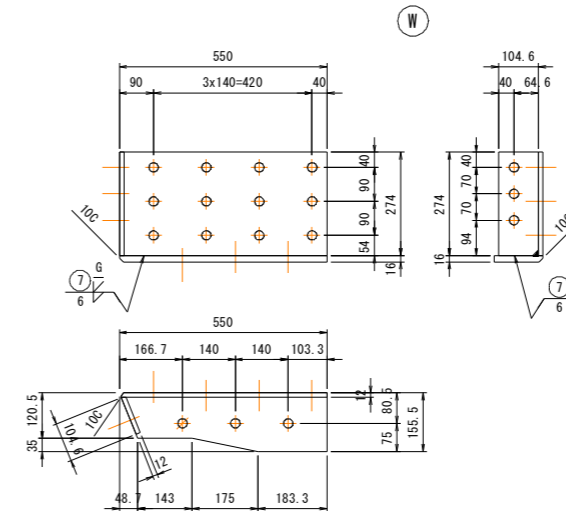
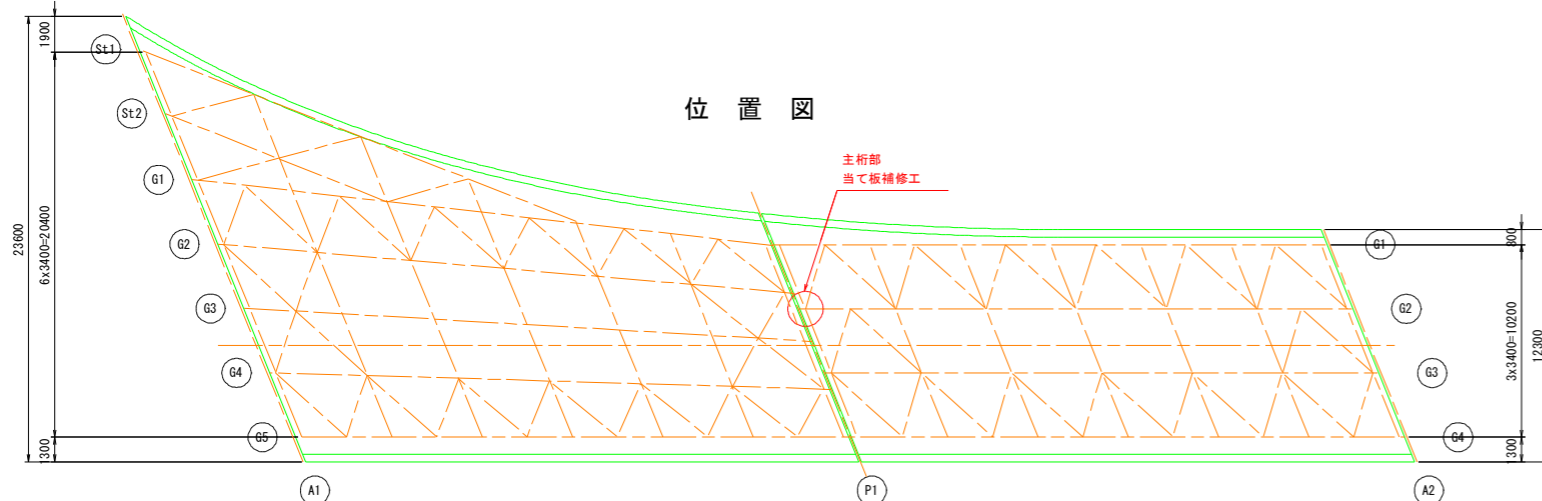
## 当て板詳細図



### 注記

1. 数値は全て、現場実測後決定のこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. ○印は、トルシア形高力ボルト M22 (S10T) を示す。
4. ⊙印は、高力ボルト M22 (F10T) を示す。
5. ボルト孔径については  
既設部材 → 24.5φ  
新設部材 → 26.5φとする。
6. 当て板範囲は、再度現地にて確認後決定すること。

## 位置図



## (R6) (公共) [実施設計]

〈安長橋〉

路線名	主要地方道 鳥取港線 (安長橋)
県道鳥取港線 (安長橋) 外 橋梁補修工事 (補助橋補修)	
図名	安長橋 上部工補修図 (その6)
位置	鳥取市安長地内
縮尺	図示 (A1印刷時) 単位 MM
図号	全 24 葉中の内 7
令和 6 年度施行 鳥取県	
鳥取県土整備事務所	

# 安長橋 上部工補修図(その7)

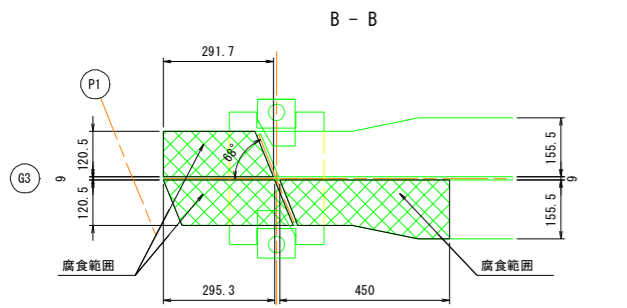
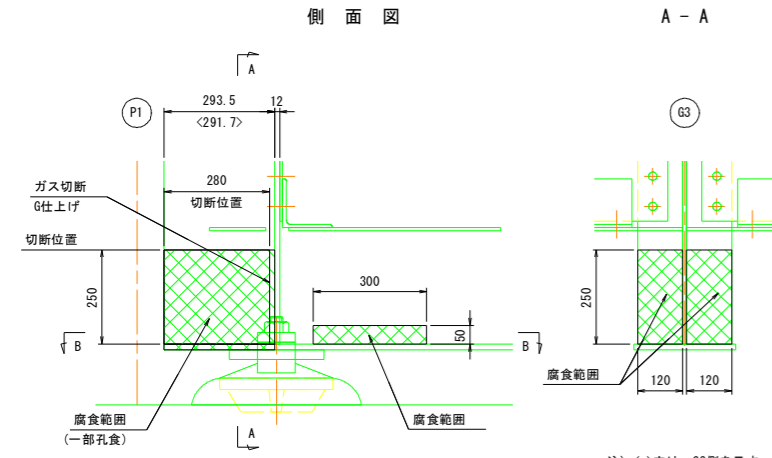
S=1:10

当て板補修工<7/9>

## 現況図

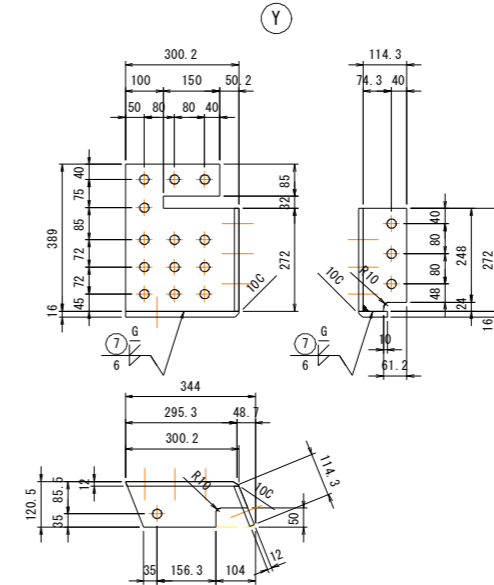
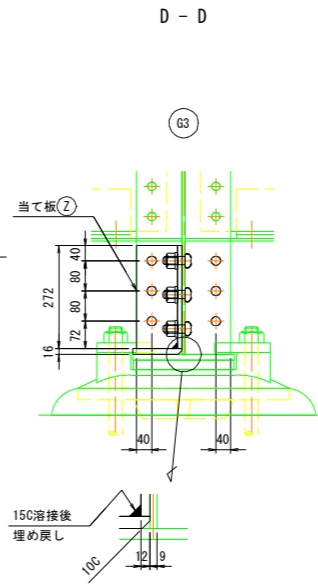
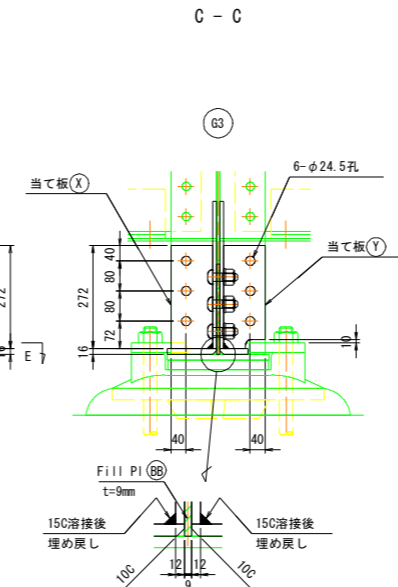
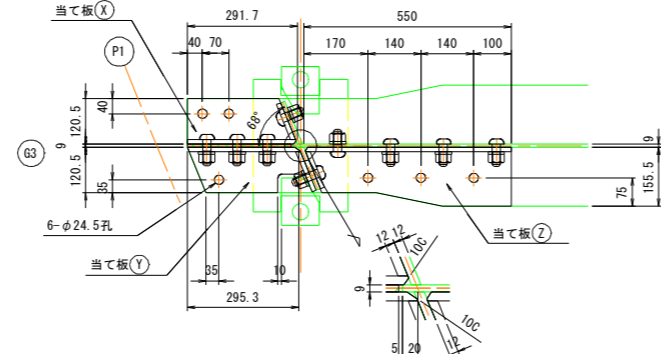
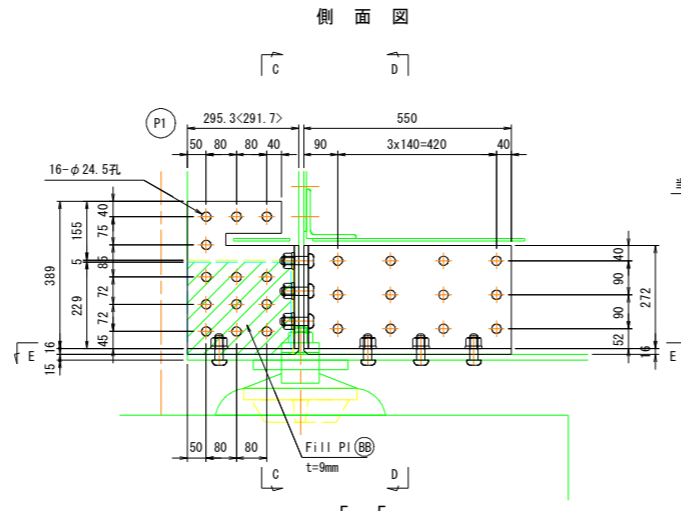
## 補修図

## 当て板詳細図

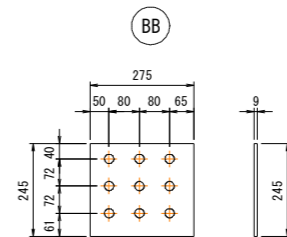


撤去材料 (撤去数=1)  
1 - Web PI 250 x 9 x 280 (SM50A)

注) <>内は、G2側を示す。



### Fill PI詳細図



新設材料 (X) (製作数=1)		新設材料 (Z) (製作数=1)	
1 - PI	389 x 12 x 292	1 - PI	272 x 12 x 550
1 - PI	105 x 12 x 272	1 - PI	105 x 12 x 272
1 - PI	121 x 16 x 292	1 - PI	156 x 16 x 550
2 - T.C.B	M22 x 70 (S10T)	3 - T.C.B	M22 x 70 (S10T)
3 - T.C.B	M22 x 60 (S10T)	12 - T.C.B	M22 x 60 (S10T)

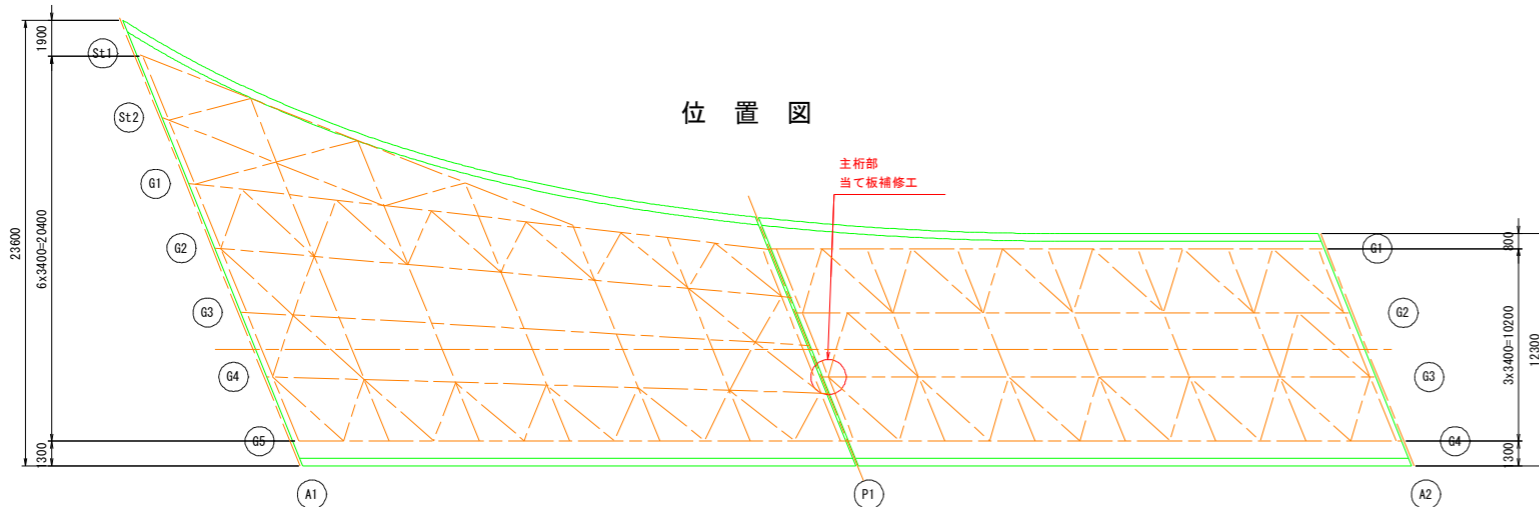
  

新設材料 (Y) (製作数=1)	
1 - PI	389 x 12 x 300
1 - PI	114 x 12 x 272
1 - PI	121 x 16 x 344
1 - T.C.B	M22 x 70 (S10T)

新設材料 (BB) (製作数=1)	
1 - Fill PI	245 x 9 x 275 (SS400)
3 - T.C.B	M22 x 75 (S10T)
13 - T.C.B	M22 x 70 (S10T)

## 位置図



- 注記
- 数値は全て、現場実測後決定のこと。
  - 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  - ⊙印は、トルシア形高力ボルト M22 (S10T) を示す。
  - ⊙印は、高力ボルト M22 (F10T) を示す。
  - ボルト孔径については  
既設部材 → 24.5φ  
新設部材 → 26.5φとする。
  - 当て板範囲は、再度現地にて確認後決定すること。

## (R6) (公共) [実施設計]

路線名	主要地方道 鳥取港線 (安長橋)
県道鳥取港線 (安長橋) 外 橋梁補修工事 (補助橋補修)	
図名	安長橋 上部工補修図(その7)
位置	鳥取市安長地内
縮尺	図示 (A1印刷時) 単位 MM
図号	全 24 葉中の内 8
令和 6 年度施行 鳥取県	
鳥取県土整備事務所	



# 安長橋 上部工補修図(その8)

S=1:10

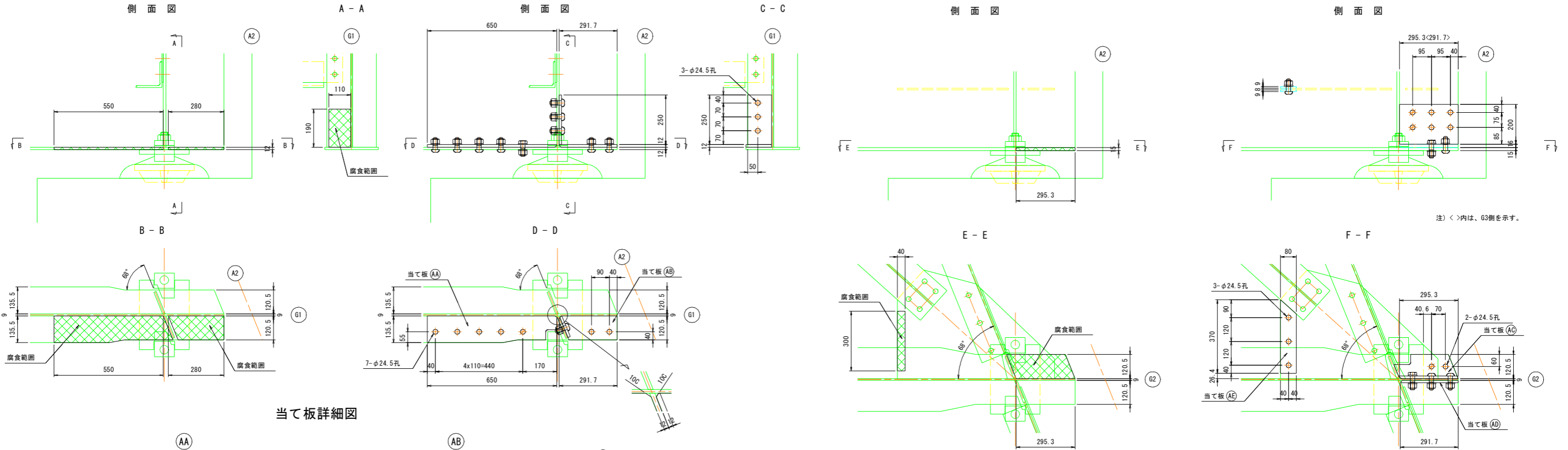
当て板補修工<8/9>

現況図

補修図

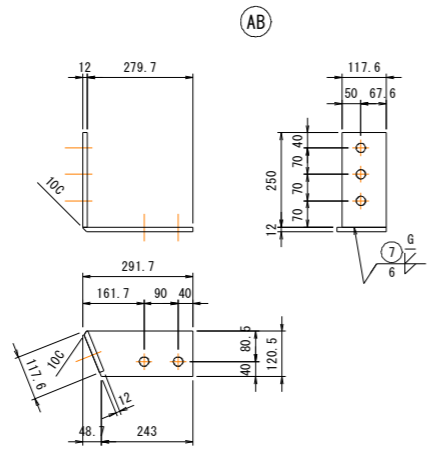
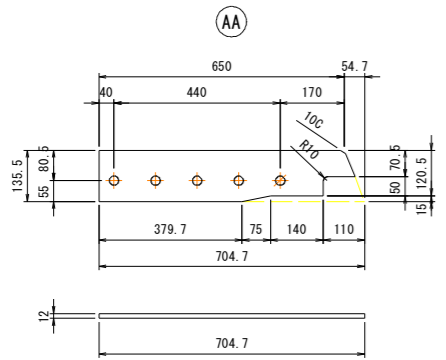
現況図

補修図

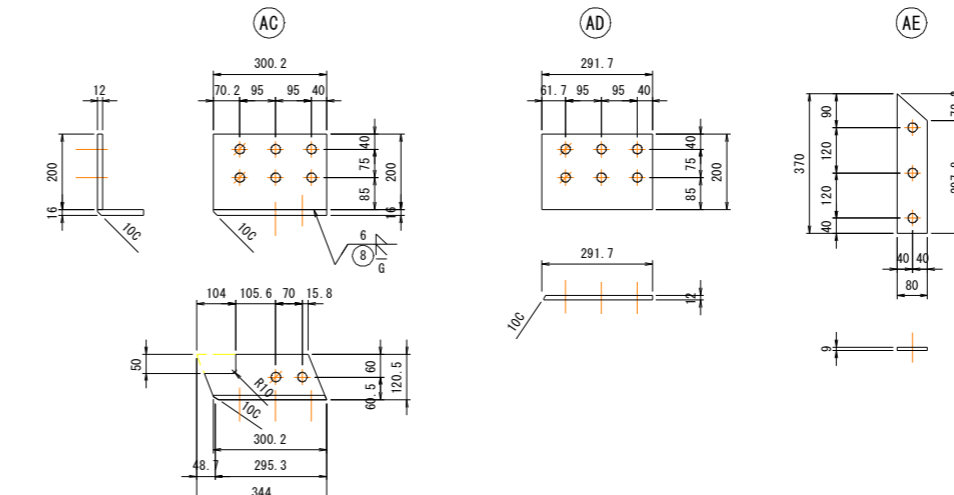


当て板詳細図

当て板詳細図

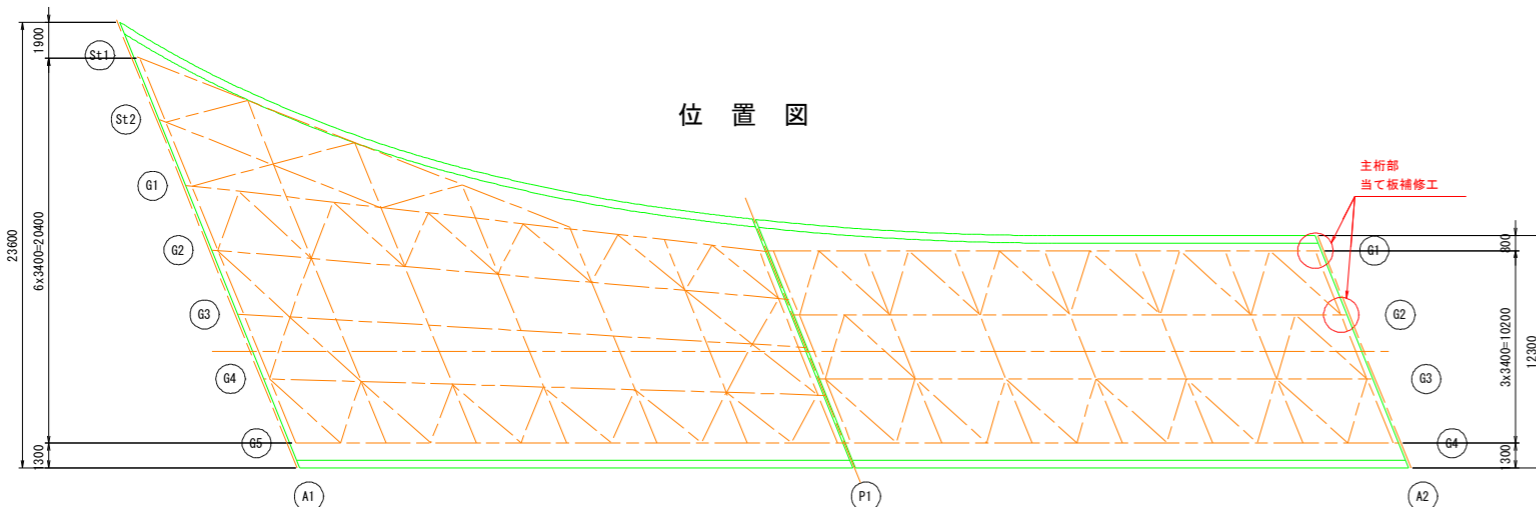


- 新設材料 (製作数=1)
- 1 - P.I 136 x 12 x 705 (SS400)
  - 4 - T.C.B M22 x 60 (S10T)
  - 1 - H.T.B M22 x 65 (F10T) (頭締め)
- 新設材料 (製作数=1)
- 1 - P.I 118 x 12 x 250
  - 1 - P.I 121 x 12 x 292
  - 2 - T.C.B M22 x 60 (S10T)
- 新設材料 (製作数=1)
- 3 - T.C.B M22 x 60 (S10T)



- 注記
1. 数値は全て、現場実測後決定のこと。
  2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  3. ○印は、トルシア形高力ボルト M22 (S10T) を示す。
  4. ⊙印は、高力ボルト M22 (F10T) を示す。
  5. ボルト孔径については  
既設部材 → 24.5φ  
新設部材 → 26.5φとする。
  6. 当て板範囲は、再度現地にて確認後決定すること。

位置図



- 新設材料 (製作数=1)
- 1 - P.I 200 x 12 x 300 (SS400)
  - 1 - P.I 121 x 16 x 344 (SS400)
  - 1 - T.C.B M22 x 70 (S10T)
  - 1 - H.T.B M22 x 75 (F10T)
- 新設材料 (製作数=1)
- 1 - P.I 200 x 12 x 292 (SS400)
- 新設材料 (製作数=1)
- 4 - T.C.B M22 x 70 (S10T)
  - 2 - H.T.B M22 x 75 (F10T) (頭締め)
- 新設材料 (製作数=1)
- 2 - P.I 80 x 9 x 370 (SS400)
  - 3 - T.C.B M22 x 65 (S10T)

## (R6) (公共) [実施設計]

路線名	主要地方道 鳥取港線 (安長橋)		
県道鳥取港線 (安長橋) 外 橋梁補修工事 (補助橋補修)			
図名	安長橋 上部工補修図(その8)		
位置	鳥取市安長地内		
縮尺	図示 (A1印刷時)	単位	MM
図号	全 24 葉中の内 9		
令和 6 年度施行		鳥取県	
鳥取県土整備事務所			

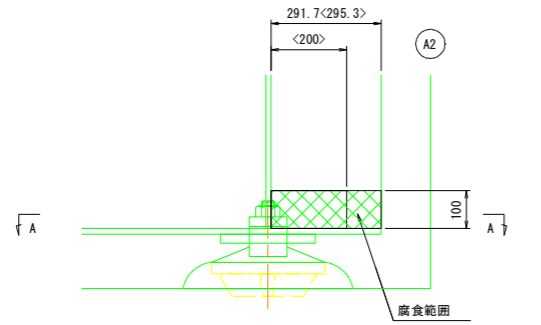
# 安長橋 上部工補修図(その9)

S=1:10

当て板補修工<9/9>

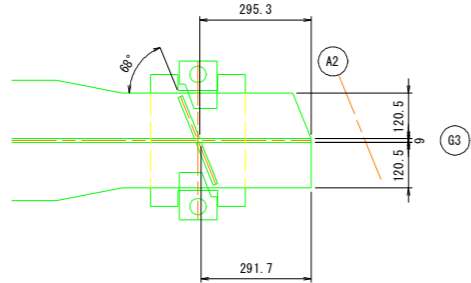
## 現況図

側面図



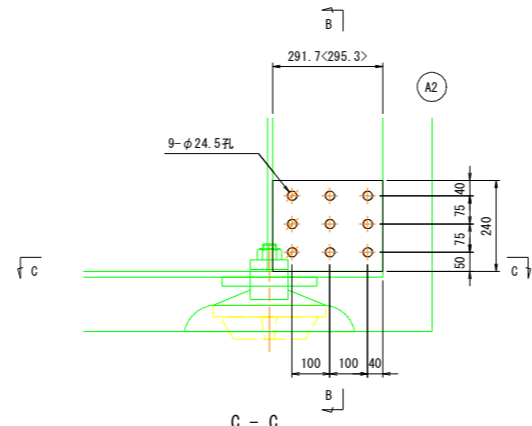
注) <>内は、G2側を示す。

A - A

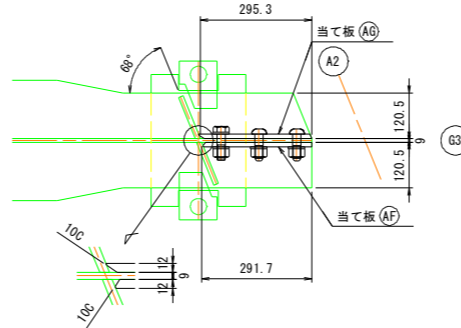


## 補修図

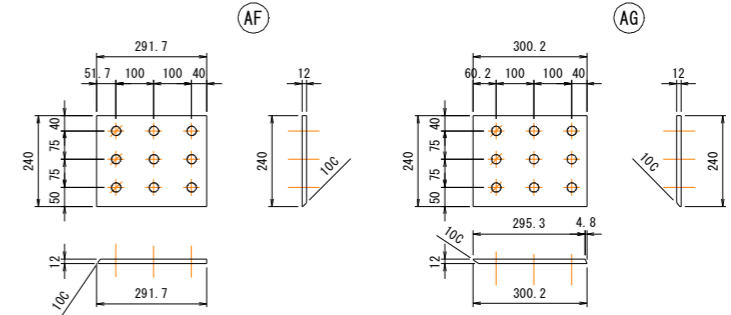
側面図



C - C



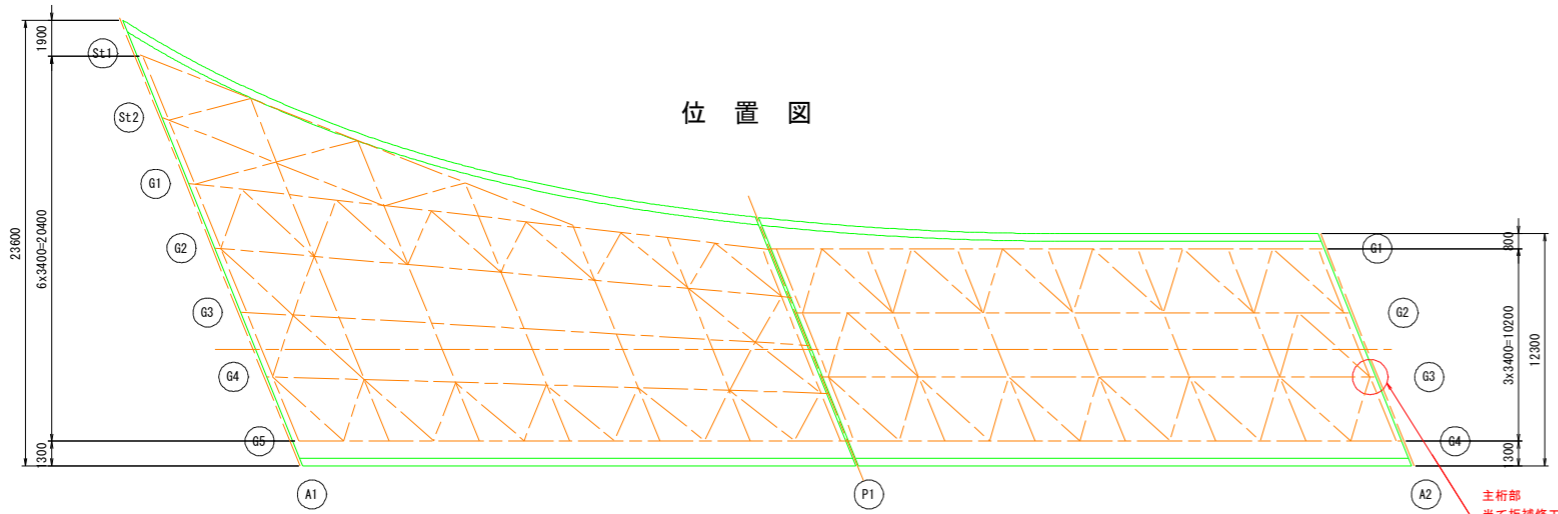
## 当て板詳細図



- 新設材料 (製作数=1)  
1 - PI 240 x 12 x 292 (SS400)
- 新設材料 (製作数=1)  
1 - PI 240 x 12 x 300 (SS400)
- 新設材料 (製作数=1)  
6 - T.C.B M22 x 70 (S10T)  
3 - H.T.B M22 x 75 (F10T) (頭締め)

- 注記
1. 数値は全て、現場実測後決定のこと。
  2. ⊕印は、トルシア形高力ボルト M22 (S10T) を示す。
  3. ⊙印は、高力ボルト M22 (F10T) を示す。
  4. ボルト孔径については  
既設部材 → 24.5φ  
新設部材 → 26.5φとする。
  5. 当て板範囲は、再度現地にて確認後決定すること。

## 位置図



## (R6) (公共) [実施設計]

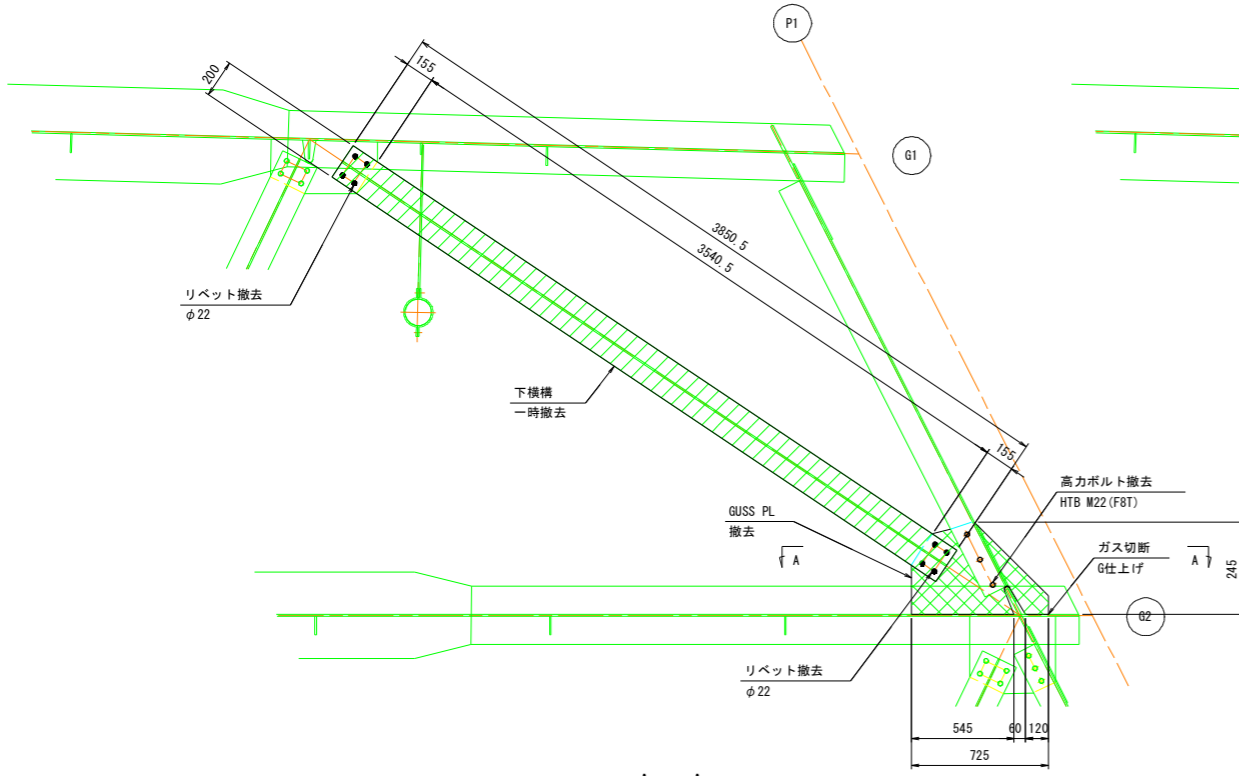
路線名	主要地方道 鳥取港線 (安長橋)		
県道鳥取港線 (安長橋) 外 橋梁補修工事 (補助橋補修)			
図名	安長橋 上部工補修図(その9)		
位置	鳥取市安長地内		
縮尺	図示 (A1印刷時)	単位	MM
図号	全 24 葉中の内 10		
令和 6 年度施行		鳥取県	
鳥取県土整備事務所			

# 安長橋 上部工補修図(その10)

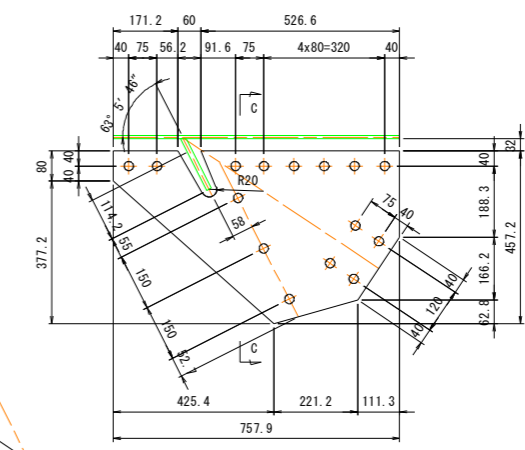
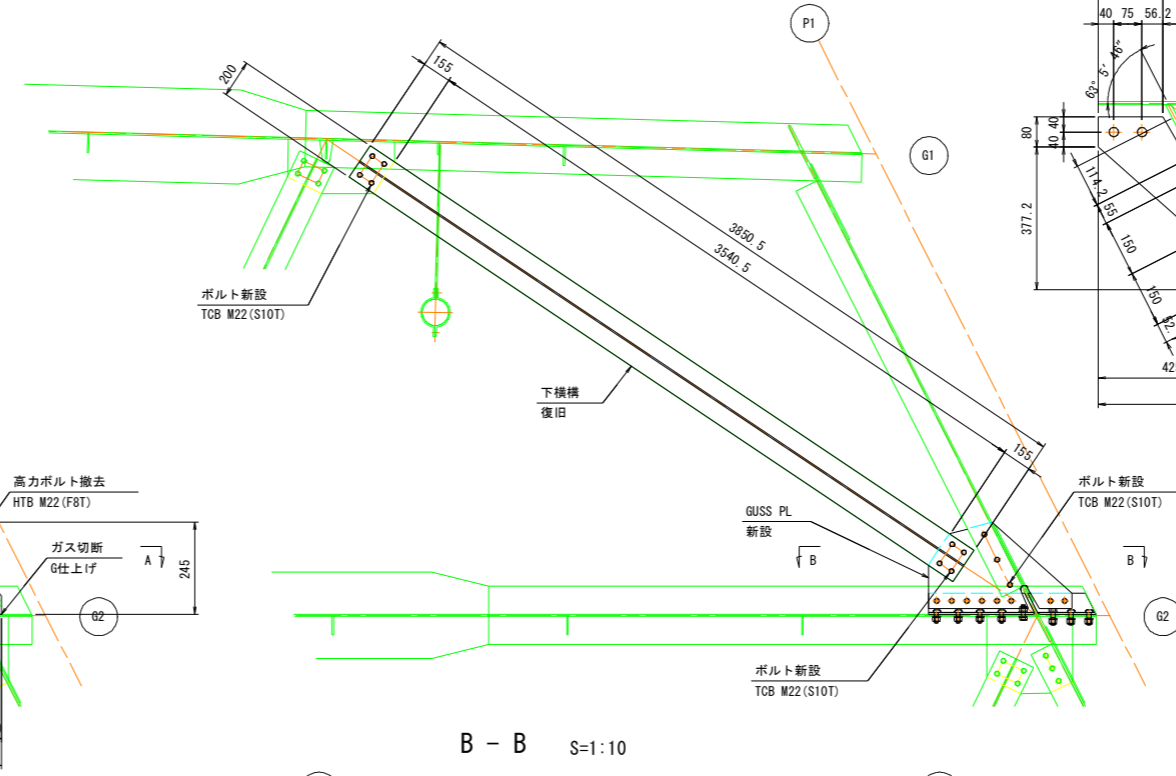
S=1:20

Guss PI詳細図 S=1:10

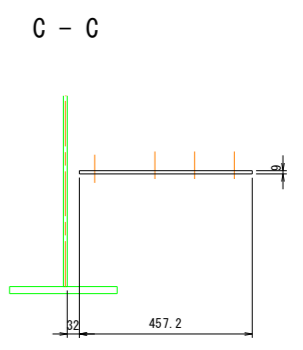
撤去図  
平面図



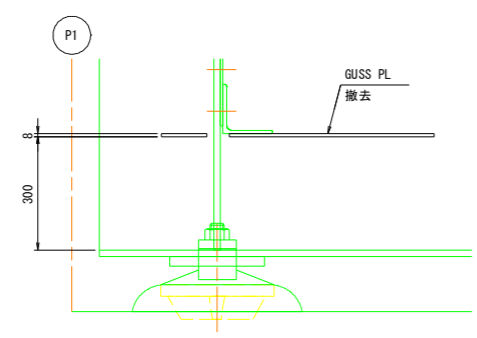
部材取替工<1/2>  
補修図  
平面図



新設材料 (BC) (製作数=1)  
1 - Guss PI 457 x 9 x 758 (SS400)  
7 - T.C.B M22 x 55 (S10T)



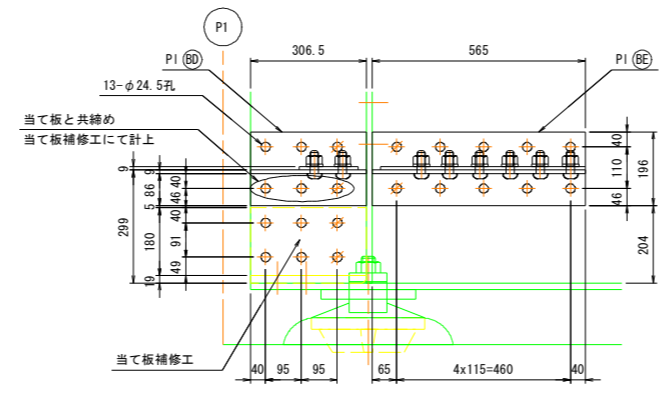
A - A S=1:10



一時撤去復旧材料 (一時撤去復旧数=1)  
1 - CT 142 x 200 x 8 x 8 x 3851 (SS41)

撤去材料 (撤去数=1)  
1 - Guss PI 245 x 8 x 725 (SS41)  
8 - リベット φ22 (SV41)  
3 - H.T.B M22 x 60 (F8T)

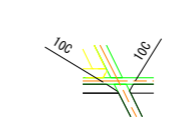
B - B S=1:10



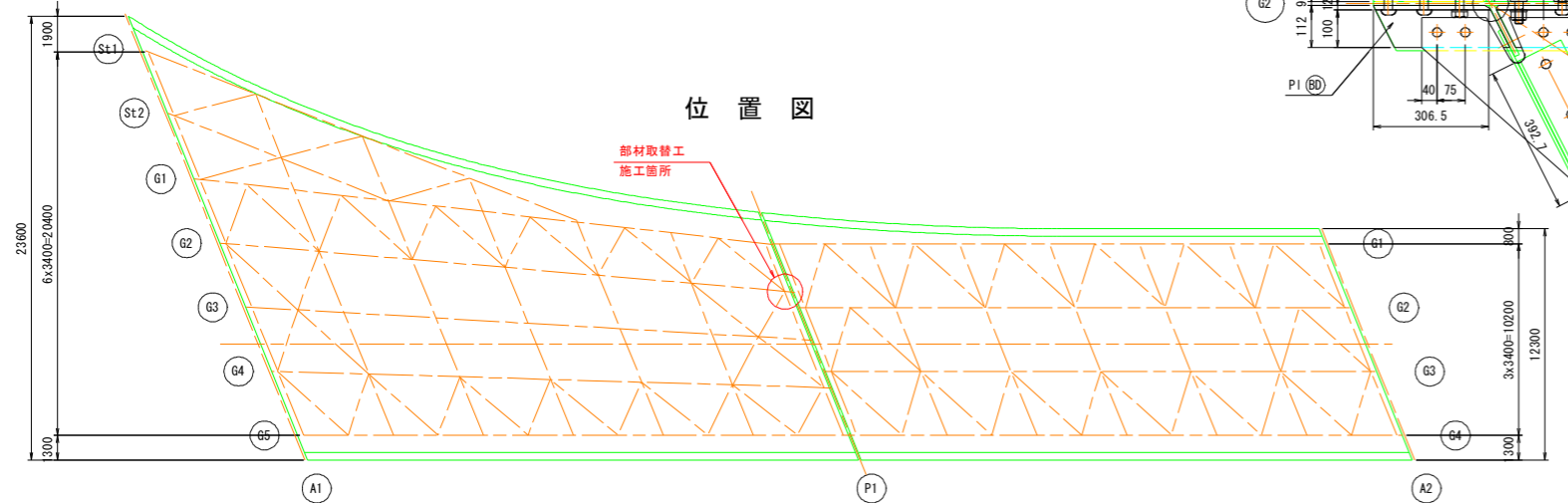
新設材料 (BD) (製作数=1)  
1 - Base PI 196 x 12 x 313  
1 - Conn PI 100 x 9 x 357  
2 - T.C.B M22 x 60 (S10T)  
2 - T.C.B M22 x 55 (S10T)  
1 - H.T.B M22 x 65 (F10T) (頭締め)

新設材料 (BE) (製作数=1)  
1 - Base PI 196 x 12 x 565  
1 - Conn PI 100 x 9 x 559  
8 - T.C.B M22 x 60 (S10T)  
6 - T.C.B M22 x 55 (S10T)  
2 - H.T.B M22 x 65 (F10T)

"a" 部詳細 S=1:5



位置図



- 注記
- 数値は全て、現場実測後決定のこと。
  - 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  - 印は、トルシヤ形高力ボルト M22 (S10T) を示す。
  - 印は、高力ボルト M22 (F10T) を示す。
  - 印は、リベット孔 φ22 (SV41) を示す。
  - ボルト孔径については  
既設部材 → 24.5φ  
新設部材 → 26.5φとする。
  - リベット孔は、リーマーにてφ24.5拡大孔とする。

(R6) (公共) [実施設計]

路線名	主要地方道 鳥取港線 (安長橋)		
位置	県道鳥取港線 (安長橋) 外 橋梁補修工事 (補助橋補修)		
図名	安長橋 上部工補修図 (その10)		
位置	鳥取市安長地内		
縮尺	図示 (A1印刷時)	単位	MM
図号	全 24 葉中の内 11		
令和 6 年度施行	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

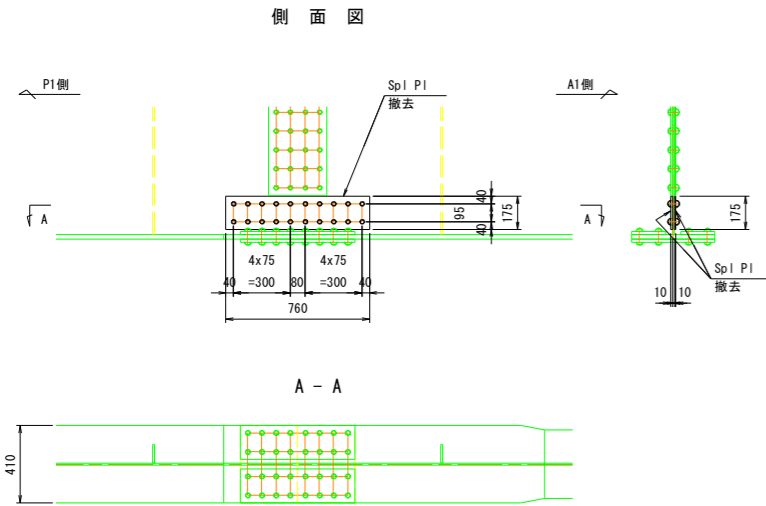
# 安長橋 上部工補修図(その11)

S=1:20

## 部材取替工<2/2>

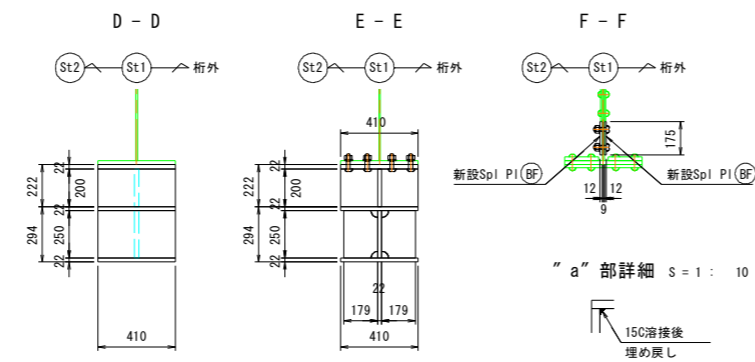
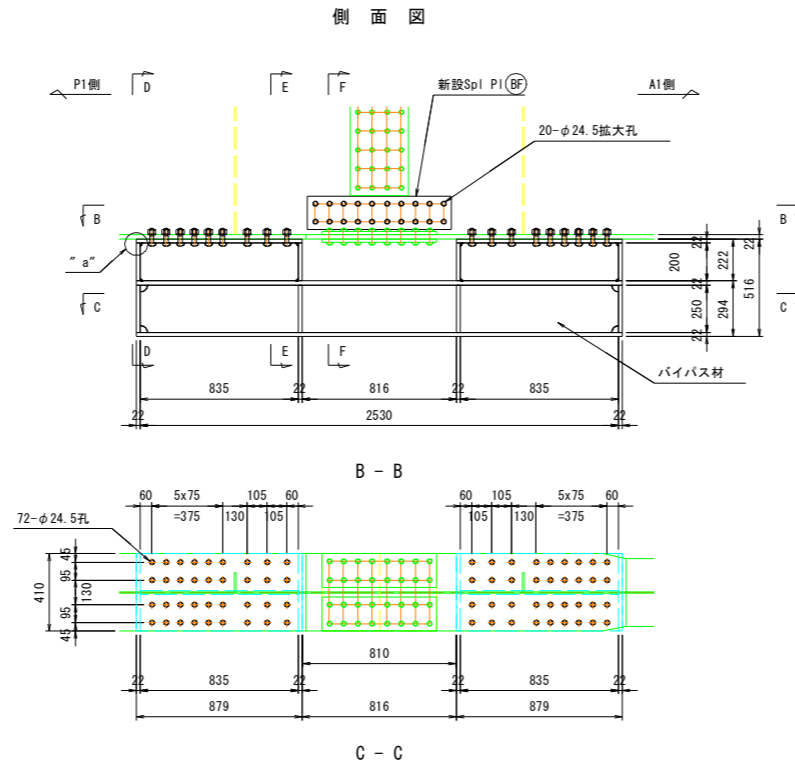
### 縦桁添接部

#### 現況図、撤去図

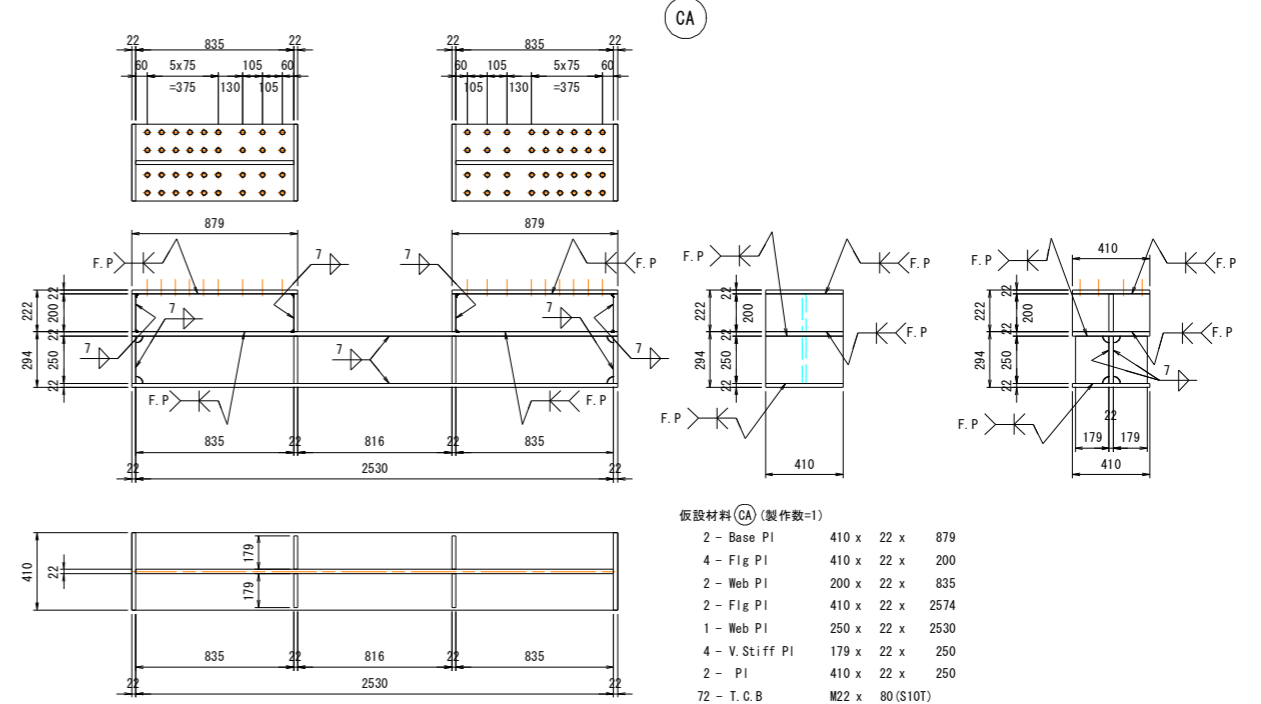


撤去材料(撤去数=1)  
 1 - SpI PI 175 x 10 x 760(SM50A)  
 20 - リベット φ22 (S4V1)

#### 補修図



### バイパス材詳細図

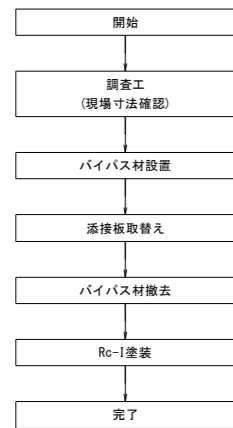


仮設材料 (CA) (製作数=1)

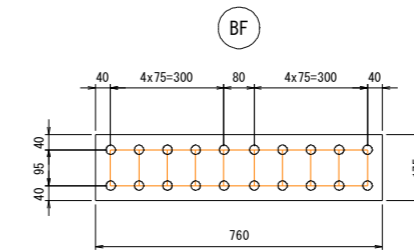
2 - Base PI	410 x 22 x 879
4 - Flg PI	410 x 22 x 200
2 - Web PI	200 x 22 x 835
2 - Flg PI	410 x 22 x 2574
1 - Web PI	250 x 22 x 2530
4 - V.Stiff PI	179 x 22 x 250
2 - PI	410 x 22 x 250
72 - T.C.B	M22 x 80 (S10T)

注) バイパス材撤去後のボルト孔は、閉じボルトを設置すること。

### バイパス工法施工フロー



### 新設SpI PI詳細図 S=1:10

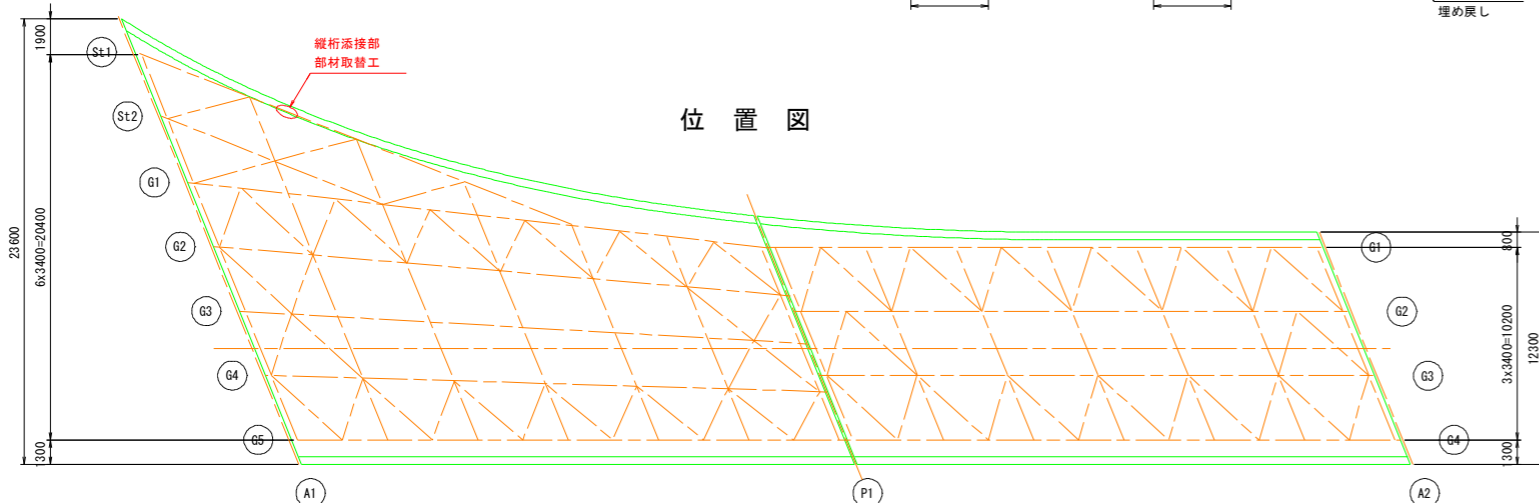


新設材料 (BF) (製作数=1)  
 2 - SpI PI 175 x 12 x 760(SS400)  
 20 - T.C.B M22 x 70 (S10T)

新設材料 (製作数=1)  
 72 - T.C.B M22 x 60 (S10T) → 閉じボルト

- 注記
1. 数値は全て、現場実測後決定のこと。
  2. 特記なき材質は、全てSM400とする。
  3. 特記なきスカーラップは、R35とする。
  4. ⊕印は、トルシア形高力ボルト M22 (S10T) を示す。
  5. ボルト孔径については  
 既設部材 → 24.5φ  
 新設部材 → 26.5φとする。
  6. リベット孔はリーマーにてφ24.5孔にする。
  7. バイパス材は、添接板取替え後撤去のこと。  
 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。

### 位置図



### (R6) (公共) [実施設計]

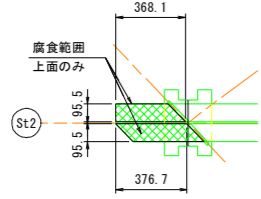
路線名	主要地方道 鳥取港線 (安長橋)		
県道鳥取港線 (安長橋) 外 橋梁補修工事 (補助橋補修)			
図名	安長橋 上部工補修図(その11)		
位置	鳥取市安長地内		
縮尺	図示 (A1印刷時)	単位	MM
図号	全 24 葉中の内 12		
令和 6 年度施行		鳥取県	
鳥取県土整備事務所			

塗替塗装工<1/4>

縦桁部

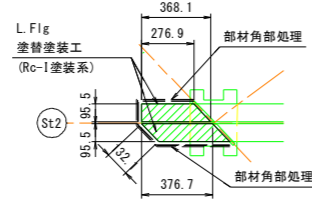
現況図

平面図



補修図

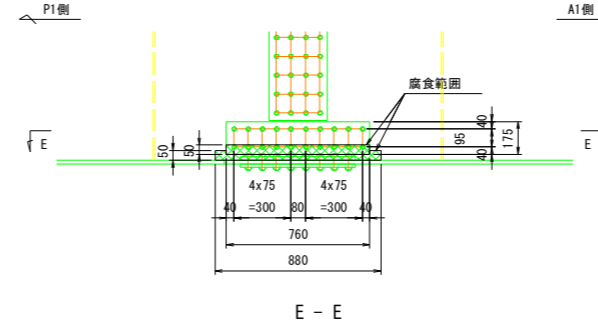
平面図



縦桁添接部

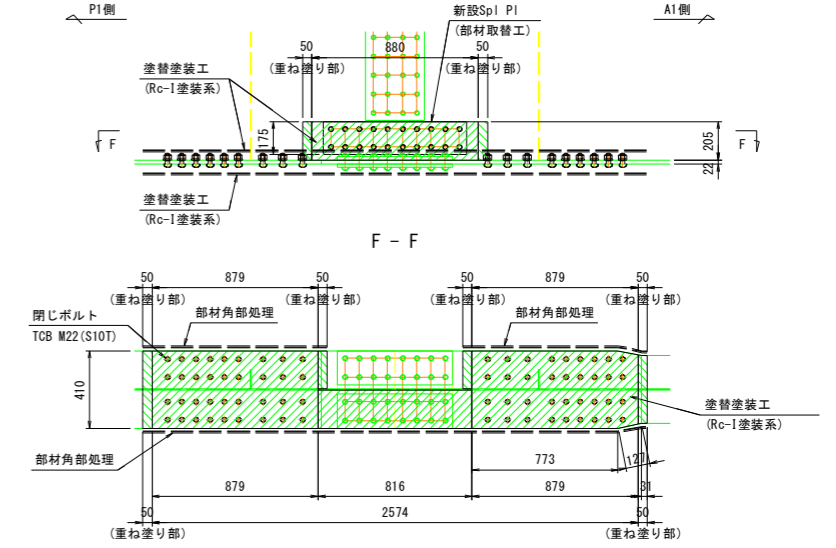
現況図

側面図



補修図

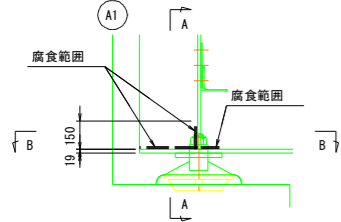
側面図



主桁部

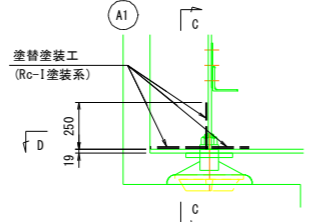
現況図

側面図

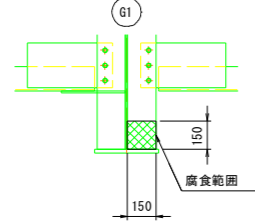


補修図

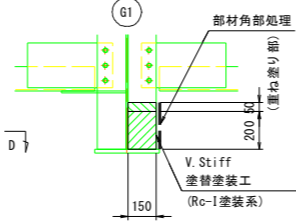
側面図



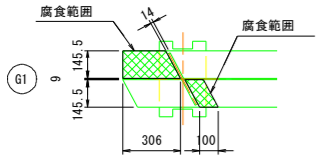
A-A



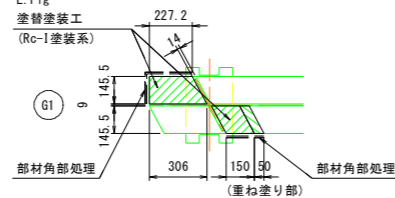
C-C



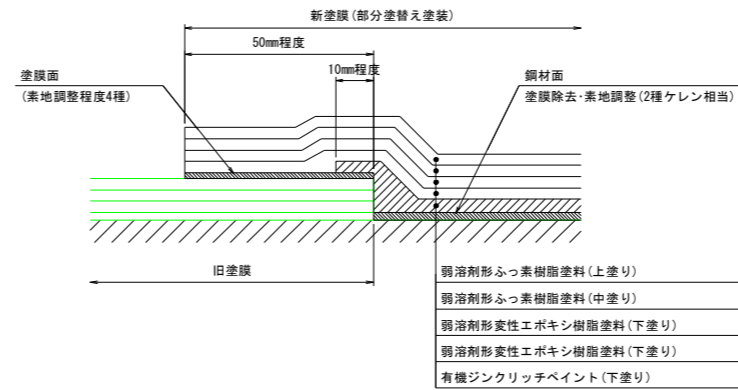
B-B



D-D



新旧塗膜の重ね塗り部の処理

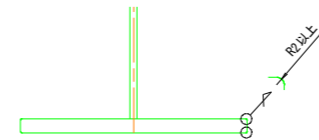


Rc-I塗装系(スプレー)

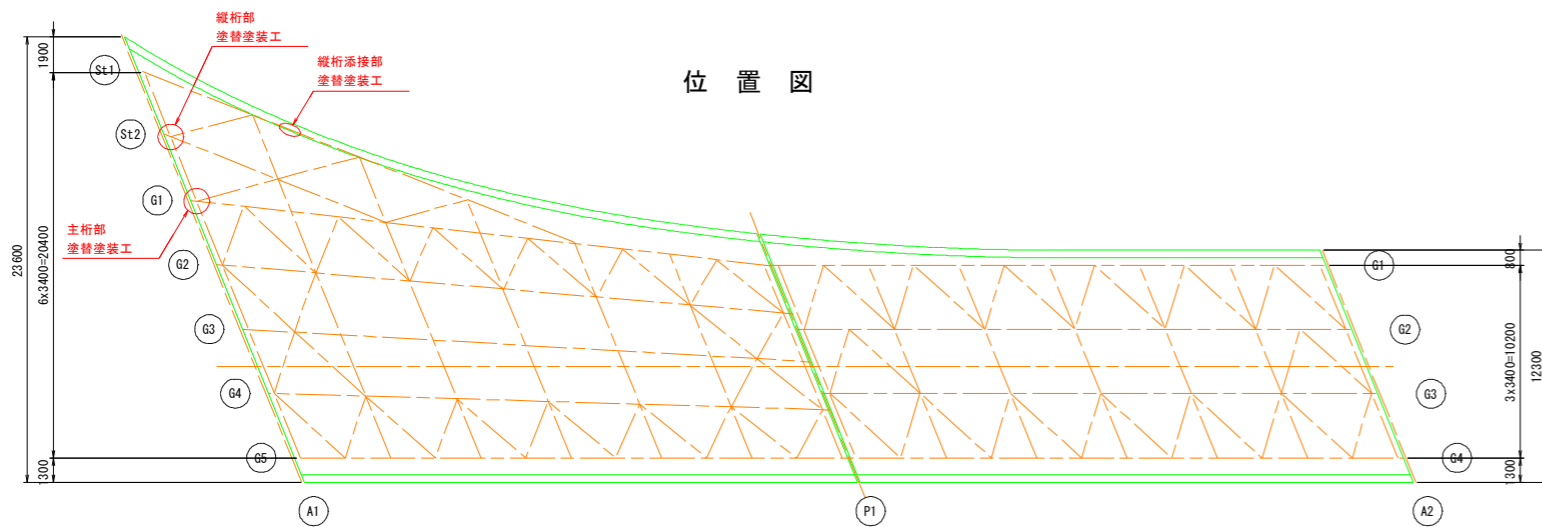
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装間隔
素地調整	2種		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日~10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日~10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日~10日

- 注記  
 1. 数値は全て、現場実測後決定のこと。  
 2. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。

部材角部処理



位置図



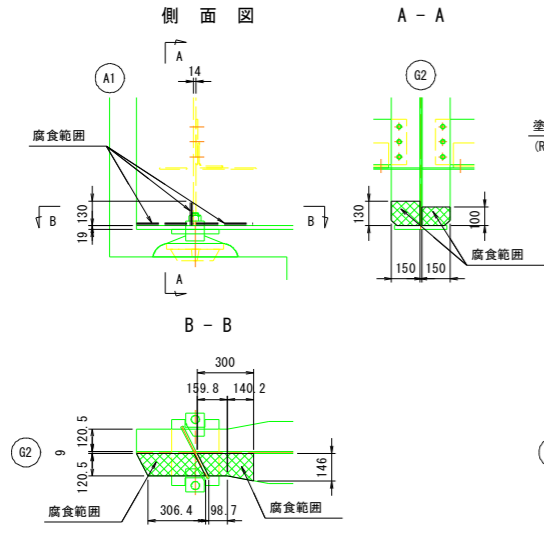
(R6) (公共) [実施設計]

〈安長橋〉			
路線名	主要地方道 鳥取港線 (安長橋)		
県道鳥取港線 (安長橋) 外 橋梁補修工事 (補助橋補修)			
図名	安長橋 上部工補修図(その12)		
位置	鳥取市安長地内		
縮尺	図示 (A1印刷時)	単位	MM
図号	全 24 葉中の内 13		
令和 6 年度施行		鳥取県	
鳥取県土整備事務所			

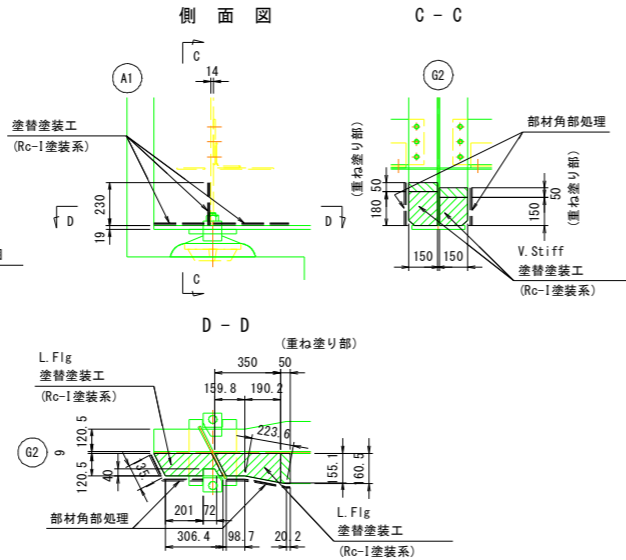
塗替塗装工<2/4>

主桁部

現況図

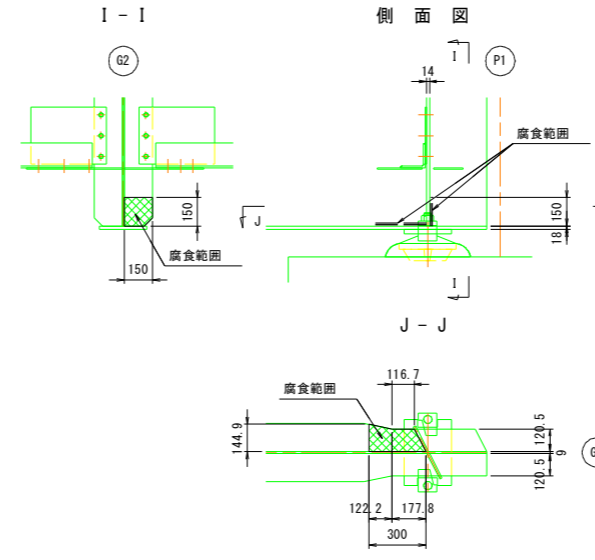


補修図

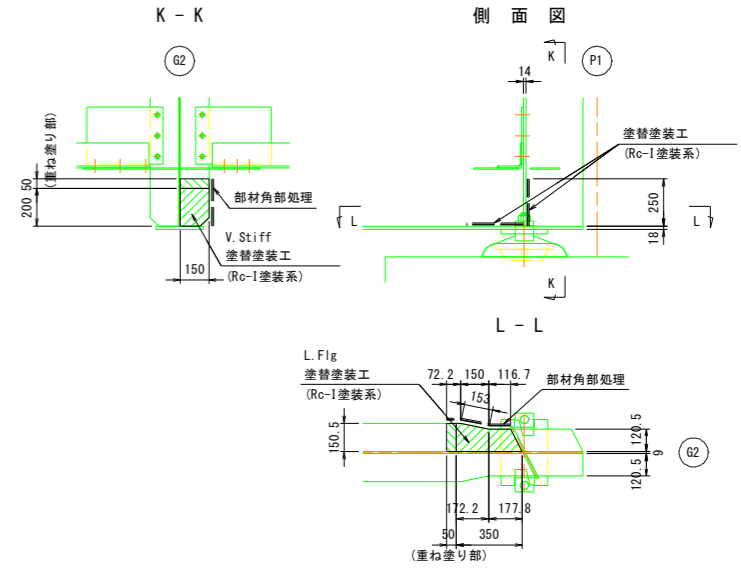


主桁部

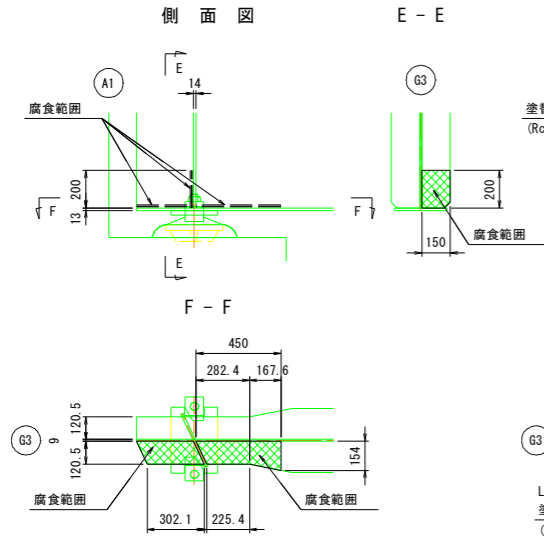
現況図



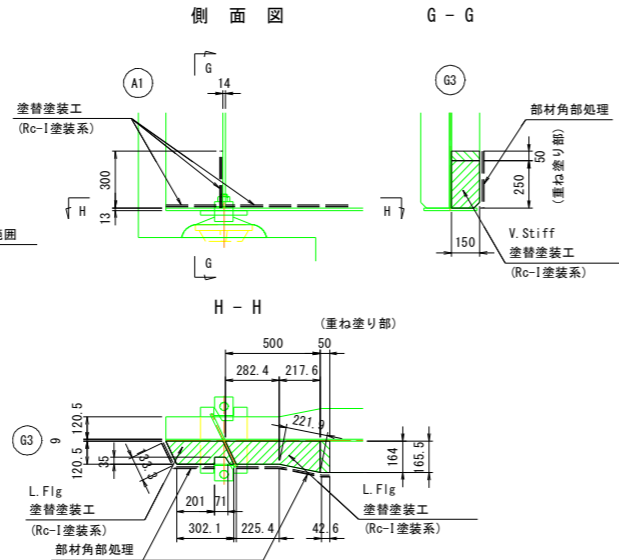
補修図



現況図



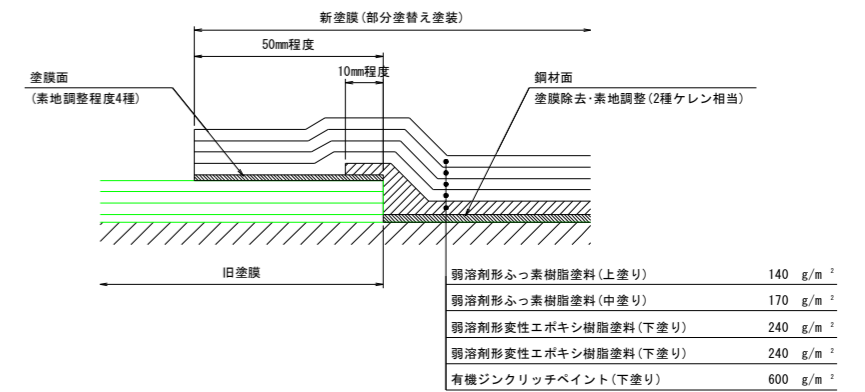
補修図



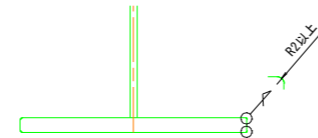
Rc-I塗装系(スプレー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装間隔
素地調整	2種		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日~10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日~10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日~10日

新旧塗膜の重ね塗り部の処理

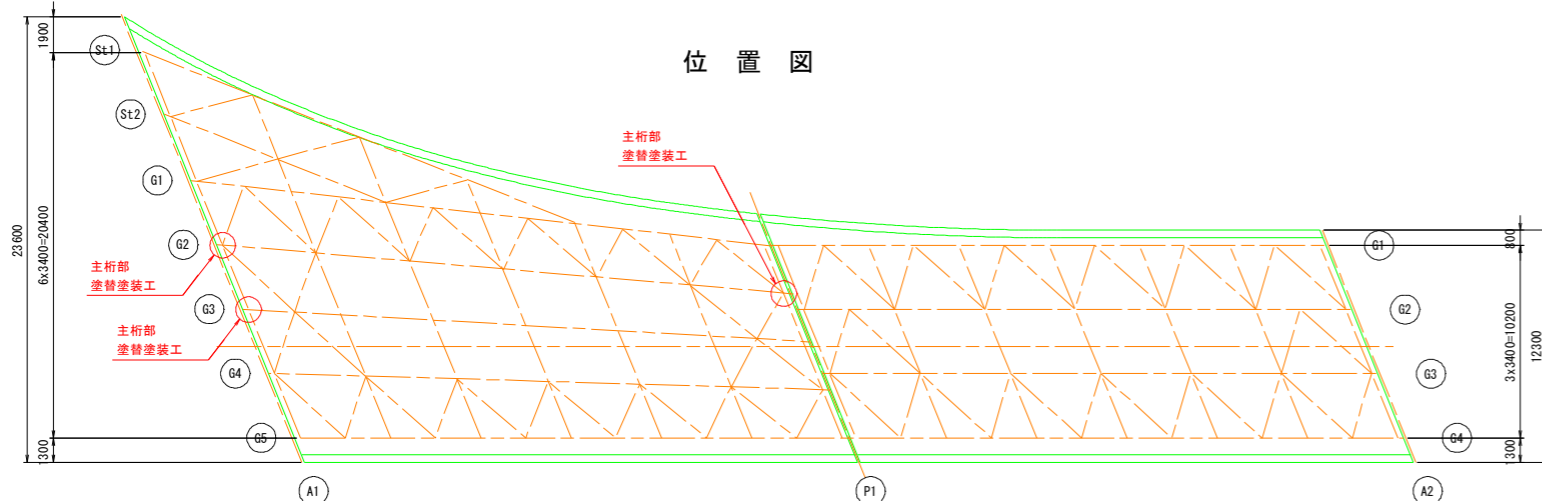


部材角部処理



- 注記
1. 数値は全て、現場実測後決定のこと。
  2. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。

位置図



(R6) (公共) [実施設計]

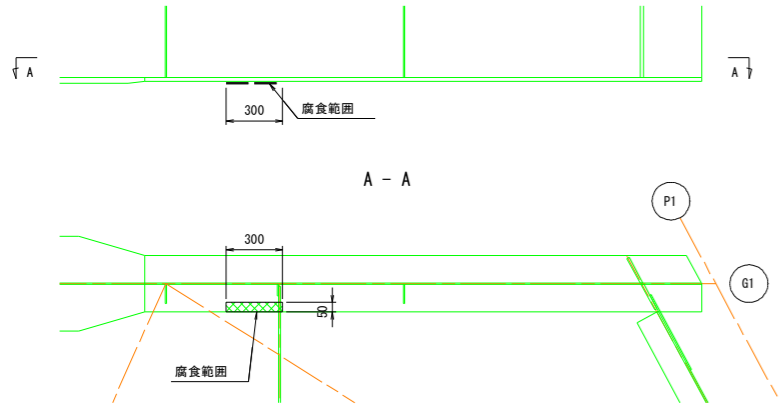
路線名	主要地方道 鳥取港線 (安長橋)
県道鳥取港線 (安長橋) 外 橋梁補修工事 (補助橋補修)	
図名	安長橋 上部工補修図(その13)
位置	鳥取市安長地内
縮尺	図示 (A1印刷時) 単位 MM
図号	全 24 葉中の内 14
令和 6 年度施行 鳥取県	
鳥取県土整備事務所	

塗替塗装工<3/4>

主桁部

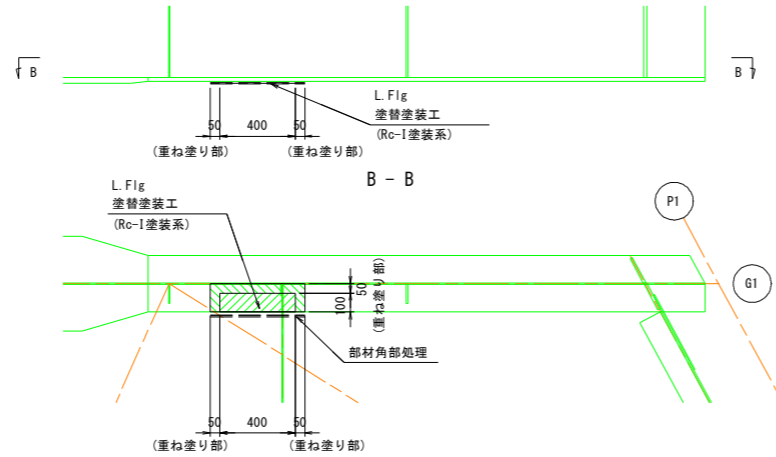
現況図

側面図



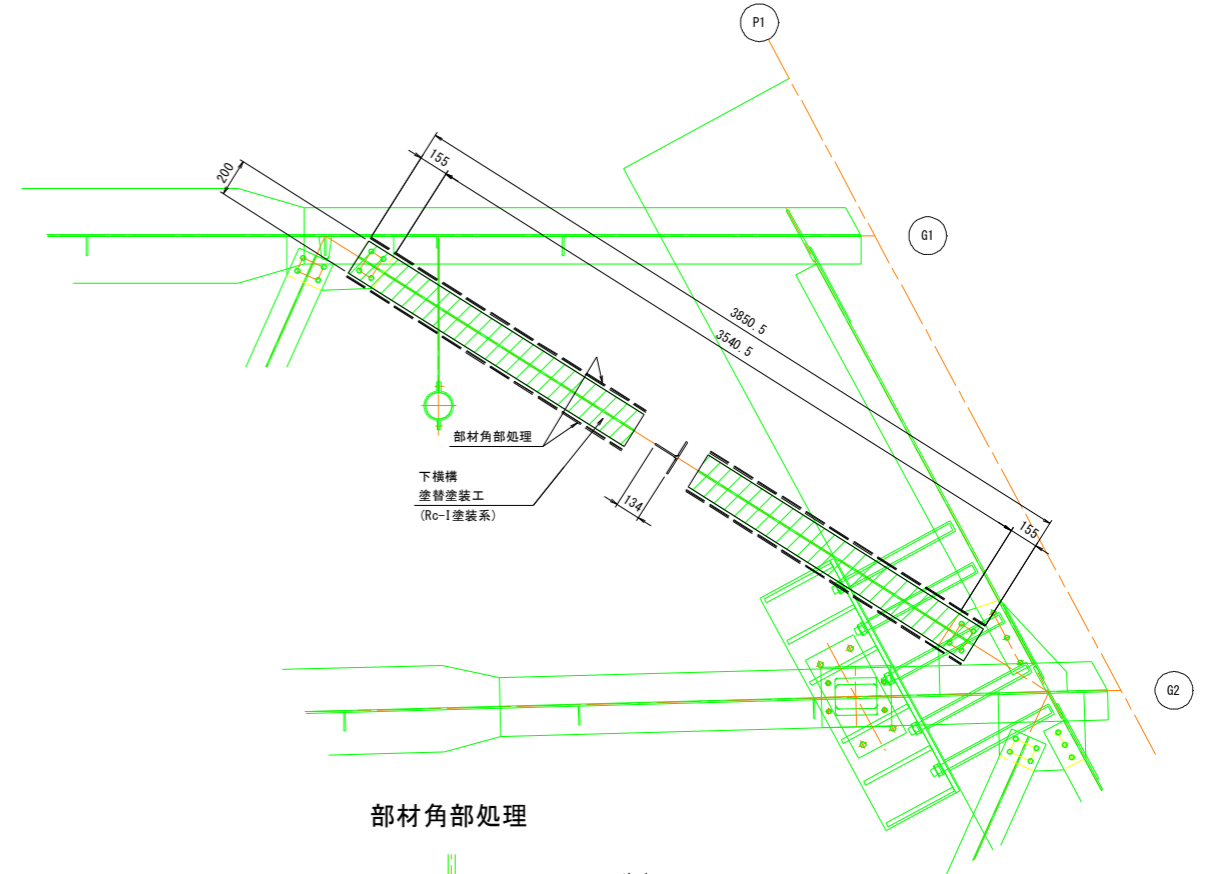
補修図

側面図



下横構部

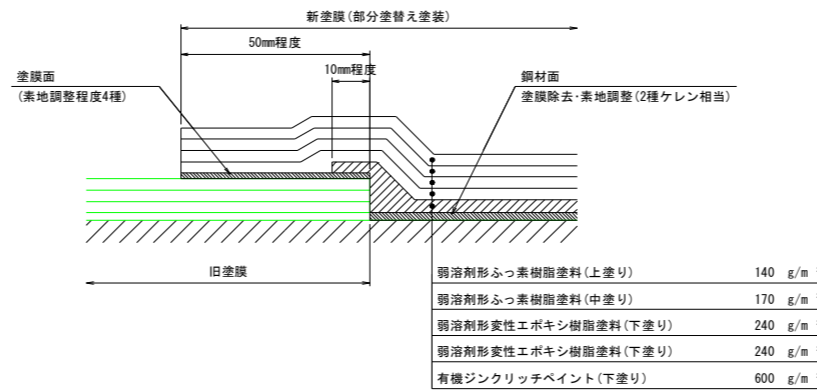
平面図



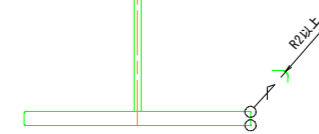
Rc-I塗装系(スプレー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装間隔
素地調整	2種		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日~10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日~10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日~10日

新旧塗膜の重ね塗り部の処理



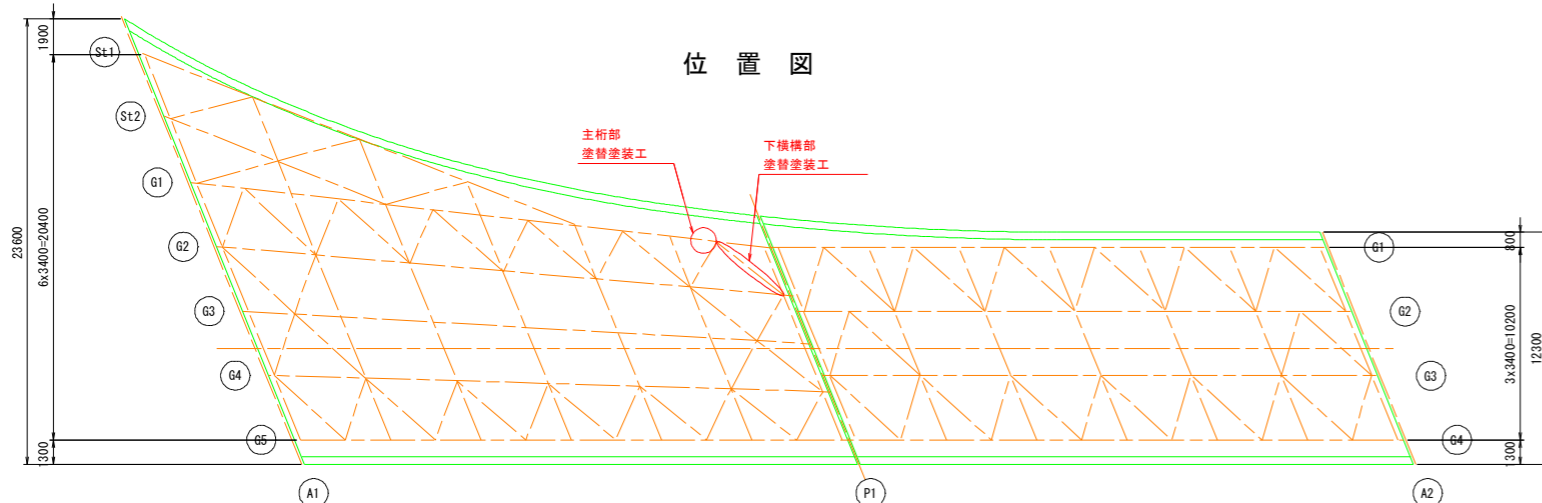
部材角部処理



注記

1. 数値は全て、現場実測後決定のこと。
2. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。

位置図



(R6) (公共) [実施設計]

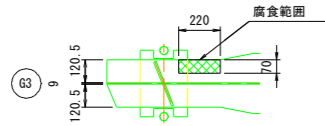
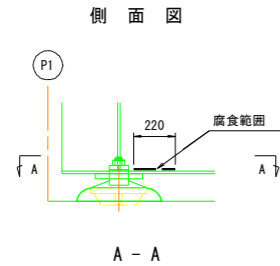
<安長橋>

路線名	主要地方道 鳥取港線 (安長橋)		
県道鳥取港線(安長橋)外 橋梁補修工事(補助橋補修)			
図名	安長橋 上部工補修図(その14)		
位置	鳥取市安長地内		
縮尺	図示 (A1印刷時)	単位	MM
図号	全 24 葉中の内 15		
令和 6 年度施行		鳥取県	
鳥取県土整備事務所			

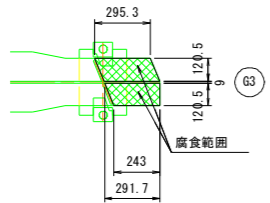
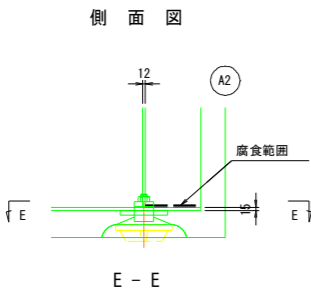
塗替塗装工<4/4>

主桁部

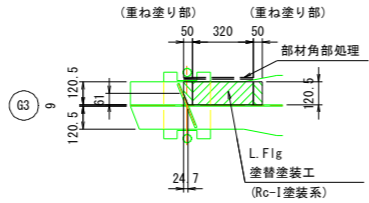
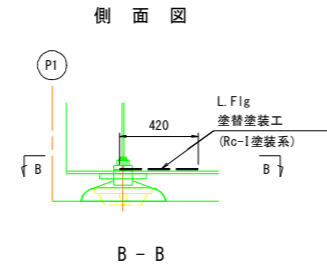
現況図



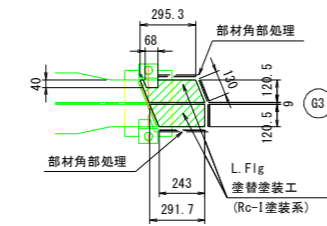
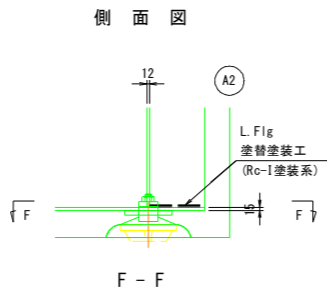
現況図



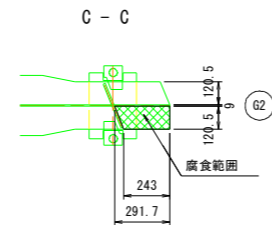
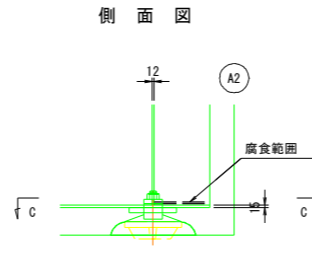
補修図



補修図



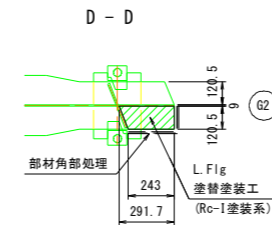
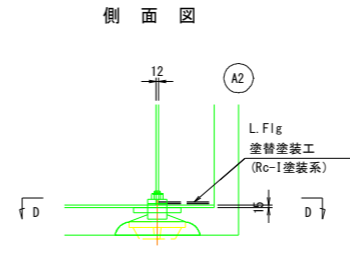
現況図



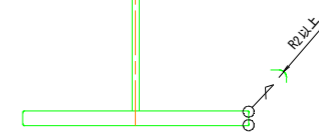
Rc-I塗装系(スプレー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装間隔
素地調整	2種		4時間以内
防食下地	有機ジnkリッチペイント	600	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日~10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日~10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日~10日

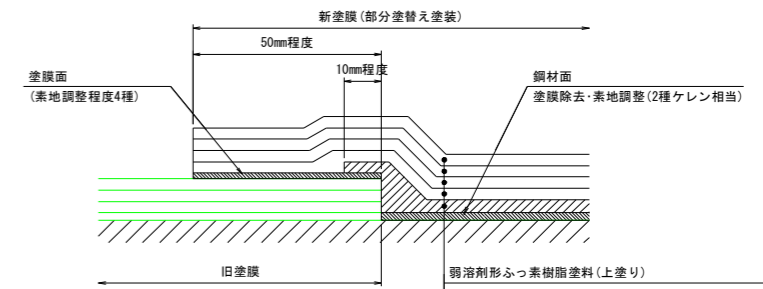
補修図



部材角部処理



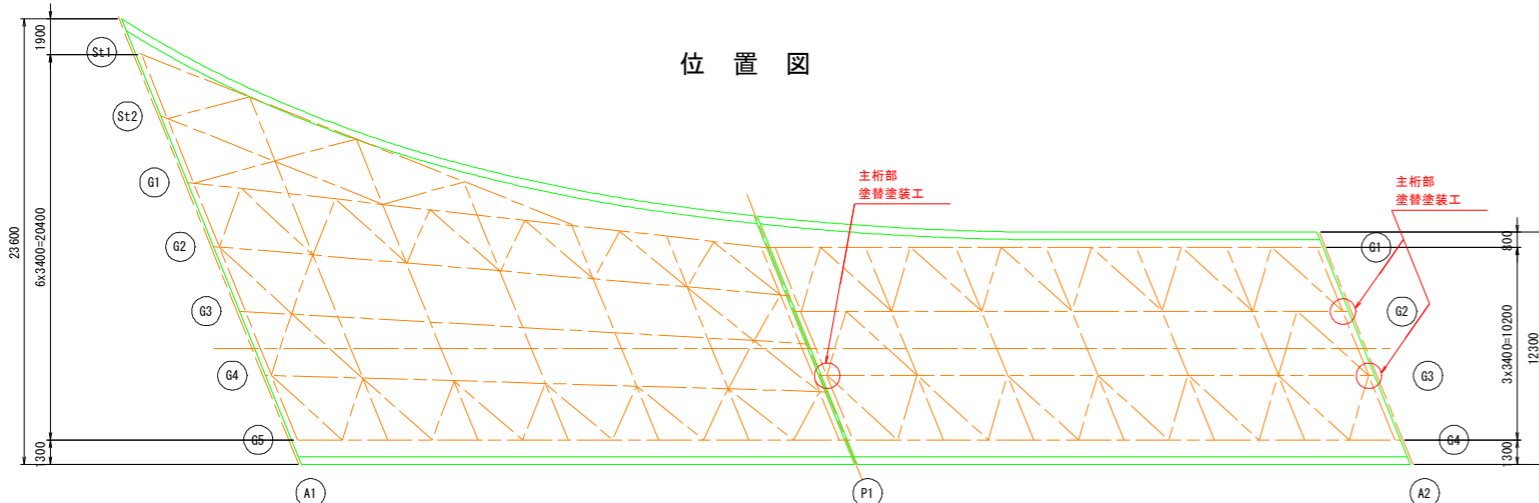
新旧塗膜の重ね塗り部の処理



弱溶剤形ふっ素樹脂塗料(上塗り)	140 g/m <sup>2</sup>
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料(中塗り)	170 g/m <sup>2</sup>
弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(下塗り)	240 g/m <sup>2</sup>
弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(下塗り)	240 g/m <sup>2</sup>
有機ジnkリッチペイント(下塗り)	600 g/m <sup>2</sup>

- 注記
1. 数値は全て、現場実測後決定のこと。
  2. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。

位置図



(R6) (公共) [実施設計]

路線名		主要地方道 鳥取港線 (安長橋)	
県道鳥取港線(安長橋)外 橋梁補修工事(補助橋補修)			
図名	安長橋 上部工補修図(その15)		
位置	鳥取市安長地内		
縮尺	図示 (A1印刷時)	単位	MM
図号	全 24 葉中の内 16		
令和 6 年度施行		鳥取県	
鳥取県土整備事務所			

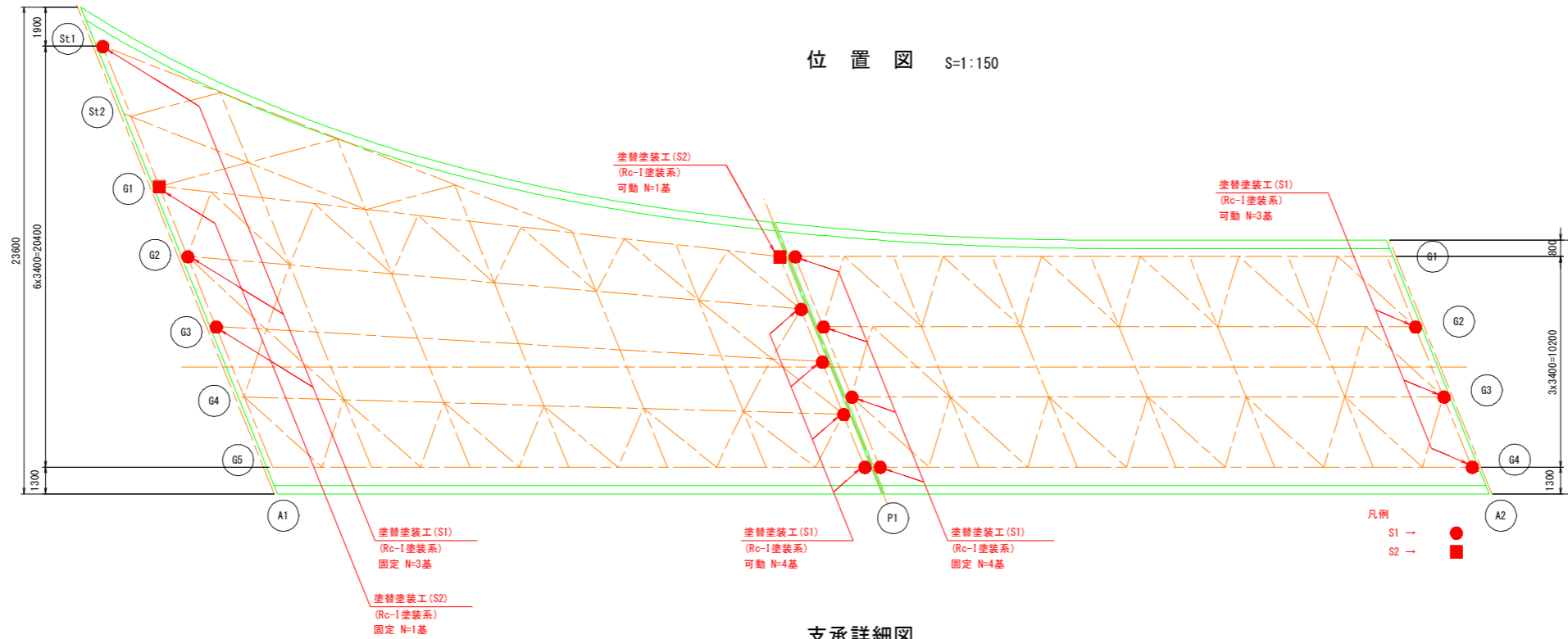


# 安長橋 上部工補修図(その16)

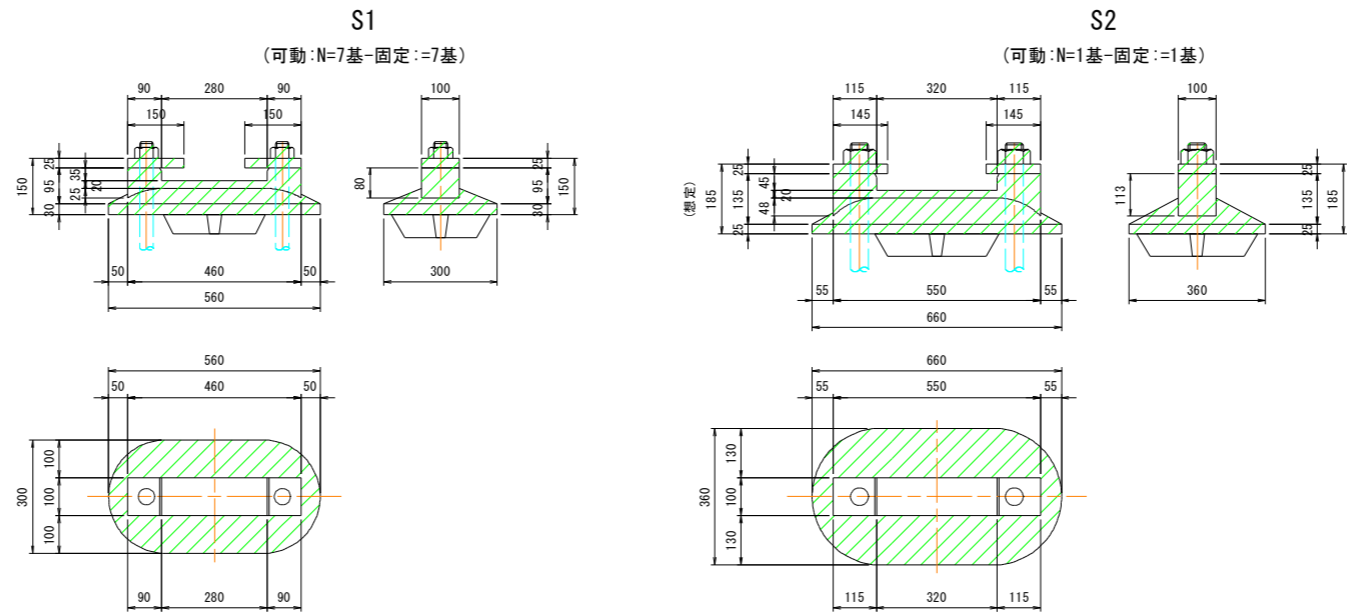
S=1:10

## 支承防錆工

位置図 S=1:150



支承詳細図



Rc-I塗装系(スプレー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装間隔
素地調整	2種		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日~10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日~10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日~10日

注記  
 1. 数値は全て、現場実測後決定のこと。  
 2. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。

### (R6) (公共) [実施設計]

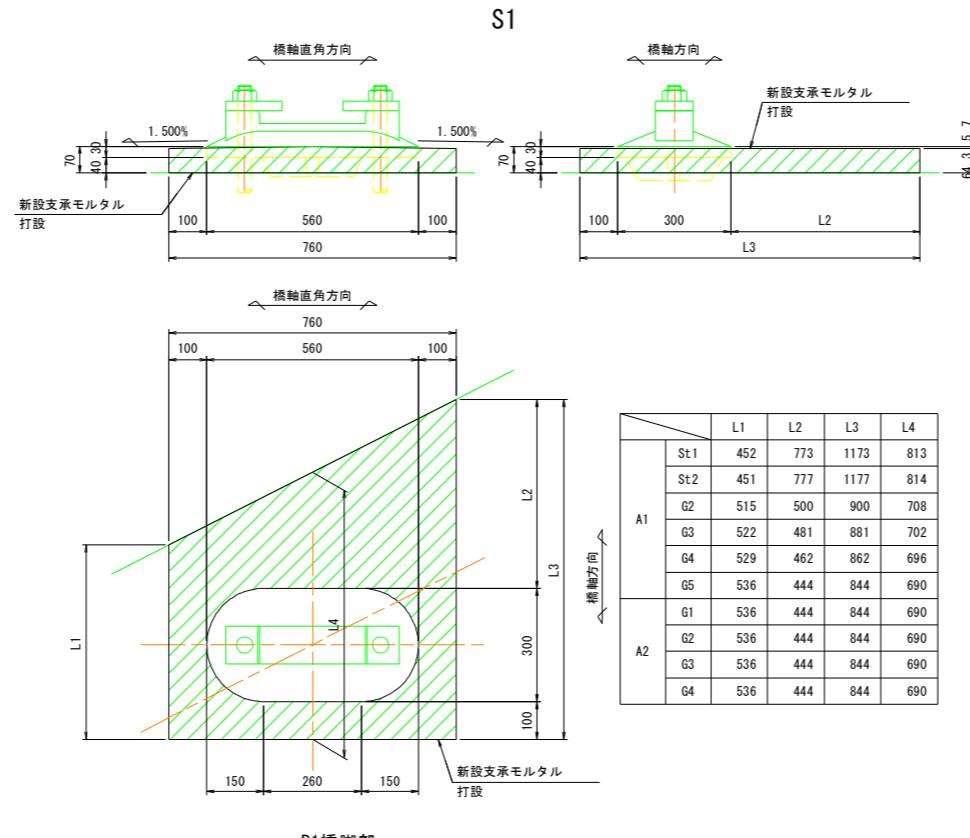
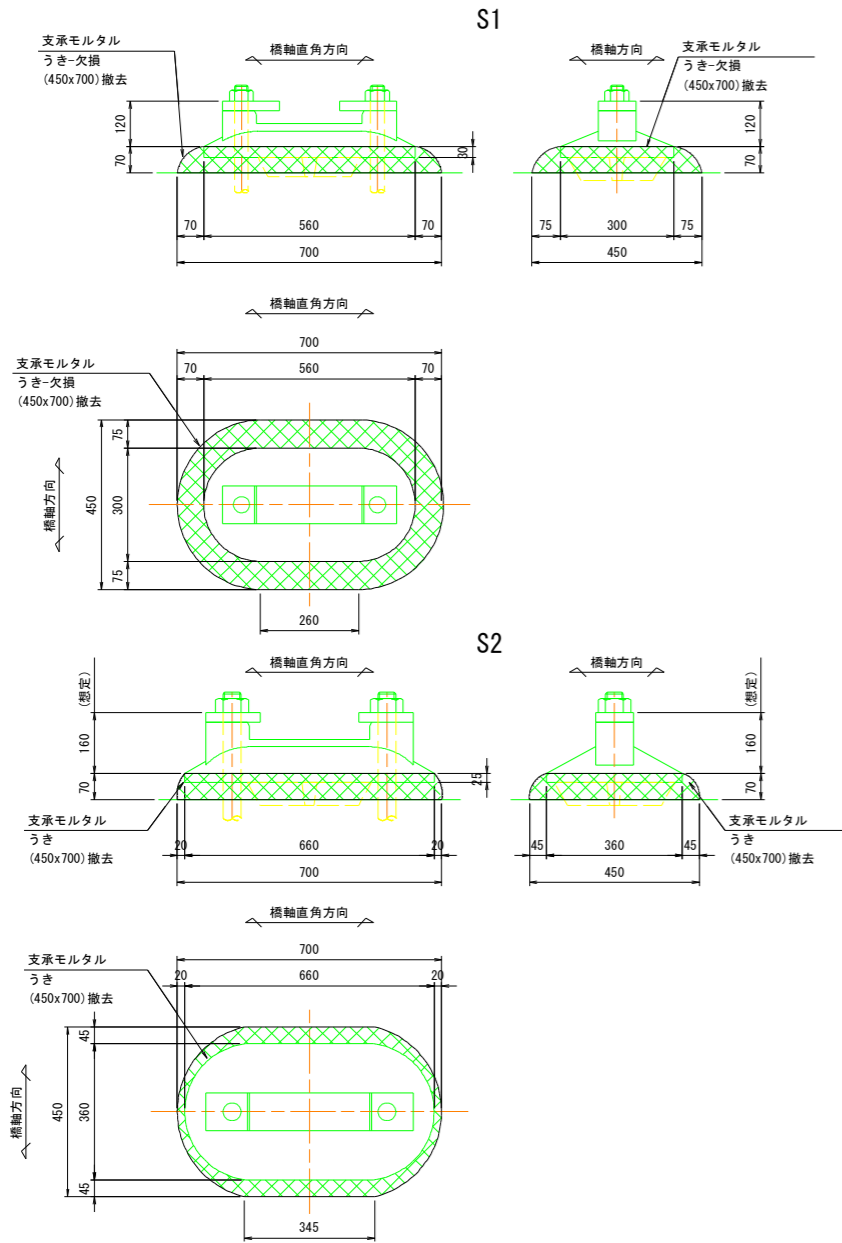
路線名		主要地方道 鳥取港線 (安長橋)	
県道鳥取港線(安長橋)外 橋梁補修工事(補助橋補修)			
図名	安長橋 上部工補修図(その16)		
位置	鳥取市安長地内		
縮尺	図示 (A1印刷時)	単位	MM
図号	全 24 葉中の内 17		
令和 6 年度施行		鳥取県	
鳥取県土整備事務所			

# 安長橋 上部工補修図(その17)

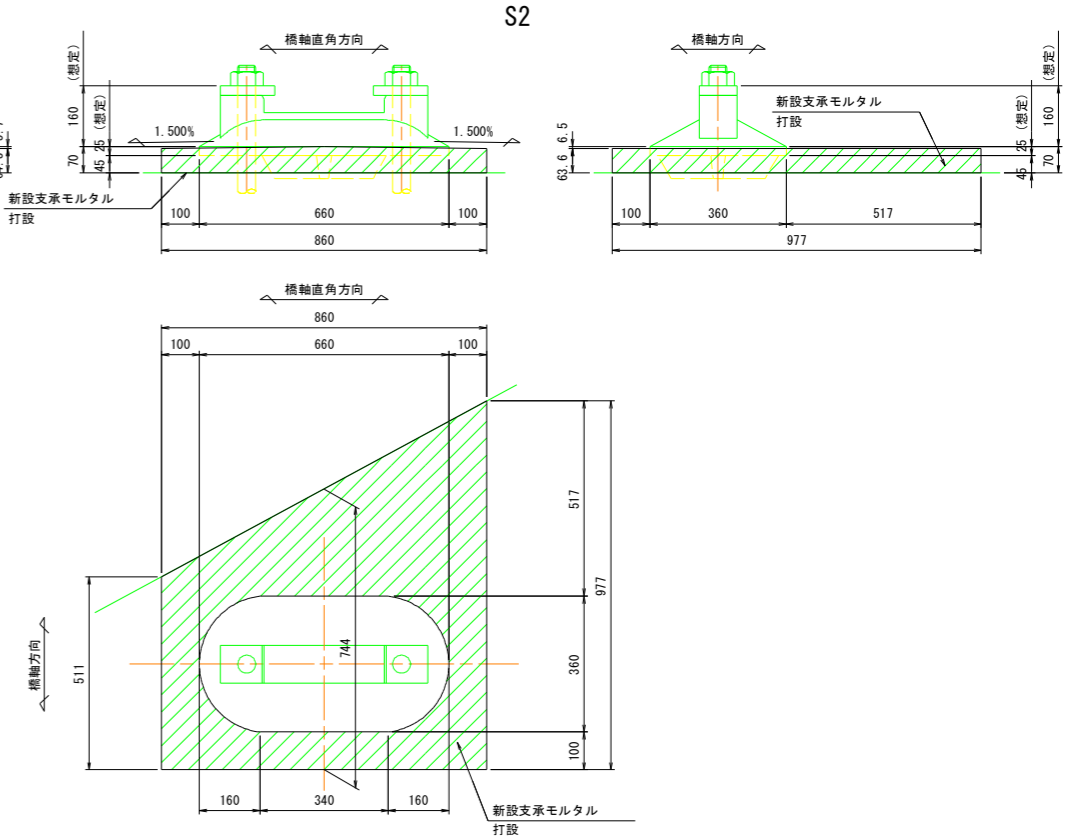
S=1:10

## 支承モルタル打替え工

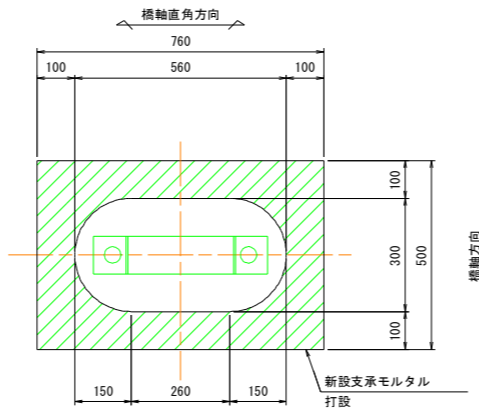
### 現況図、撤去図



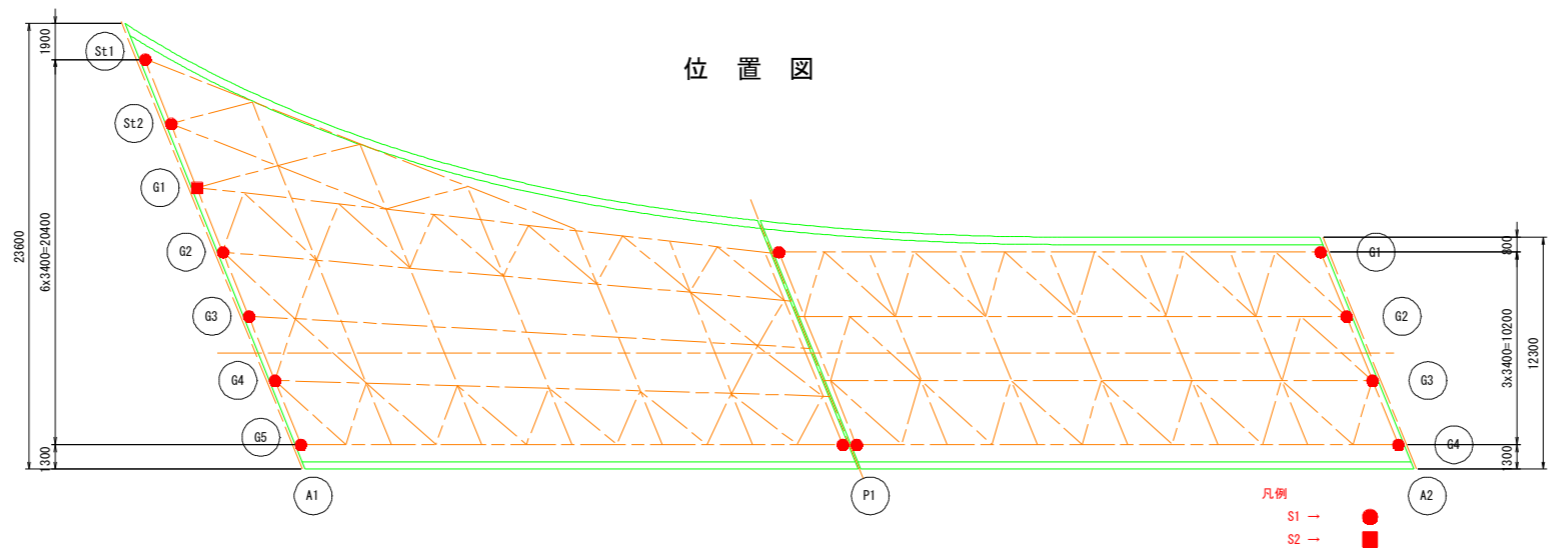
### 補修図



### P1橋脚部



### 位置図



注記  
 1. 数値は全て、現場実測後決定のこと。  
 2. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。

### (R6) (公共) [実施設計]

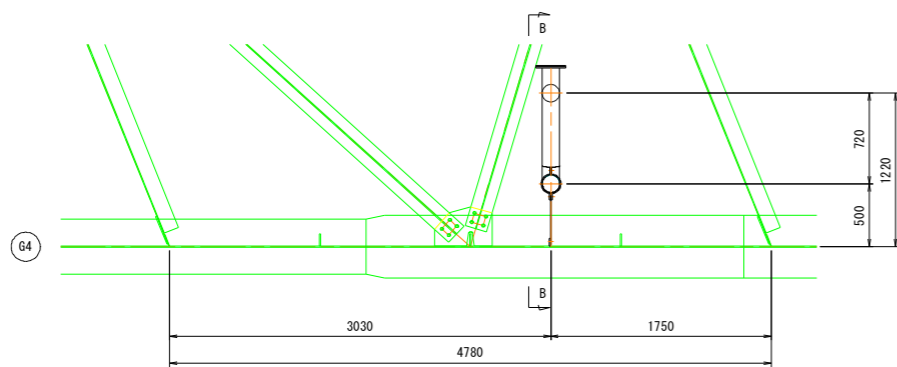
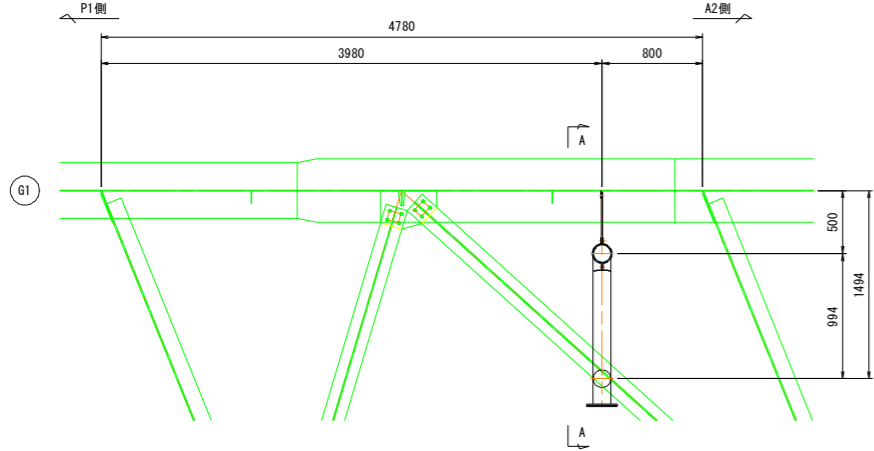
路線名	主要地方道 鳥取港線 (安長橋)		
県道鳥取港線 (安長橋) 外 橋梁補修工事 (補助橋補修)			
図名	安長橋 上部工補修図(その17)		
位置	鳥取市安長地内		
縮尺	図示 (A1印刷時)	単位	MM
図号	全 24 葉中の内 18		
令和 6 年度施行		鳥取県	
鳥取県土整備事務所			

# 安長橋 上部工補修図(その18)

S=1:20

## 排水管取替工

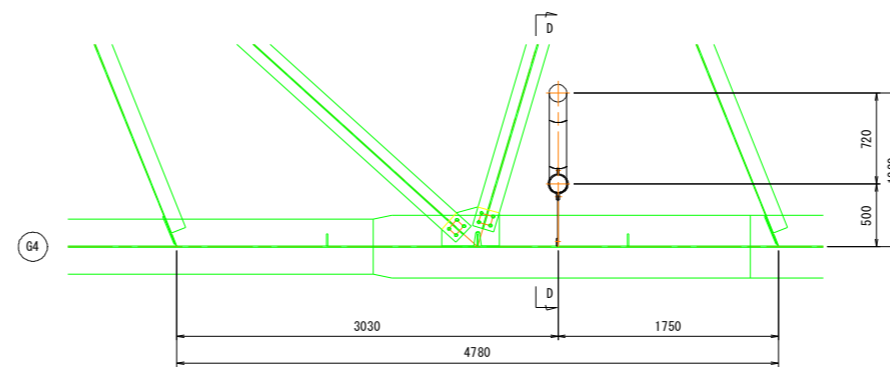
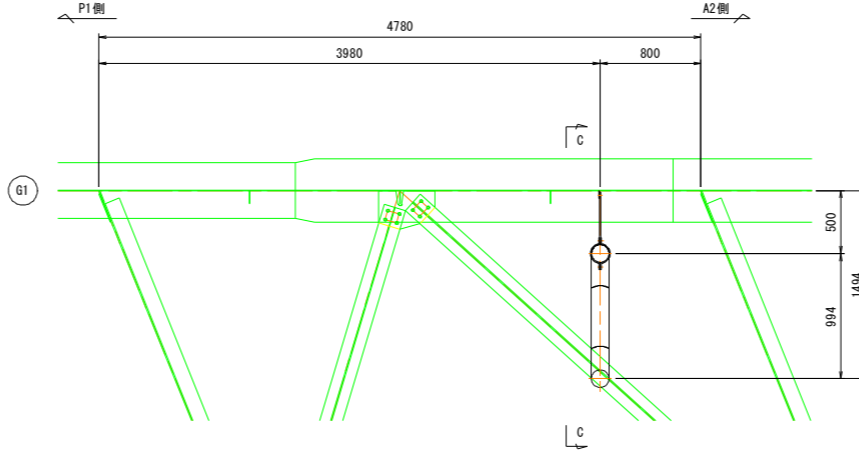
現況図、撤去図 S=1:30  
平面図



A - A

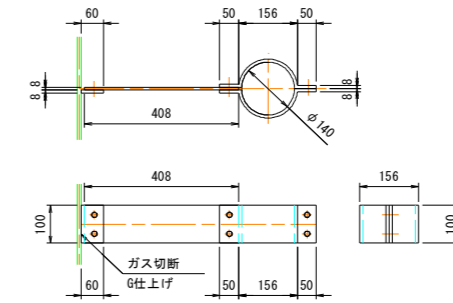
B - B

補修図 S=1:30  
平面図



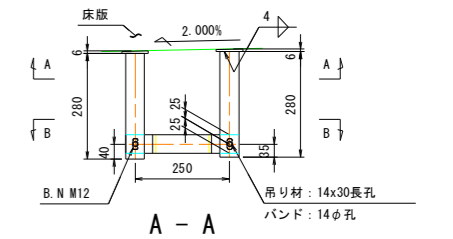
C - C

撤去支持金具詳細 S=1:10

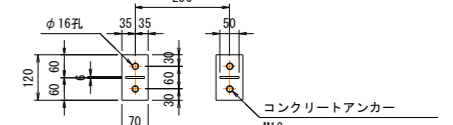


- G1, G4側  
撤去材料(撤去数=各1)
- 2 - P1 100 x 8 x 328(SS41)
  - 1 - P1 100 x 8 x 408(SS41)
  - 1 - P1 100 x 8 x 60(SS41)
  - 4 - B.N M12 x 30(SS41)
  - 2 - B.N M12 x 35(SS41) (2-W付)

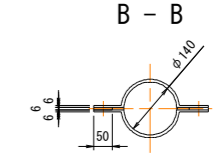
新設支持金具詳細 S=1:10



A - A

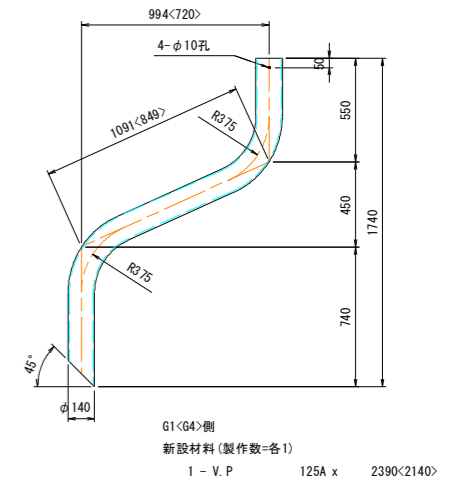


B - B



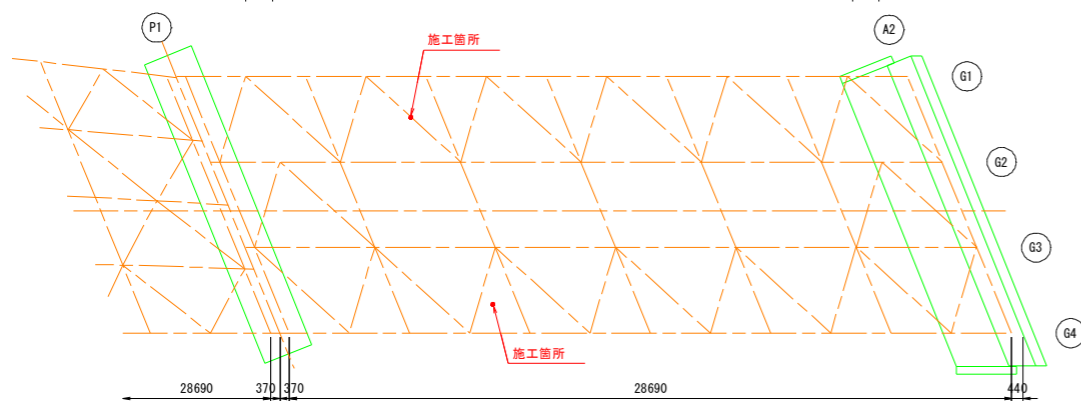
- G1, G4側  
新設材料(製作数=各1)
- ※ 2 - P1 120 x 6 x 70
  - ※ 2 - P1 50 x 6 x 280
  - ※ 1 - P1 50 x 6 x 377(SS400)
  - ※ 2 - B.N M12 x 40(SS400) (2-W付)
  - ※ 4 - C. Anc M12 x 100(SS400)

加工管詳細



- G1<G4>側  
新設材料(製作数=各1)
- 1 - V.P 125A x 2390<2140>

配置図



- G1側  
撤去材料(撤去数=1)
- 4 - Tap Bolt M6 x 30(SS41)
  - 1 - V.P 125A x 200
  - 1 - V.P 125A x 1500
  - 1 - V.P 125A x 1200
  - 4 - B.N M12 x 30(SS41) (2-W付)

- G4側  
撤去材料(撤去数=1)
- 4 - Tap Bolt M6 x 30(SS41)
  - 1 - V.P 125A x 200
  - 1 - V.P 125A x 1230
  - 1 - V.P 125A x 1200
  - 4 - B.N M12 x 30(SS41) (2-W付)

- G1, G4側  
新設材料(製作数=各1)
- 4 - B.N M12 x 45(SS400) (2-W, UN付)
  - 4 - Tap Bolt M6 x 30(SS400)

- 注記
- 数値は全て、現場実測後決定のこと。
  - 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
  - ナットは、全てゆるみ止めのものを使用する。
  - ※印付き部材は、全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。めっき膜厚は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト-ナット類はHDZT49とする。

### (R6) (公共) [実施設計]

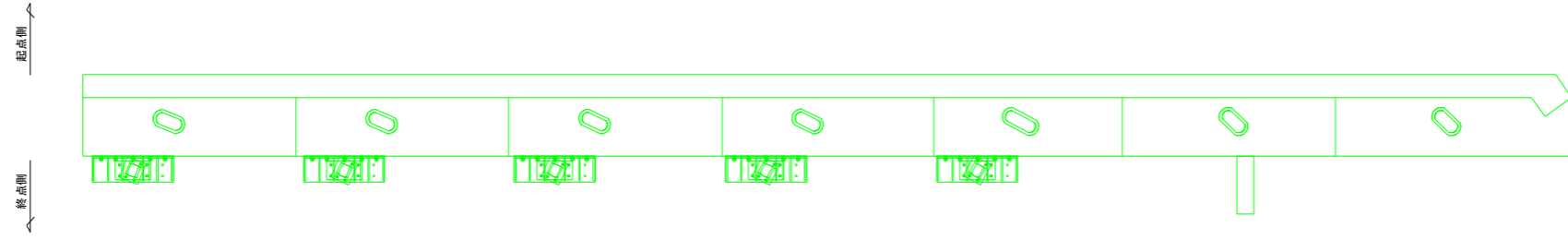
路線名	主要地方道 鳥取港線 (安長橋)		
位置	県道鳥取港線(安長橋)外 橋梁補修工事(補助橋補修)		
図名	安長橋 上部工補修図(その18)		
位置	鳥取市安長地内		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 24 葉中の内 19		
令和 6 年度施行	鳥取県		
鳥取県土整備事務所			

安長橋 下部工補修図(その1)

S=1:60

A1橋台  
ひびわれ補修工<1/3>

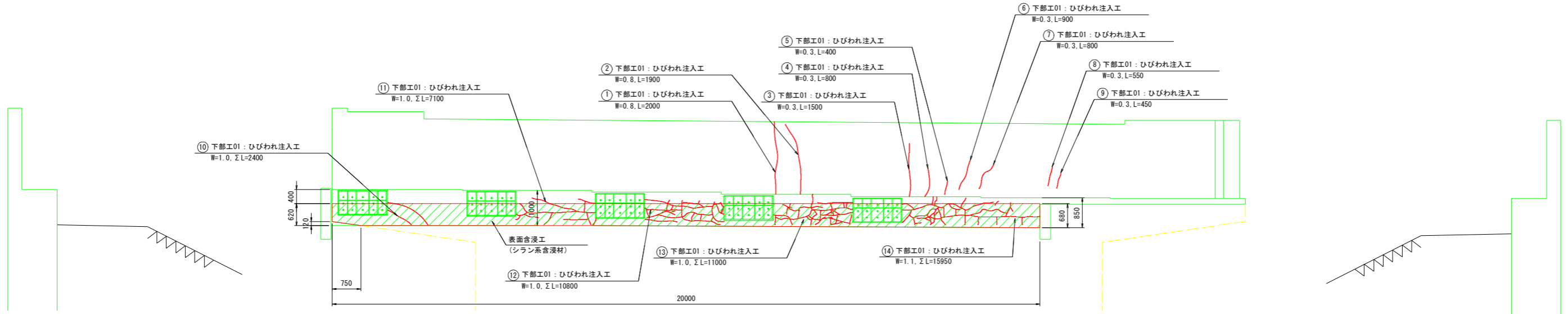
平面図



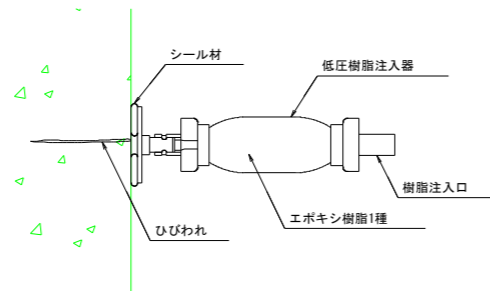
側面図(上流側)

正面図

側面図(下流側)

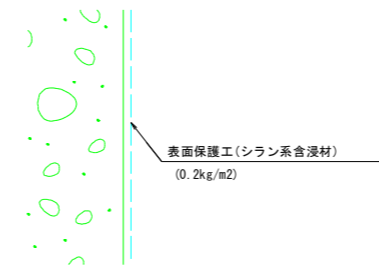


ひびわれ注入工詳細図(参考図)



表面保護工詳細図

表面含浸工  
(シラン系含浸材)



注) ひびわれ注入工を行った後  
表面保護工を実施すること。

- 注記
1. 数値は全て、現場実測後決定のこと。
  2. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。

凡 例

	ひびわれ
	鉄筋露出
	浮き
	剥離

(R6) (公共) [実施設計]

〈安長橋〉

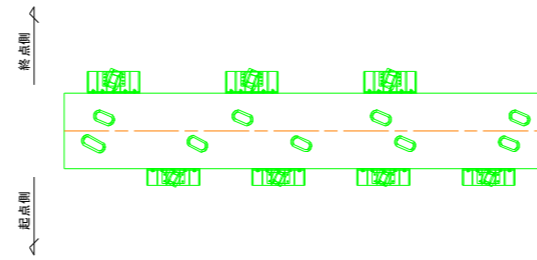
路線名	主要地方道 鳥取港線 (安長橋)
県道鳥取港線(安長橋)外 橋梁補修工事(補助橋補修)	
図名	安長橋 下部工補修図(その1)
位置	鳥取市安長地内
縮尺	図示 (A1印刷時) 単 位 MM
図号	全 24 葉中の内 20
令和 6 年度施行 鳥 取 県	
鳥 取 県 土 整 備 事 務 所	

安長橋 下部工補修図(その2)

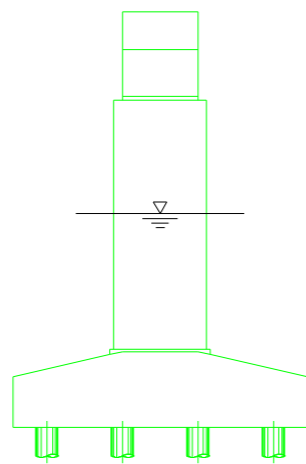
S=1:100

P1橋脚  
ひびわれ補修工<2/3>

平面図

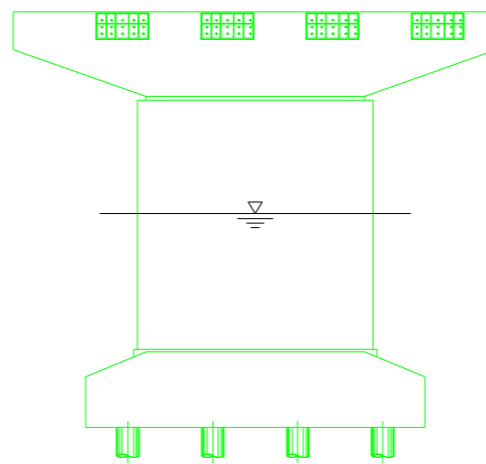


側面図(下流側)

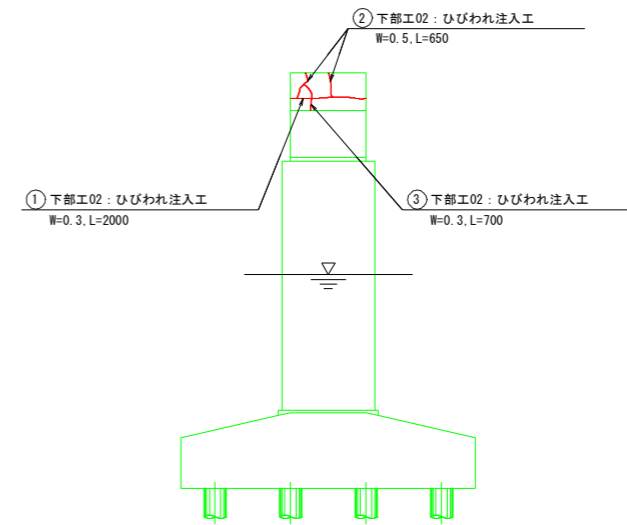


正面図

(起点側)

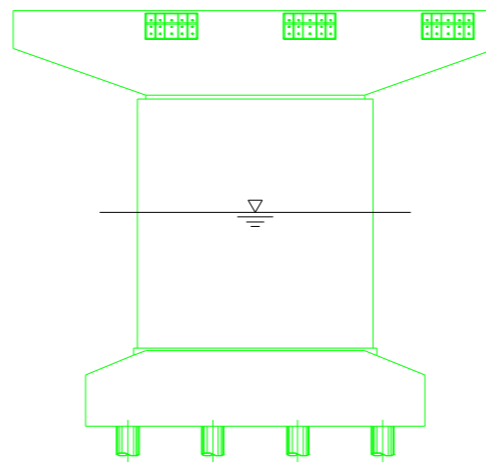


側面図(上流側)

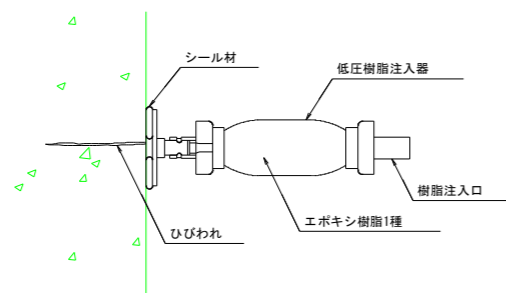


正面図

(終点側)



ひびわれ注入工詳細図(参考図)



注記

1. 数値は全て、現場実測後決定のこと。
2. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。

凡 例

	ひびわれ
	鉄筋露出
	浮き
	剥離

(R6) (公共) [実施設計]

〈安長橋〉

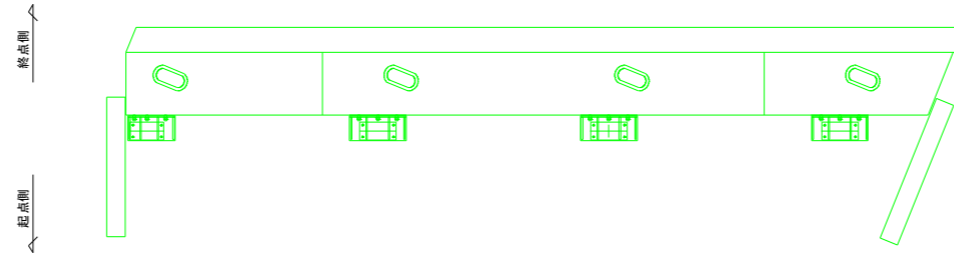
路線名	主要地方道 鳥取港線 (安長橋)		
	県道鳥取港線 (安長橋) 外 橋梁補修工事 (補助橋補修)		
図名	安長橋 下部工補修図(その2)		
位置	鳥取市安長地内		
縮尺	図示 (A1印刷時)	単位	MM
図号	全 24 葉中の内 21		
	令和 6 年度施行	鳥取県	
	鳥取県土整備事務所		

安長橋 下部工補修図(その3)

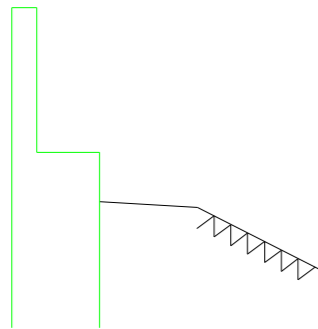
S=1:60

A2橋台  
ひびわれ補修工<3/3>

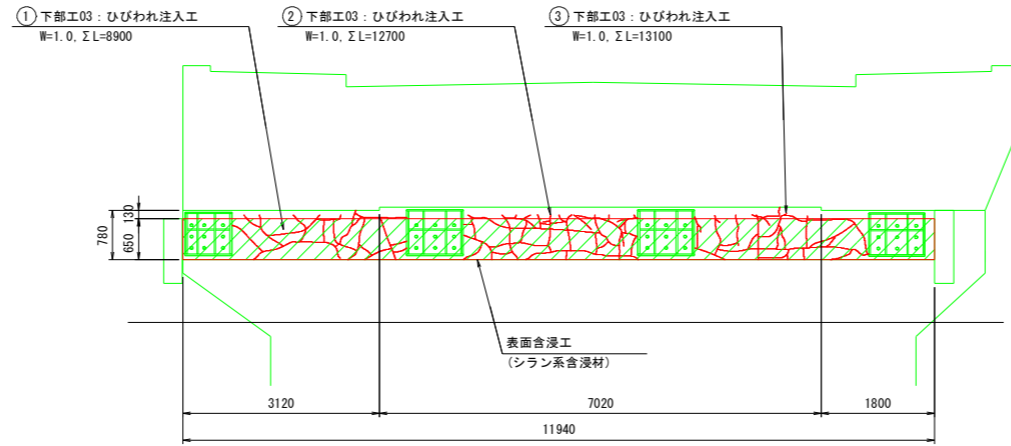
平面図



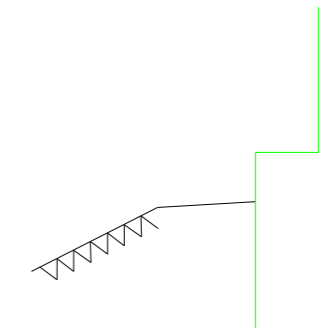
側面図(下流側)



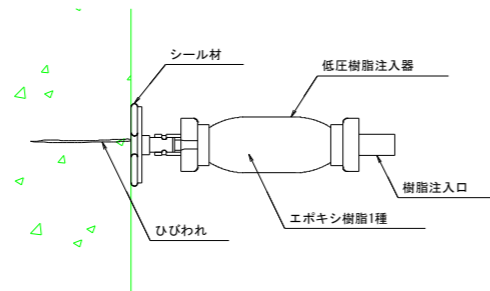
正面図



側面図(上流側)

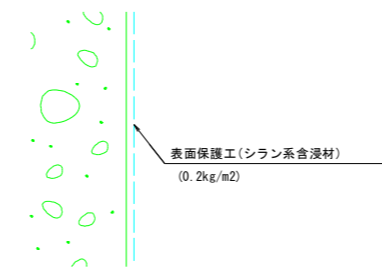


ひびわれ注入工詳細図(参考図)



表面保護工詳細図

表面含浸工法  
(シラン系含浸材)



注) ひびわれ注入工を行った後  
表面保護工を実施すること。

注記

1. 数値は全て、現場実測後決定のこと。
2. 施工に当たっては、現地調査を行い再確認すること。

凡 例

	ひびわれ
	鉄筋露出
	浮き
	剥離

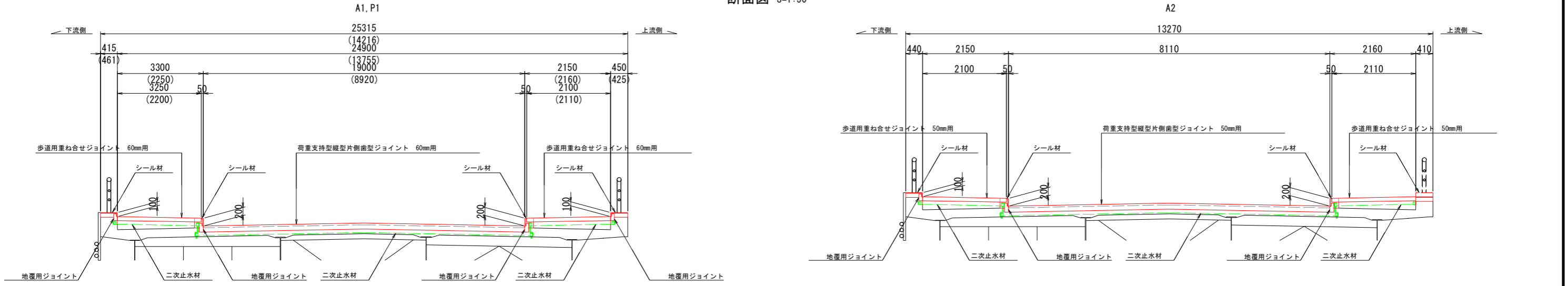
(R6) (公共) [実施設計]

〈安長橋〉

路線名	主要地方道 鳥取港線 (安長橋)		
県道鳥取港線(安長橋)外 橋梁補修工事(補助橋補修)			
図名	安長橋 下部工補修図(その3)		
位置	鳥取市安長地内		
縮尺	図示 (A1印刷時)	単位	MM
図号	全 24 葉中の内 22		
令和 6 年度施行		鳥取県	
鳥取県土整備事務所			

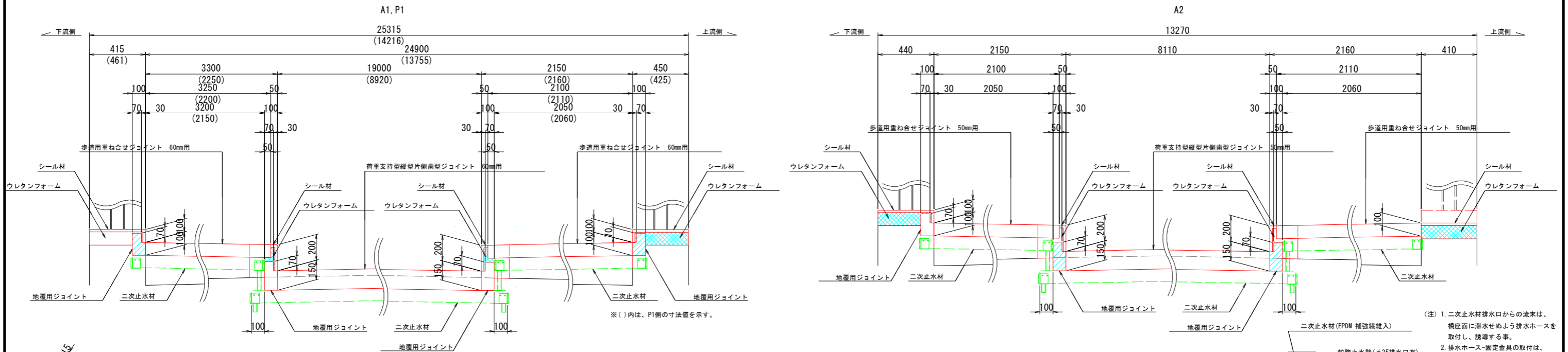
# 安長橋 伸縮装置詳細図(その1)

断面図 S=1:50



※( )内は、P1側の寸法値を示す。

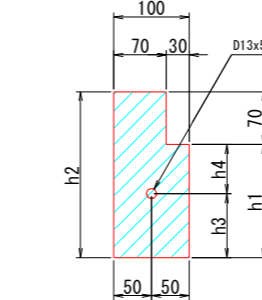
地覆部止水処理図 S=1:15



※( )内は、P1側の寸法値を示す。

- (注) 1. 二次止水材排水口からの流束は、橋座面に滞水せぬよう排水ホースを取付し、誘導する事。  
 2. 排水ホース-固定金具の取付は、足場設備が必要。  
 3. カッター幅及び折り深さについては、現場の状況により変更の事。  
 4. 既設鉄筋が利用可能な場合は、あと施工アンカーを使用せず、加工筋等を使用の事。

地覆用ジョイント詳細図 S=1:5

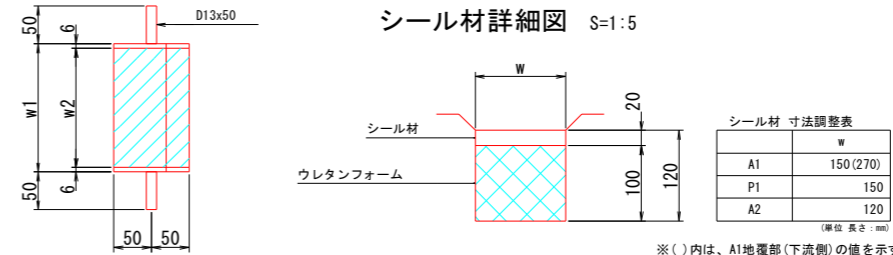


地覆用ジョイント 寸法調整表 (単位: mm)

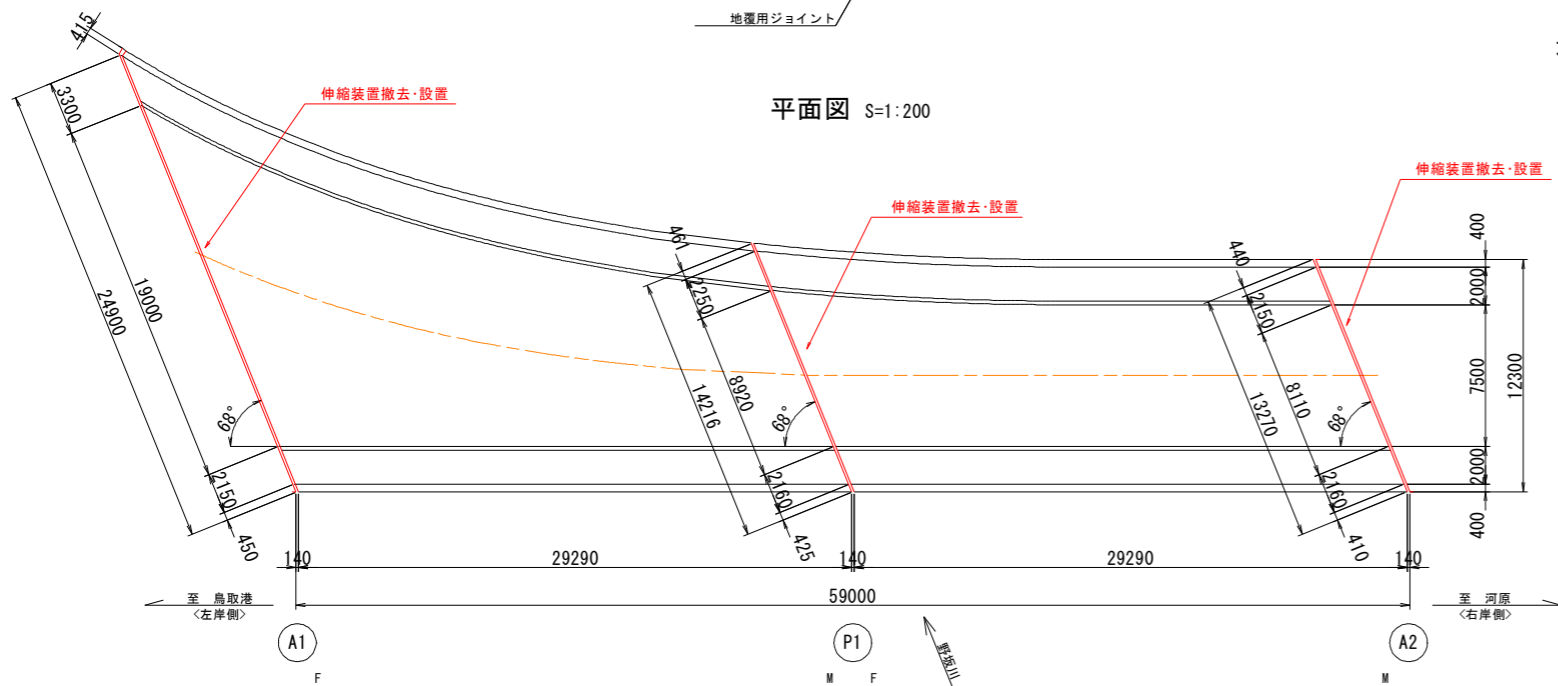
	h1	h2	h3	h4	w1	w2	
車道部	A1	150	220	85	65	170	158
	P1	150	220	85	65	170	158
歩道部	A1	100	170	40	60	170(270)	158(258)
	P1	100	170	40	60	170	158
A2	100	170	40	60	147	135	

※( )内は、A1地覆部(下流側)の値を示す。

シール材詳細図 S=1:5



※( )内は、A1地覆部(下流側)の値を示す。



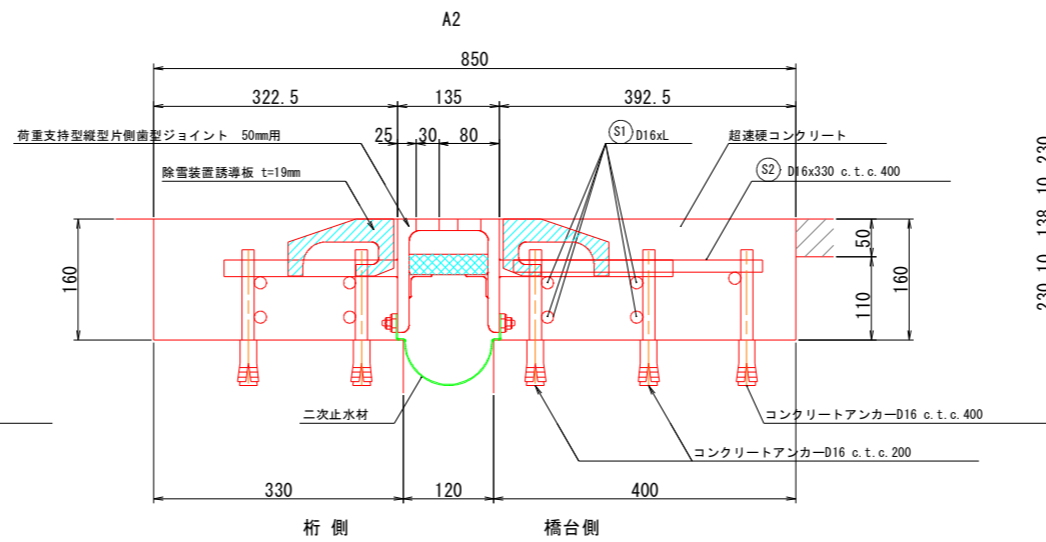
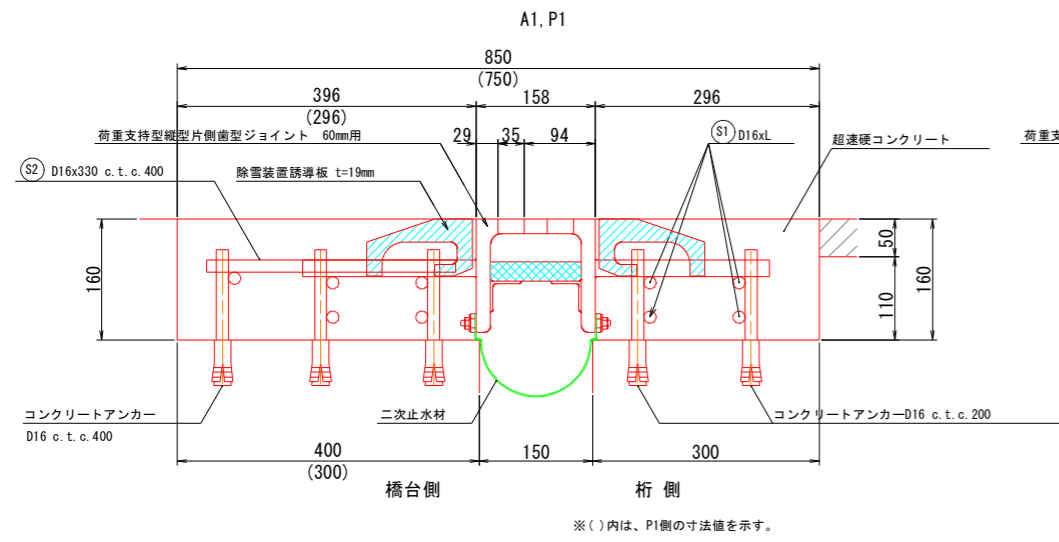
(R6) (公共) [実施設計]

〈安長橋〉

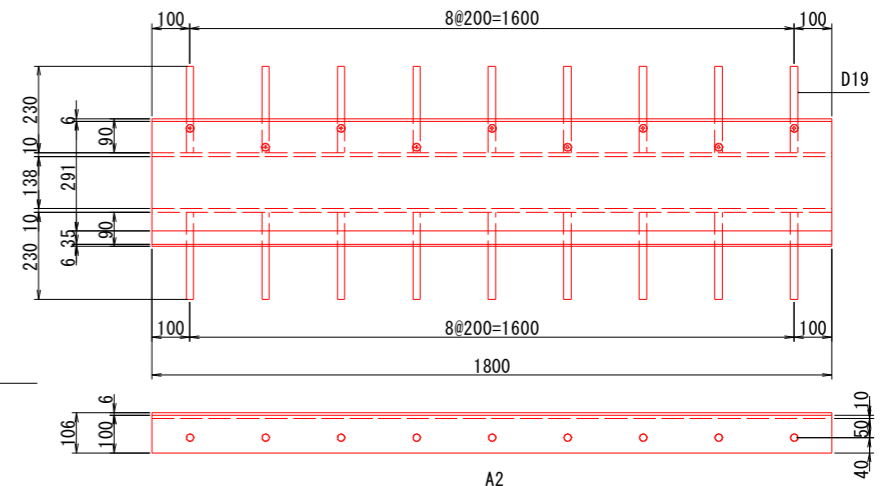
路線名	主要地方道 鳥取港線 (安長橋)
県道鳥取港線(安長橋)外 橋梁補修工事(補助橋補修)	
図名	安長橋 伸縮装置詳細図(その1)
位置	鳥取市安長地内
縮尺	(A1印刷時) 単位 MM
図号	全 24 葉中の内 23
令和 6 年度施行 鳥取県	
鳥取県土整備事務所	

# 安長橋 伸縮装置詳細図(その2)

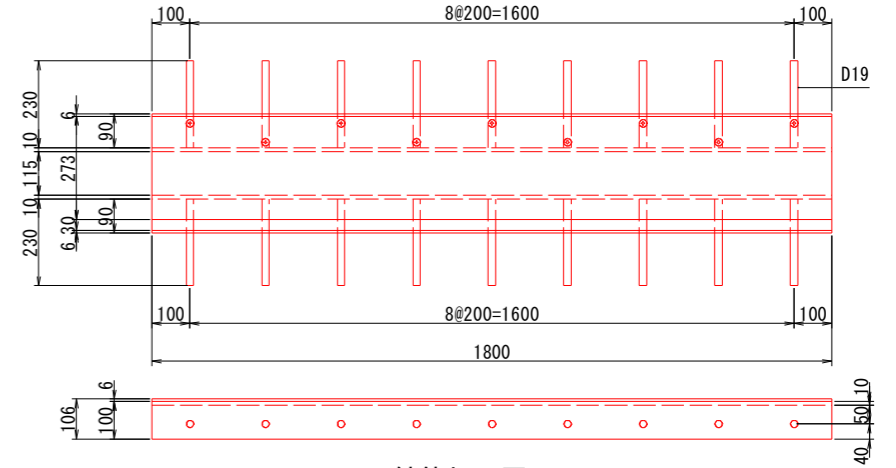
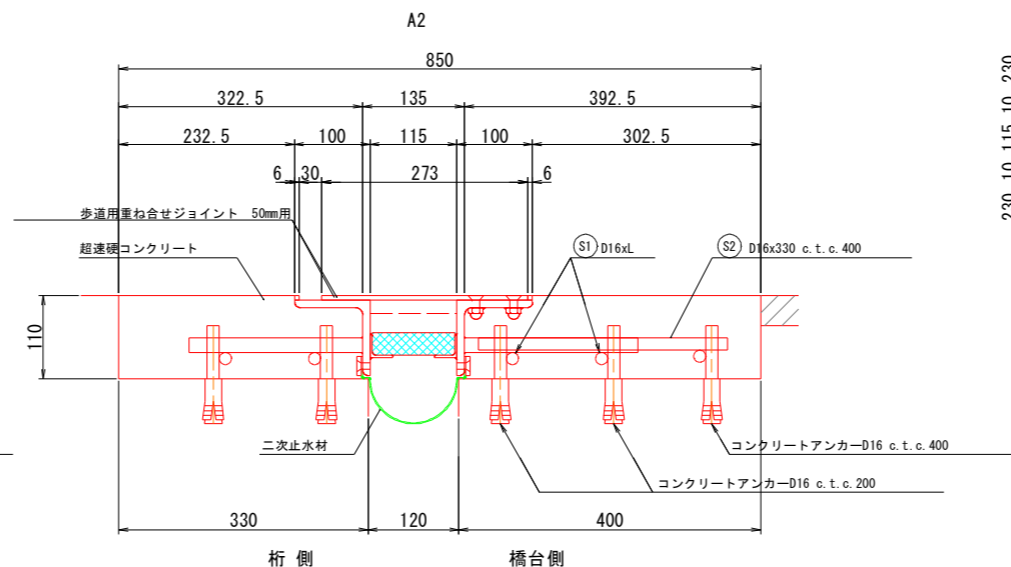
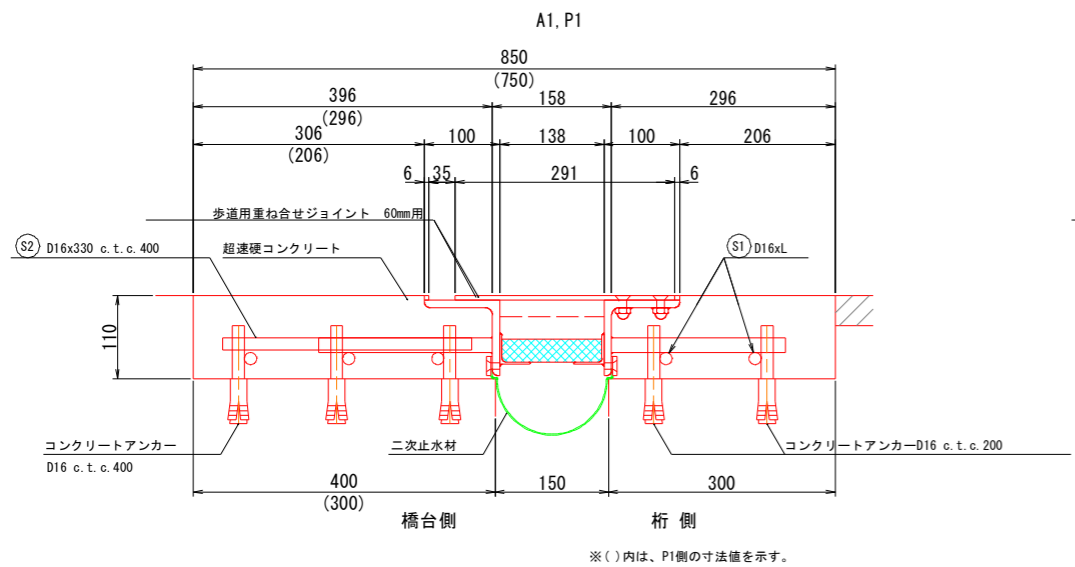
取付断面図 S=1:5  
車道部



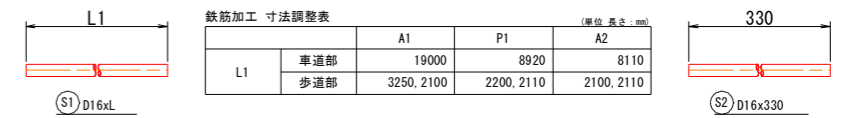
製品図 S=1:10  
歩道部



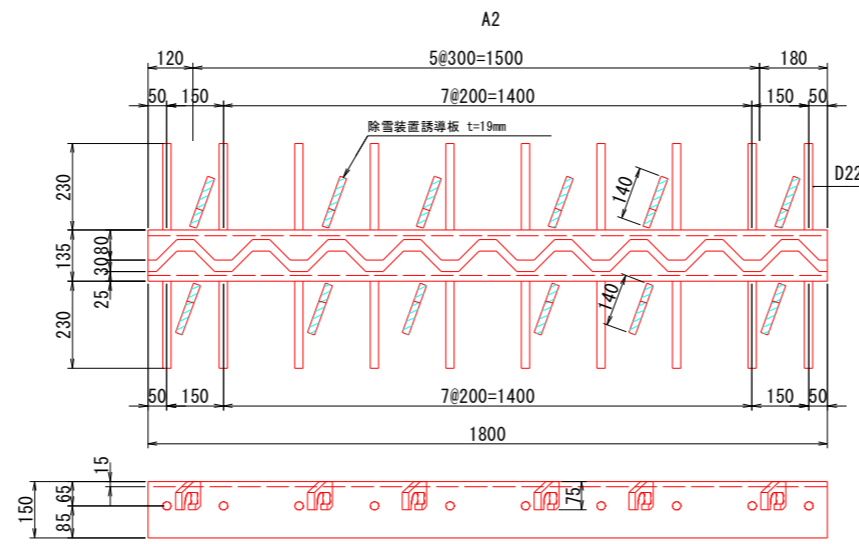
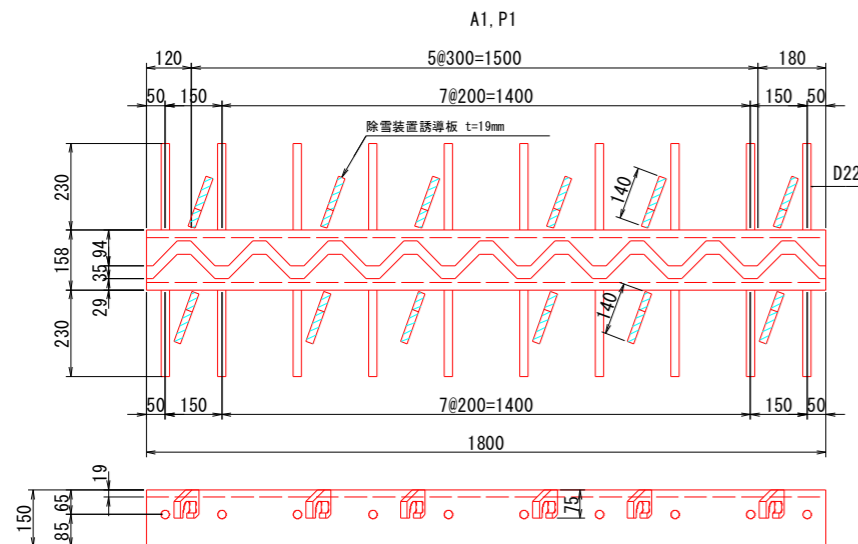
歩道部



鉄筋加工図



製品図 S=1:10  
車道部



材料表

品名	仕様	単位	A1	P1	A2	合計	備考
荷重支持型縦型片側歯型ジョイント	50mm用	m	—	—	8.110	8.110	車道部(除雪装置誘導板 両側装着)
	60mm用	m	19.000	8.920	—	27.920	車道部(除雪装置誘導板 両側装着)
歩道用重ね合せジョイント	50mm用	m	—	—	4.210	4.210	歩道部
	60mm用	m	5.350	4.310	—	9.660	歩道部
地覆用ジョイント	50mm用	m	—	—	0.300	0.300	地覆部(L=100) 車道部, 歩道部
	60mm用	m	0.400	0.400	—	0.800	地覆部(L=100) 車道部, 歩道部
二次止水材(連続止水材本体取付型)	50mm用	m	—	—	12.720	12.720	車道部, 歩道部
	60mm用	m	24.850	13.730	—	38.580	車道部, 歩道部
超速硬コンクリート		m <sup>3</sup>	2.54	1.15	1.29	4.98	3時間圧縮強度=24N/mm <sup>2</sup>
シール材	シリコーン系	L	5.93	4.76	3.48	14.17	プライマー含む
ウレタンフォーム	軟質	L	45.27	36.48	26.10	107.85	w180, 230, 410x100xL
補強鉄筋	S1 D16	kg	308.5	158.8	146.7	614.0	SD345
	S2 D16x330	kg	30.9	16.4	15.4	62.7	SD345
計		kg	339.4	175.2	162.1	676.7	
コンクリートアンカー	本体打ち込み式	本	544	292	274	1110	SD345 D16 c. t. c. 200, 400

	車道部	歩道部
旧伸縮継手	鋼製フィンガージョイント	
既設コンクリート	普通コンクリート	

〈安長橋〉

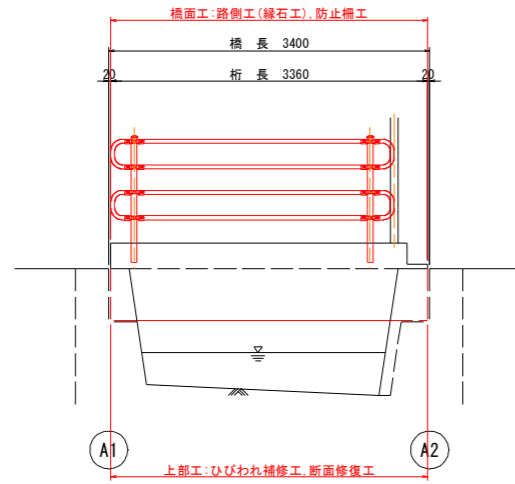
路線名	主要地方道 鳥取港線 (安長橋)
位置	県道鳥取港線(安長橋)外 橋梁補修工事(補助橋補修)
図名	安長橋 伸縮装置詳細図(その2)
位置	鳥取市安長地内
縮尺	図示 (A1印刷時) 単位 MM
図号	全 24 葉中の内 24
令和 6 年度施行	鳥取県
	鳥取県土整備事務所

(R6)  
(公共)  
[実施設計]

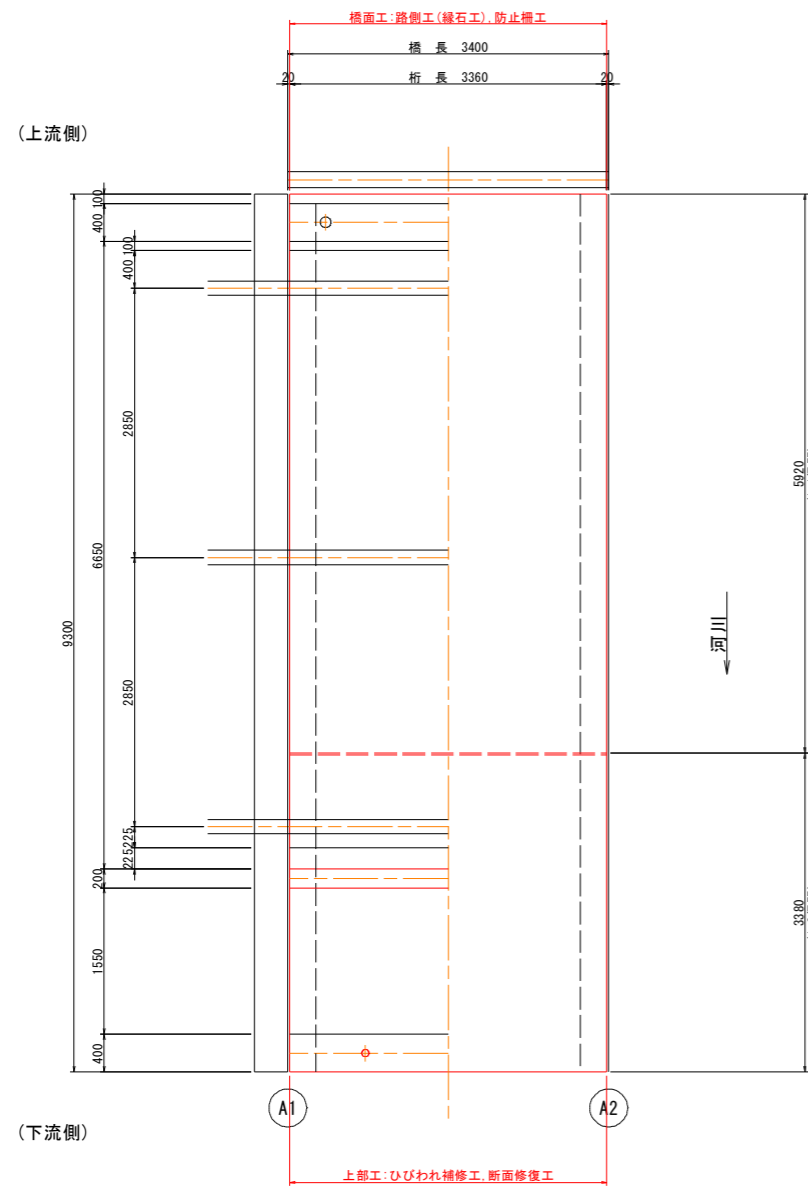


# キュウスン橋 補修計画一般図 S=1:40

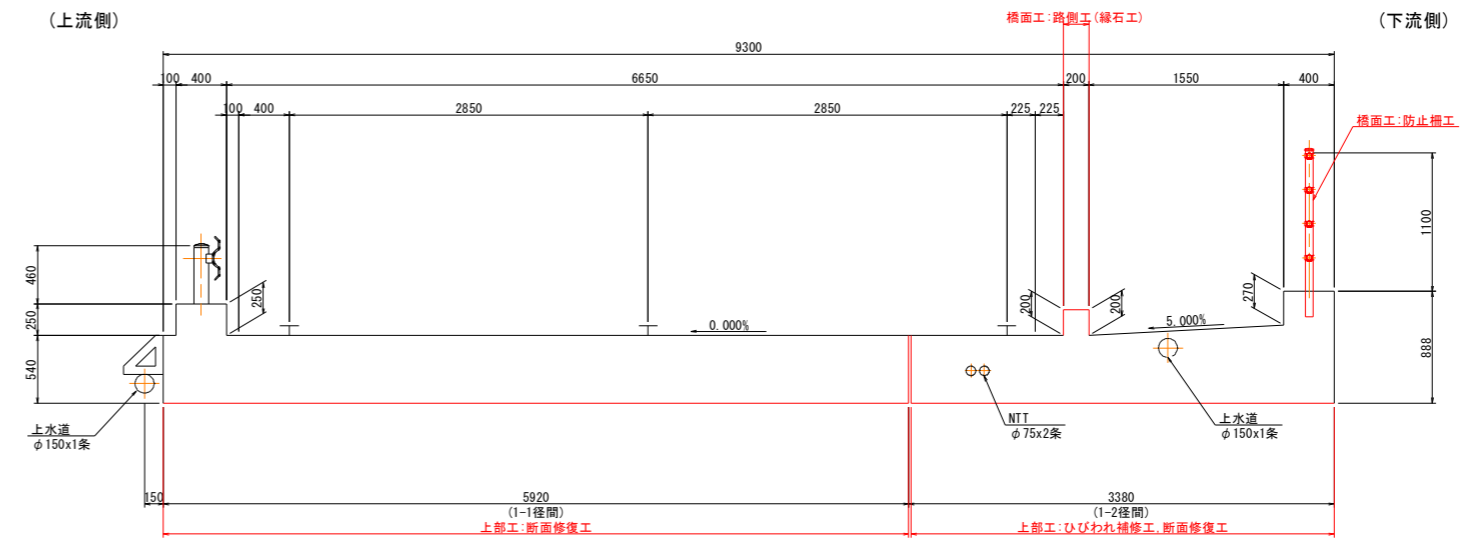
下流側側面図



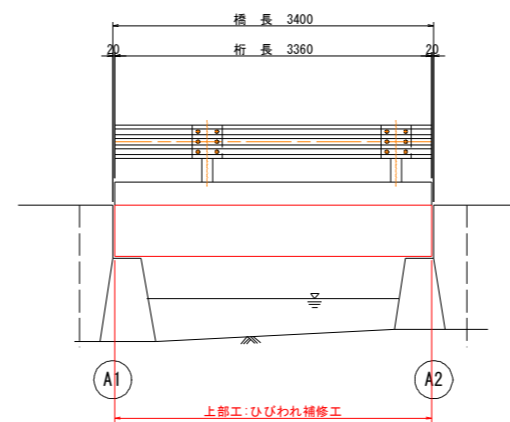
平面図



断面図 S=1:30



上流側側面図



対策工法一覧表

ひびわれ補修工
断面修復工
路側工(緑石工)
防止柵工

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

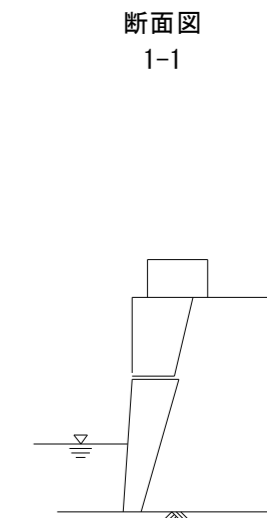
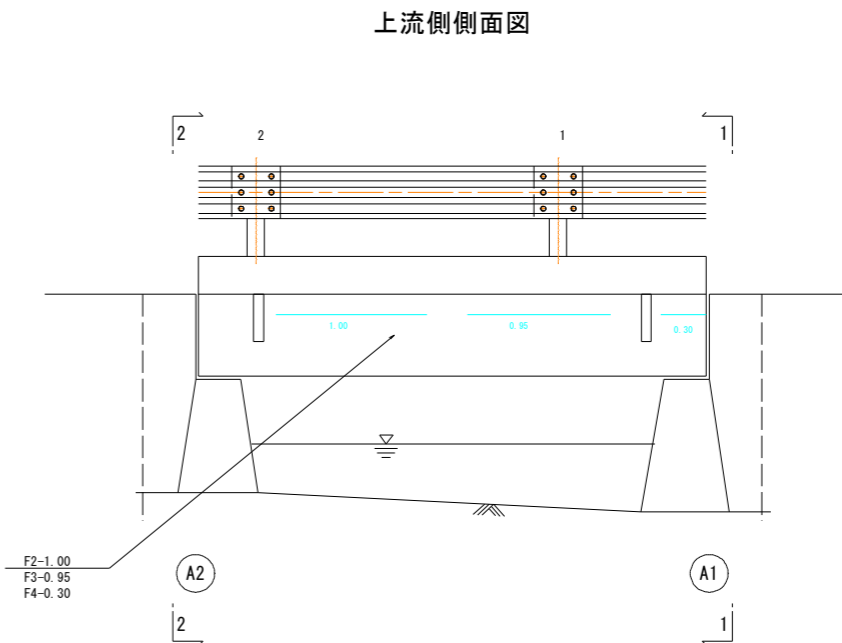
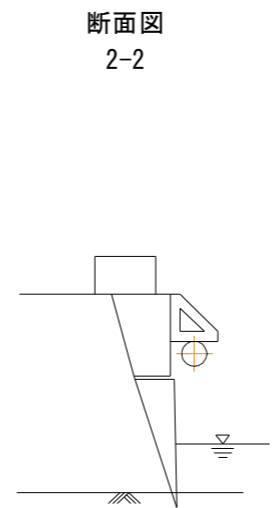
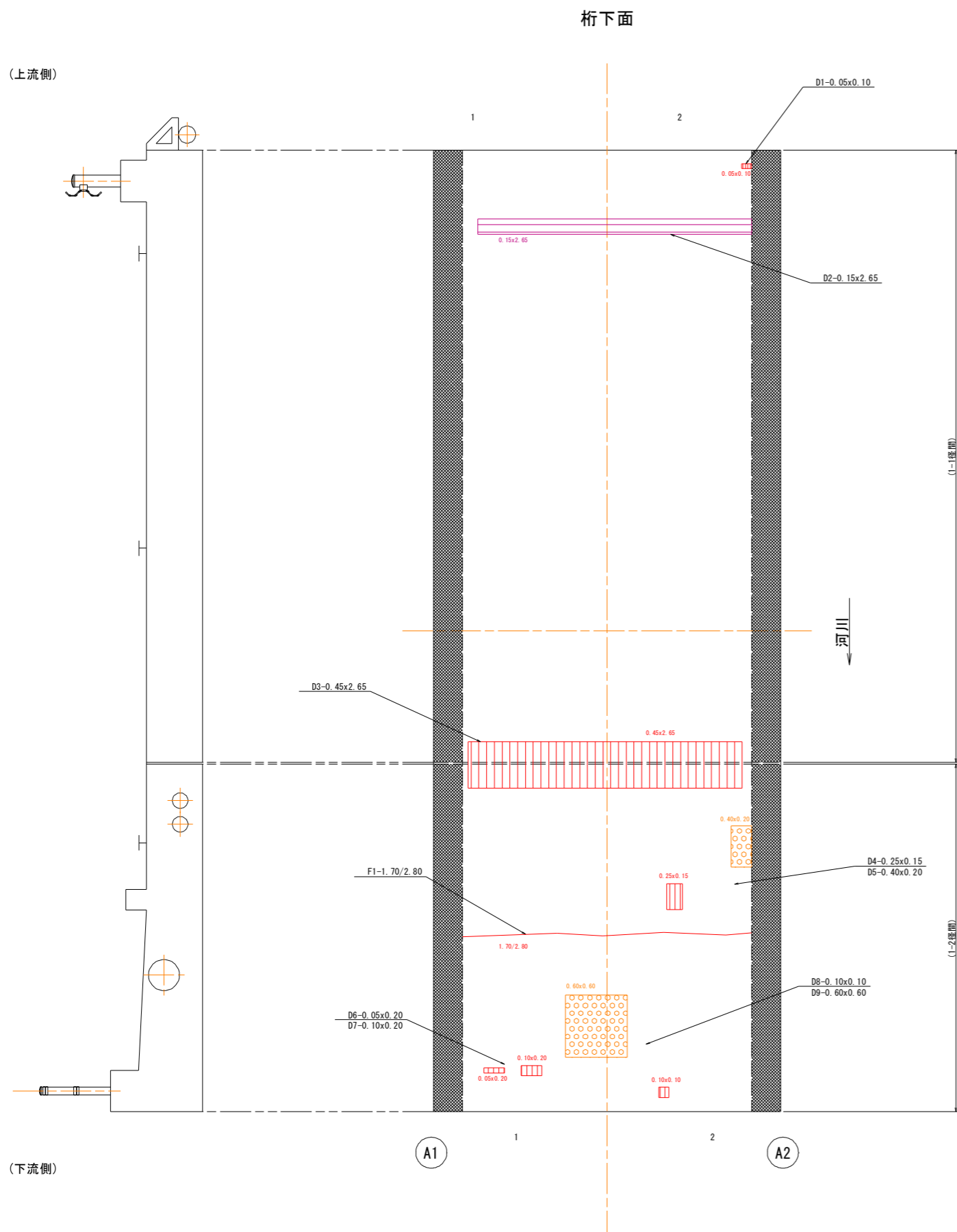
## (R6) (公共) [実施設計]

〈キュウスン橋〉

路線名	一般国道 湖山停車場布勢線 (キュウスン橋)		
	県道鳥取港線(安長橋)外橋梁補修工事(補助橋補修)		
位置	鳥取市布勢		
図名	補修計画一般図		
単位	MM	縮尺	図示
図号	全 3 葉中の内 1		
	令和 6 年度施行		鳥取県
	鳥取県土整備事務所		

# キュウスン橋 補修図(その1)

S=1:25



### 凡例

補修工法	
F	ひびわれ充填工 (1.0mm ≦ W ≦ 5.0mm)
	遊離石灰を伴うひびわれ
D	断面修復工(左官工法)
F0-0.00/0.00 補修工法 補修番号/補修延長	
D0-0.00x0.00 補修工法 補修番号x補修幅	

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱離がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 施工前に変状の進行状況や寸法などの確認を行い、工法変更の検討が必要と認められる場合は、協議を行うこと。

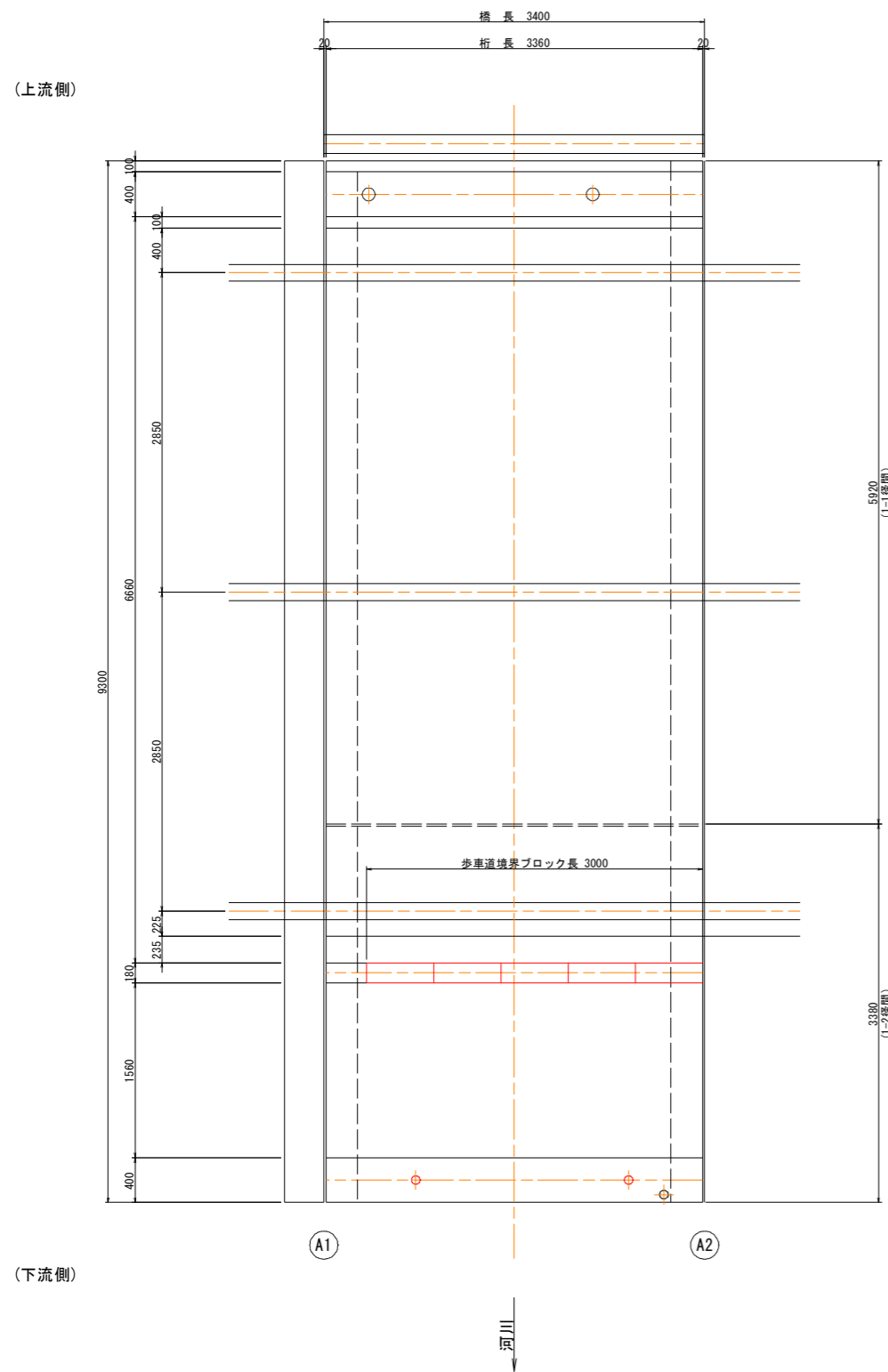
### (R6) (公共) [実施設計]

〈キュウスン橋〉

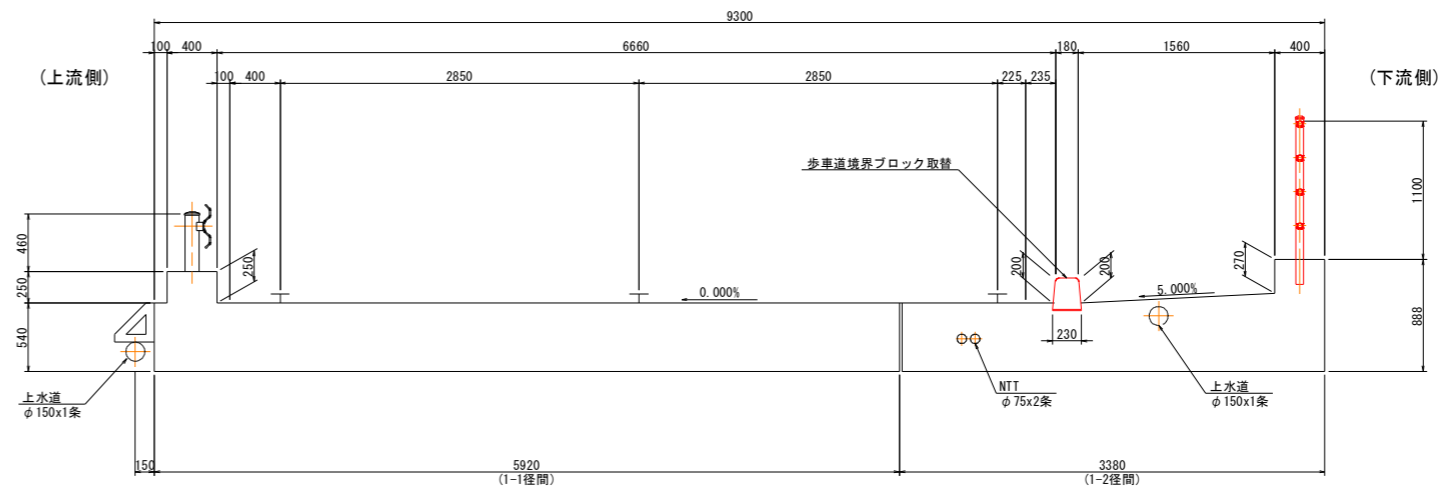
路線名	一般県道 湖山停車場布勢線 (キュウスン橋)		
県道鳥取港線(安長橋)外橋梁補修工事(補助橋補修)			
位置	鳥取市布勢		
図名	補修図(その1)		
単位	MM	縮尺	図示
図号	全 3 葉中の内 2		
令和 6 年度施行		鳥取県	
鳥取県土整備事務所			

# キュウスン橋 補修図(その2)

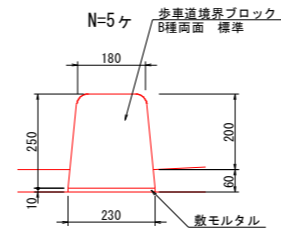
平面図 S=1:30



断面図 S=1:30



歩車道境界ブロック詳細図 S=1:10



路側工(縁石工)数量表

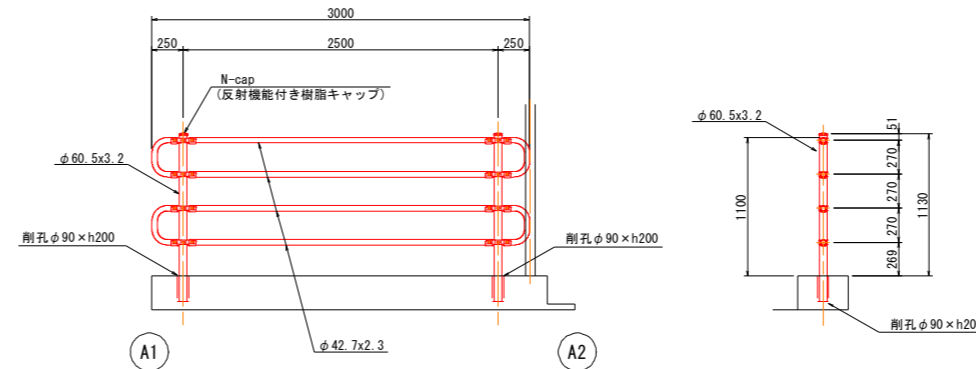
名称	規格	単位	数量	備考
歩車道境界ブロック撤去	B種 180/230×250×600	m	3.000	
歩車道境界ブロック設置	B種 180/230×250×600	m	3.000	
	標準型	個	5	
敷モルタル	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.690	
殻運搬	コンクリート構造物 機械積込	m <sup>2</sup>	0.154	
殻処分	がれき類	m <sup>3</sup>	0.154	

(1橋当り)

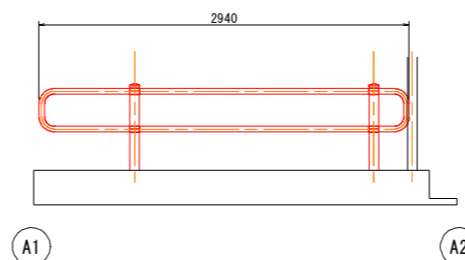
- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 施工前に変状の進行状況や寸法などの確認を行い、工法変更の検討が必要と認められる場合は、協議を行うこと。

下流側防止柵 S=1:30

防止柵設置



防止柵撤去

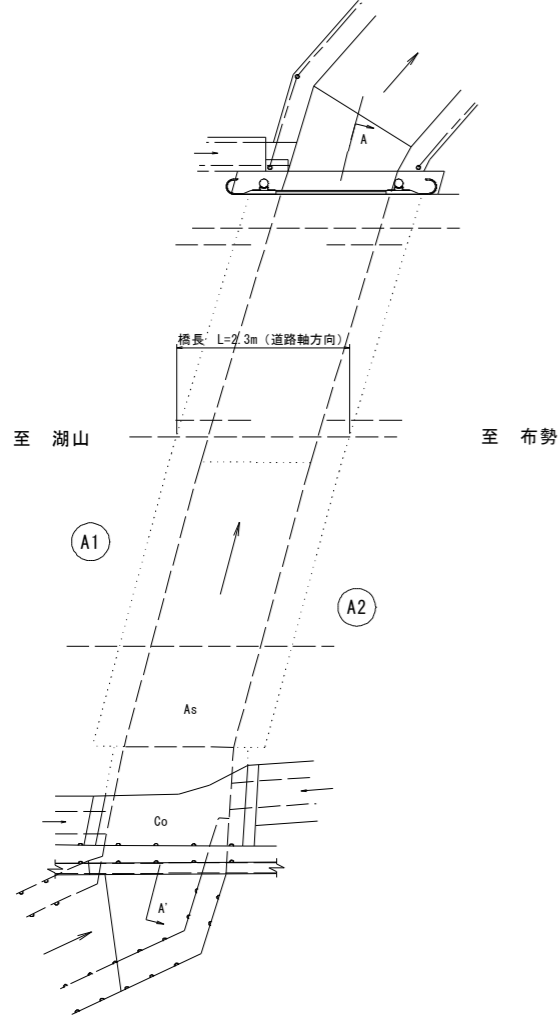


## (R6) (公共) [実施設計]

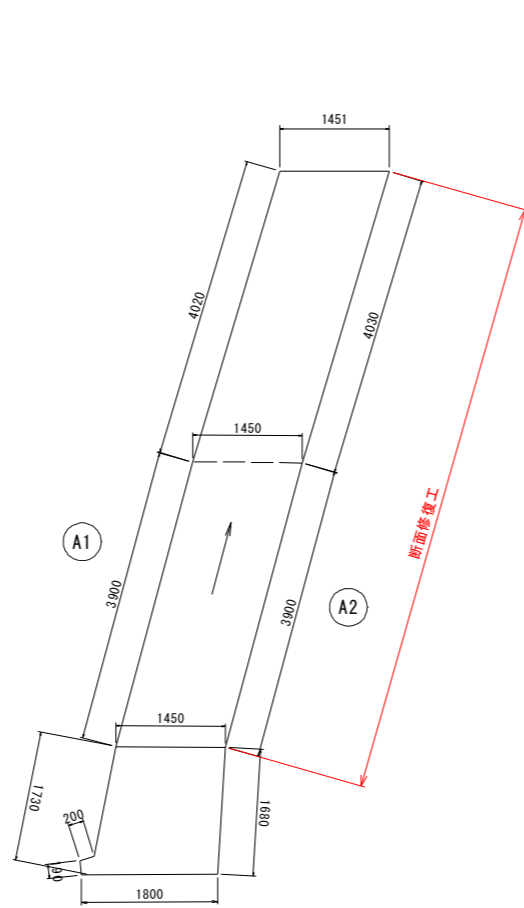
〈キュウスン橋〉

路線名	一般国道 湖山停車場布勢線 (キュウスン橋)		
	県道鳥取港線(安長橋)外橋梁補修工事(補助橋補修)		
位置	鳥取市布勢		
図名	補修図(その2)		
単位	MM	縮尺	図示
図号	全 3 葉中の内 3		
	令和 6 年度施行		鳥取県
	鳥取県土整備事務所		

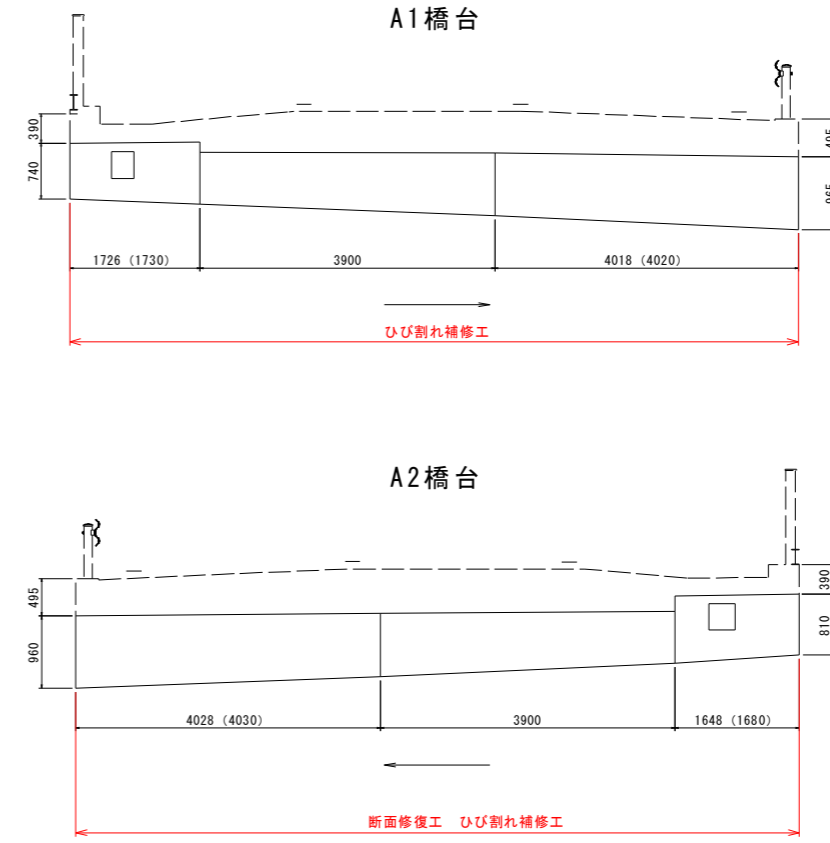
平面図 S=1/50



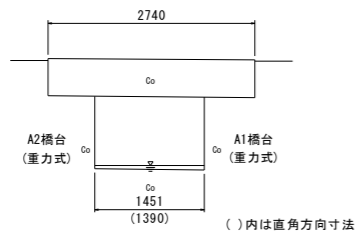
平面図(床版下面) S=1/50



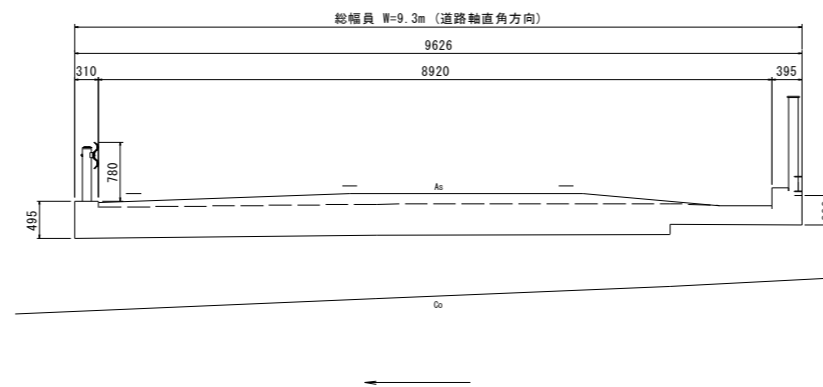
正面図 S=1/50 ( )内は平面寸法



側面図(下流側) S=1/50



A-A' 断面図 S=1/50



橋梁諸元 [ ]は本業務での推定

橋名	里仁橋
路線名	一般県道湖山停車場布勢線
竣工年月	昭和13年(1938年)
橋長	2.2m [2.3m]
総幅員	8.60m [9.30m]
活荷重	不明
上部工型式	RC床版
下部工型式	橋台:不明[重力式橋台] 橋脚:なし
基礎	不明
交差物件	- [水路]
適用基準書	不明
補修履歴等	不明

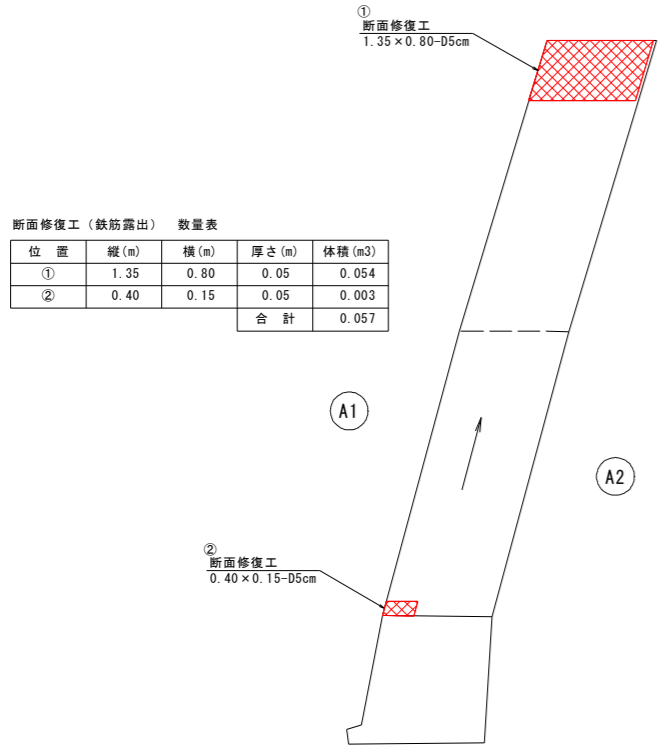
(R6) (公共) [実施設計]

<里仁橋>

路線名	一般県道 湖山停車場布勢線(里仁橋)
県道鳥取港線(安長橋)外橋梁補修工事(補助橋補修)	
図名	補修計画図
位置	鳥取市布勢
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 2 葉中の内 1
令和 6 年度施行	鳥取県
鳥取県土整備事務所	

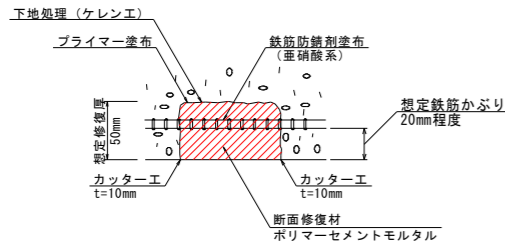
# 断面修復工・ひびわれ補修工

床版下面 S=1/50



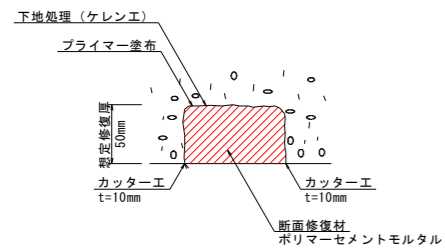
位置	縦(m)	横(m)	厚さ(m)	体積(m <sup>3</sup> )
①	1.35	0.80	0.05	0.054
②	0.40	0.15	0.05	0.003
合計				0.057

断面修復工  
鉄筋露出



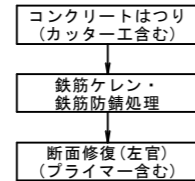
- 【注記】
- 断面修復材の品質は、強度・材質が既設コンクリートと同等の材料とする。
  - 劣化位置の外周にコンクリートカッターで切れ目を入れ、断面修復時にフェザーエッジにならないよう端部形成を行うこと。
  - 損傷面所のうき・脆弱部をはつきり取った上、鉄筋の表側まで十分にはつきりだし鉄筋の錆を落とし、清掃および防錆の塗布を行った後に断面を修復すること。
  - 修復厚を明記しているが修復材は確実に損傷最深部まで充填すること。
  - 鉄かぶり量が極端に薄い箇所においては、修復時に鉄筋かぶりを1・D(D=鉄筋径)以上確保するように修復すること。

断面修復工  
無筋

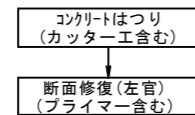


- 【注記】
- 断面修復材の品質は、強度・材質が既設コンクリートと同等の材料とする。
  - 劣化位置の外周にコンクリートカッターで切れ目を入れ、断面修復時にフェザーエッジにならないよう端部形成を行うこと。
  - 損傷面所のうき・脆弱部をはつきり取った上、清掃を行った後に断面を修復すること。

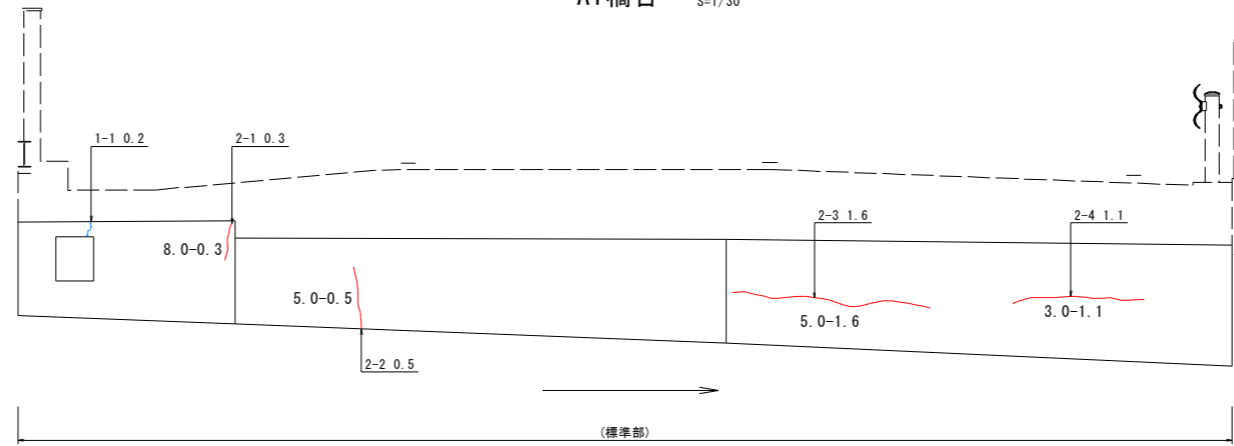
施工手順フロー(参考)  
断面修復工(左官工法)



施工手順フロー(参考)  
断面修復工(左官工法)



A1橋台 S=1/30



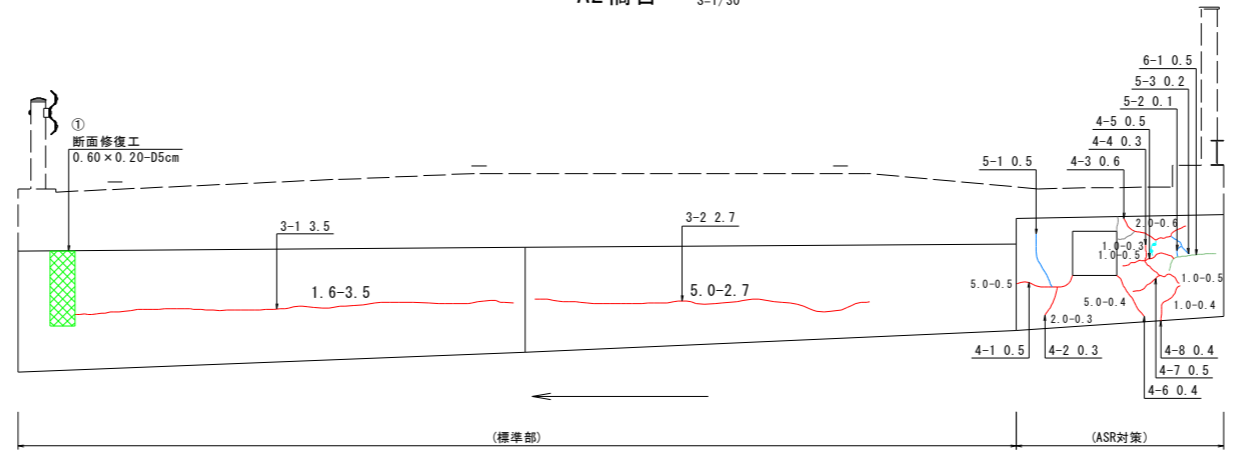
位置	長さ(m)
1-1	0.2
合計	0.2

(ひびわれ幅0.5mm)

位置	長さ(m)
2-1	0.3
2-2	0.5
2-3	1.6
2-4	1.1
合計	3.5

(ひびわれ幅3.0mm~8.0mm)

A2橋台 S=1/30



位置	長さ(m)
3-1	3.5
3-2	2.7
合計	6.2

(ひびわれ幅1.6mm~5.0mm)

位置	長さ(m)
4-1	0.5
4-2	0.3
4-3	0.6
4-4	0.3
4-5	0.5
4-6	0.4
4-7	0.5
4-8	0.4
合計	3.5

(ひびわれ幅1.0mm~5.0mm)

位置	長さ(m)
5-1	0.5
5-2	0.1
5-3	0.2
合計	0.8

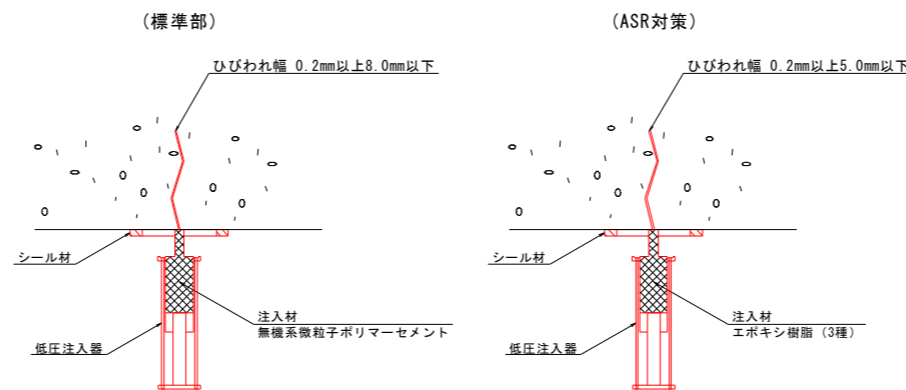
(ひびわれ幅0.5mm~0.7mm)

位置	長さ(m)
6-1	0.5
合計	0.5

(ひびわれ幅0.4mm)

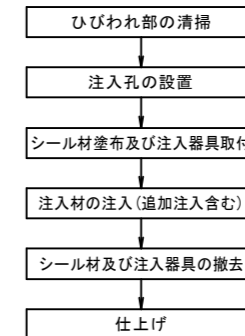
位置	縦(m)	横(m)	厚さ(m)	体積(m <sup>3</sup> )
①	0.60	0.20	0.05	0.006
合計				0.006

ひびわれ補修工(参考図)  
(注入工法)



- 【注記】
- 施工に先立ち、コンクリート表面の析出物、ほこり等をサンダーケレン、高圧洗浄などで十分に除去する。
  - 遊離石灰を伴うひびわれは、ひびわれ部分が遊離石灰で閉塞しているため、補修対象外とする。

施工手順フロー(参考)  
ひびわれ補修工(低圧注入工法)



記号	名称
	ひびわれ(開口幅0.2mm未満)
	ひびわれ(開口幅0.2~0.5mm未満)
	ひびわれ(開口幅0.5~1.0mm未満)
	ひびわれ(開口幅1.0mm以上)
	ひびわれ・遊離石灰
	表面含浸工
	断面修復工(無筋)
	断面修復工(鉄筋露出)

(床版：断面修復工)  
(橋台：ひびわれ補修工・断面修復工)

## (R6) (公共) [実施設計]

路線名	一般県道 湖山停車場布勢線(里仁橋)
位置	県道鳥取港線(安長橋)外橋梁補修工事(補助橋補修)
図名	補修計画図
位置	鳥取市布勢
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 2 葉中の内 2
令和 6 年度施行	鳥取県
鳥取県土整備事務所	